

令和6年度
ヒヤリ・ハット調査
「キャンプ・バーベキューに使用する製品等による危険」
報告書

令和7年4月
東京都生活文化局

目 次

I. 調査概要	1
1. 調査の目的	1
2. 調査対象者及び調査方法等	2
3. 集計・分析にあたって	3
4. 自由記述の分類について	4
5. (参考) その他のアウトドア経験	4
II. 調査結果	5
1. キャンプ・バーベキューにおけるけが及びヒヤリ・ハット経験の実態	5
(1) キャンプ・バーベキューをしたことがある場所 (複数回答)	5
(2) けが及びヒヤリ・ハット経験	6
(3) けが及びヒヤリ・ハット経験の場面	7
2. 【過ごす・くつろぐ】場面でのけが及びヒヤリ・ハット経験の詳細	9
(1) けが及びヒヤリ・ハット経験をした人	9
(2) けがをした人のけがの程度	10
(3) けが及びヒヤリ・ハット経験の原因となった製品	11
(4) けが及びヒヤリ・ハット経験のシチュエーション	12
(5) けが及びヒヤリ・ハット経験の考えられる原因	13
(6) けが及びヒヤリ・ハット経験の状況詳細	14
3. 【調理・食べる】場面でのけが及びヒヤリ・ハット経験	18
(1) けが及びヒヤリ・ハット経験をした人	18
(2) けがをした人のけがの程度	19
(3) けが及びヒヤリ・ハット経験の原因となった製品	20
(4) けが及びヒヤリ・ハット経験のシチュエーション	21
(5) けが及びヒヤリ・ハット経験の考えられる原因	22
(6) けが及びヒヤリ・ハット経験の状況詳細	23
4. 【焚き火】場面でのけが及びヒヤリ・ハット経験	27
(1) けが及びヒヤリ・ハット経験をした人	27
(2) けがをした人のけがの程度	28
(3) けが及びヒヤリ・ハット経験の原因となった製品	29
(4) けが及びヒヤリ・ハット経験のシチュエーション	30
(5) けが及びヒヤリ・ハット経験の考えられる原因	31

(6) けが及びヒヤリ・ハット経験の状況詳細.....	32
5. 【その他（シーズン別）】場面でのけが及びヒヤリ・ハット経験.....	36
(1) けが及びヒヤリ・ハット経験をした人.....	36
(2) けがをした人のけがの程度.....	37
(3) けが及びヒヤリ・ハット経験の原因となった製品.....	38
(4) けが及びヒヤリ・ハット経験のシチュエーション.....	39
(5) けが及びヒヤリ・ハット経験の考えられる原因.....	40
(6) けが及びヒヤリ・ハット経験の状況詳細.....	41
6. けが及びヒヤリ・ハット経験をしたときの相談・連絡.....	45
7. キャンプ・バーベキュー用製品の使用・所有.....	46
(1) キャンプ・バーベキュー用製品の使用実態（複数回答）.....	46
(2) キャンプ・バーベキュー用に使う製品の所有実態.....	47
(3) 所有している製品の購入先.....	53
(4) 所有している製品の取扱説明書.....	58
(5) 取扱説明書を確認しない理由（複数回答）.....	59
8. キャンプやバーベキューをする時、けがや事故を防ぐために工夫していること.....	60
Ⅲ まとめ.....	67
Ⅳ. アンケート調査内容.....	68

I. 調査概要

1. 調査の目的

キャンプ・バーベキューに使用する製品等による危害（けが）及びヒヤリ・ハット経験※について実態調査を行うことを目的とし、想定される場面ごとに以下の主な製品について調査を行った。

	想定される場面	想定される製品
1	過ごす・くつろぐ 	【居住に使うもの】 テント、グランドシート、タープ、ペグ・ペグハンマー 【家具】 テーブル、椅子、ベンチ 【照明等】 ランタンなどの照明（ヘッドライト・電球・ろうそくなど）、ランタンスタンド 【寝具】 寝袋、コット、エアベッド、マット、ピロー、ハンモック等
2	調理・食べる 	【調理道具】 ナイフ・包丁、調理道具（おたま、菜箸など）、クッカー・鍋、クーラーボックス、ウォータージャグ等 【調理器具（電気や火にかけるもの）】 カセットコンロ、バーベキューグリル、ホットプレート等 【食器】 食事用の食器・カトラリー 【着火時に使用するもの】 薪、炭、着火剤、ライター、ガストーチ、点火棒 【着火後に使用するもの】 火バサミ・トング、耐火グローブ・軍手
3	焚き火 	【主に焚き火で使用するもの】 焚き火台、焚き火シート、薪スタンド、斧、鉋（なた）、ウィンドスクリーン（風除け）等 【着火時に使用するもの】 薪、炭、着火剤、ライター、ガストーチ、点火棒 【着火後に使用するもの】 火バサミ・トング、耐火グローブ・軍手
4	その他（シーズン別） 	【その他】 テントサウナ、ストーブ（薪・灯油・電気）、キャリアワゴン、ポータブル電源（コンセントの差込口があるもの）、扇風機、湯たんぽ 【遊び】 釣り道具、花火、河原での水遊び

※ 本報告書において、「危害（けが）」とは、転ぶ、ぶつかる、落ちる、切る・刺さる、挟む・挟まれる、やけど、溺れる、物がのどに詰まる、中毒症状などの外傷及び体調不良を示す。また、「ヒヤリ・ハット」とは、上記のような危害には至らなかったが、けがや体調不良を引き起こしそうになったことを示す。ただし、飲酒に起因するものは除く。

2. 調査対象者及び調査方法等

(1) 予備調査

本調査対象者を抽出するため、一都三県（東京都、埼玉県、千葉県、神奈川県）に在住の20歳以上の男女を対象に予備調査を行った。有効回答 23,912 件

(2) 本調査対象者

一都三県（東京都・神奈川県・埼玉県・千葉県）¹に在住で、キャンプ（お家キャンプ²を含む）またはバーベキューの経験がある20歳以上の男女3,000人

なお、年齢・性別区分、居住地、キャンプ・バーベキューの経験については以下のとおりである。

【年齢・性別区分】

年齢区分	20代	30代	40代	50代	60代以上
男性	300	300	300	300	300
女性	300	300	300	300	300

【居住地】

居住地	東京都	神奈川県	埼玉県	千葉県
N=3000	2680	158	88	74
100%	89.3%	5.3%	2.9%	2.5%

【キャンプ（お家キャンプを含む）またはバーベキューの経験】

	半年以内	1年以内	2年以内	3年以内	4年以内	5年以内	6年以内	6年以上前	経験無し	過去5年以内経験者計※1	経験者計※2	調査対象者：過去5年以内経験者実人数
キャンプ 例：デイキャンプ、オートキャンプ、グランピング含む	365	292	210	195	78	163	36	818	843	1303	2157	3000
バーベキュー	818	708	453	378	165	354	10	81	33	2876	2967	

※1「半年以内」～「5年以内」の計

※2「半年以内」～「6年以上前」の計

¹ 男性20代、女性20代、女性50代、女性60代以上は、神奈川県、千葉県及び埼玉県の在住者が含まれる。

² 自宅でテントやハンモック等を設営しキャンプをしたり、バーベキューを楽しむこと

(3) 調査実施方法

インターネットアンケート

(4) 調査期間

令和6年12月19日～12月25日（計7日間）

(5) 調査項目

キャンプ・バーベキューで使用する製品における、けが及びヒヤリ・ハット経験に関して、以下の設問で調査を実施した。

- ・ キャンプ・バーベキューをした際の、けが及びヒヤリ・ハット経験の有無
- ・ どういった場面で使用する製品で経験したか
- ・ [過ごす・くつろぐ]、[調理・食べる]、[焚き火]、[その他（シーズン別）] の大きく4つの場面で「けがをした、しそうになった」経験の詳細（以下1～6）
 1. 誰がけがをした、しそうになったか。また、該当者のおおよその年齢
 2. （けがをした人へ）けがの程度
 3. けが、けがをしそうになった原因となった製品
 4. どんな時にけがをした、けがをしそうになったか
 5. けが、けがをしそうになった時の考えられる原因
 6. 上記1～5を踏まえたけが、けがをしそうになった状況の詳細
- ・ けがをしたり、しそうになった時の連絡・相談先
- ・ キャンプ・バーベキューに使う製品の所有の有無（防災用としての所有も含み確認）
- ・ 所有している製品の主な購入先
- ・ 所有している製品の取扱説明書の確認（確認しない人はその理由）
- ・ キャンプ・バーベキューの時、けがや事故を防ぐために工夫していること

3. 集計・分析にあたって

- ・ 回答比率（％）は、小数点第2位を四捨五入して算出した。したがって、回答比率を合計しても、100％にならない場合がある。
- ・ 設問によっては、複数回答の結果、回答比率の合計が100％を超える場合がある。
- ・ グラフに表記される「N＝＊」「n＝＊」（＊は数字）は、対象の母数を表している。なお、Nはグラフ全体の母数、nは各項目の母数を表す。
- ・ グラフや表の中での選択肢の文章が長い場合は簡略化して表現しているため、アンケート調査票の文章とは一致していない場合がある。（注釈も記しているが、アンケート調査票上の文言は「IV. アンケート調査内容」を参照。）
- ・ 集計単位（件数、人数）については、事例に関する記載においては「件」、人数に関する記載においては「人」で統一している。

4. 自由記述の分類について

1. 全体

可能な限り振り戻し（分析し修正）をしているが、判断ができなかったものは、原則として回答者の申告を採用した。

2. 製品の分類について

原則として、けがやヒヤリ・ハット経験をした製品を採用しているが、段差でけがをしたなど製品が直接の原因ではないものも含まれている。

3. 事例の分類について

複数の事象が混在した回答は、原則としてけが及びヒヤリ・ハット経験において危険の大きいものに分類した。

5. （参考） その他のアウトドア経験

『キャンプ』または『バーベキュー』の経験がある 3000 人が、それら以外にどういったアウトドア経験があるかをまとめた。（複数回答）

【その他のアウトドア経験（参考）】

	半年以内	1 年以内	2 年以内	3 年以内	4 年以内	5 年以内	6 年以内	6 年以上前	経験無し	過去 5 年以内計※1	経験者計※2
釣り	218	189	179	166	86	146	54	1125	837	984	2163
ハイキング・登山	384	275	206	201	99	153	67	1001	614	1318	2386
沢登り	54	79	71	86	61	81	25	400	2143	432	857
マウンテンバイク・サイクリング	230	101	81	98	56	69	36	462	1867	635	1133
ウィンタースポーツ 例：スキー、スノーボードなど	71	284	158	129	94	109	71	1469	615	845	2385
海のアクティビティ 例：サーフィン、シュノーケリングなど	225	181	150	117	75	107	74	910	1161	855	1839
川・湖のアクティビティ 例：カヌー・カヤック、SUP など	139	124	111	111	72	88	56	641	1658	645	1342

※1 「半年以内」～「5 年以内」の計

※2 「半年以内」～「6 年以上前」の計

Ⅱ. 調査結果

1. キャンプ・バーベキューにおけるけが及びヒヤリ・ハット経験の実態

(1) キャンプ・バーベキューをしたことがある場所（複数回答）

本調査対象者が、どのような場所・施設で行ったかをまとめた。

最も多い場所は、「キャンプ場（テント泊）」で 1155 人となっており、「河原・河川敷」が 1144 人、「自宅、友人や親せき宅の居室・庭・ベランダ」が 1118 人、「キャンプ場（コテージ、ロッジ、バンガローなど）」が 1111 人と続いている。

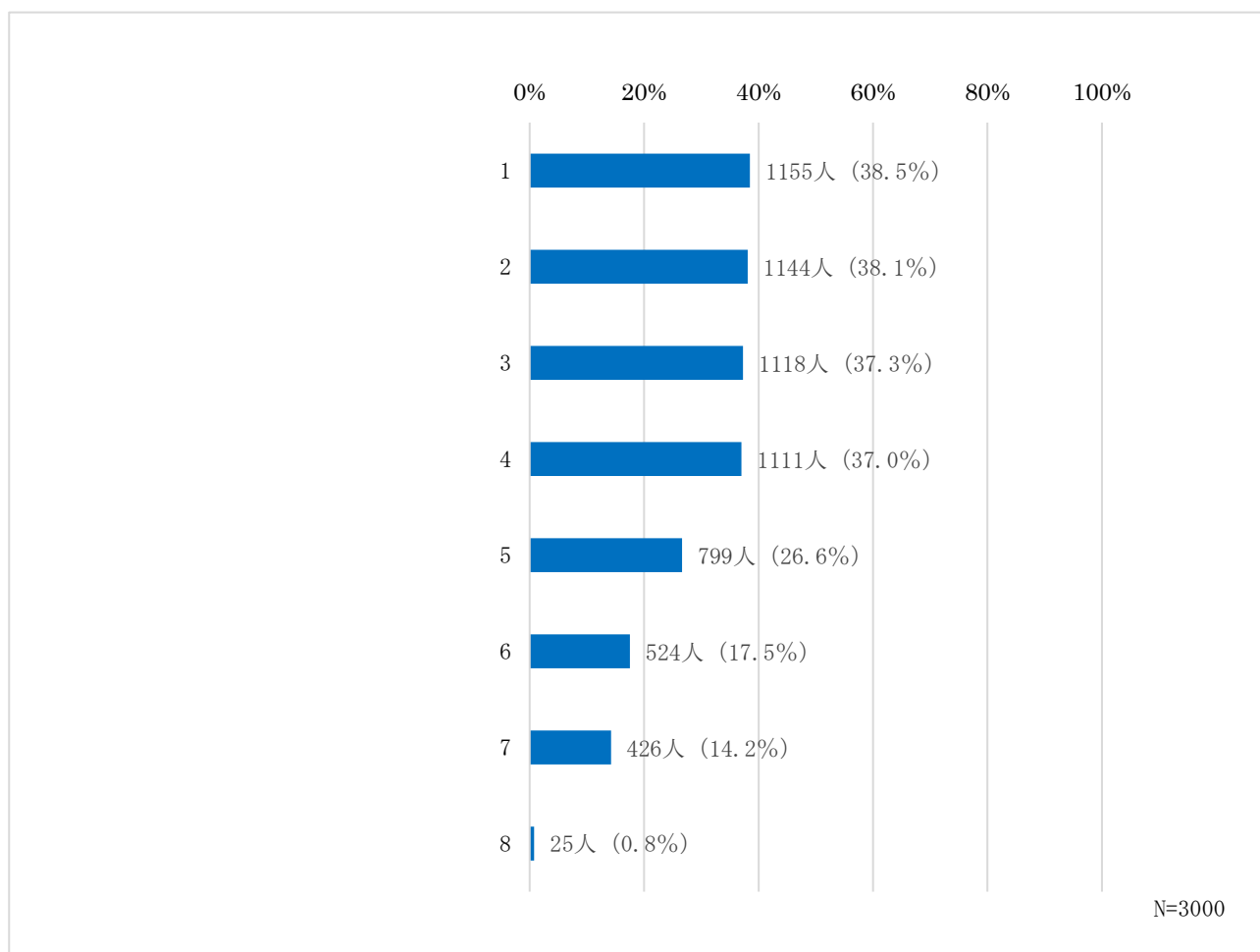


図 1_1. キャンプ・バーベキューをしたことがある場所（複数回答）

(2) けが及びヒヤリ・ハット経験

(1) キャンプ・バーベキューを行った場所別※に、けが及びヒヤリ・ハット経験をまとめた。最もけがの経験が多い場所は「キャンプ場(テント泊)」で146人となっており、「河原・河川敷」が138人と続いている。ヒヤリ・ハット経験は、「河原・河川敷」が220人で最も多く、「キャンプ場(コテージ、ロッジ、バンガローなど)」が196人と続いている。

※同一の回答者が複数の場所で、キャンプ・バーベキューを行っている場合、それぞれの場所ごとにけが及びヒヤリ・ハット経験を回答

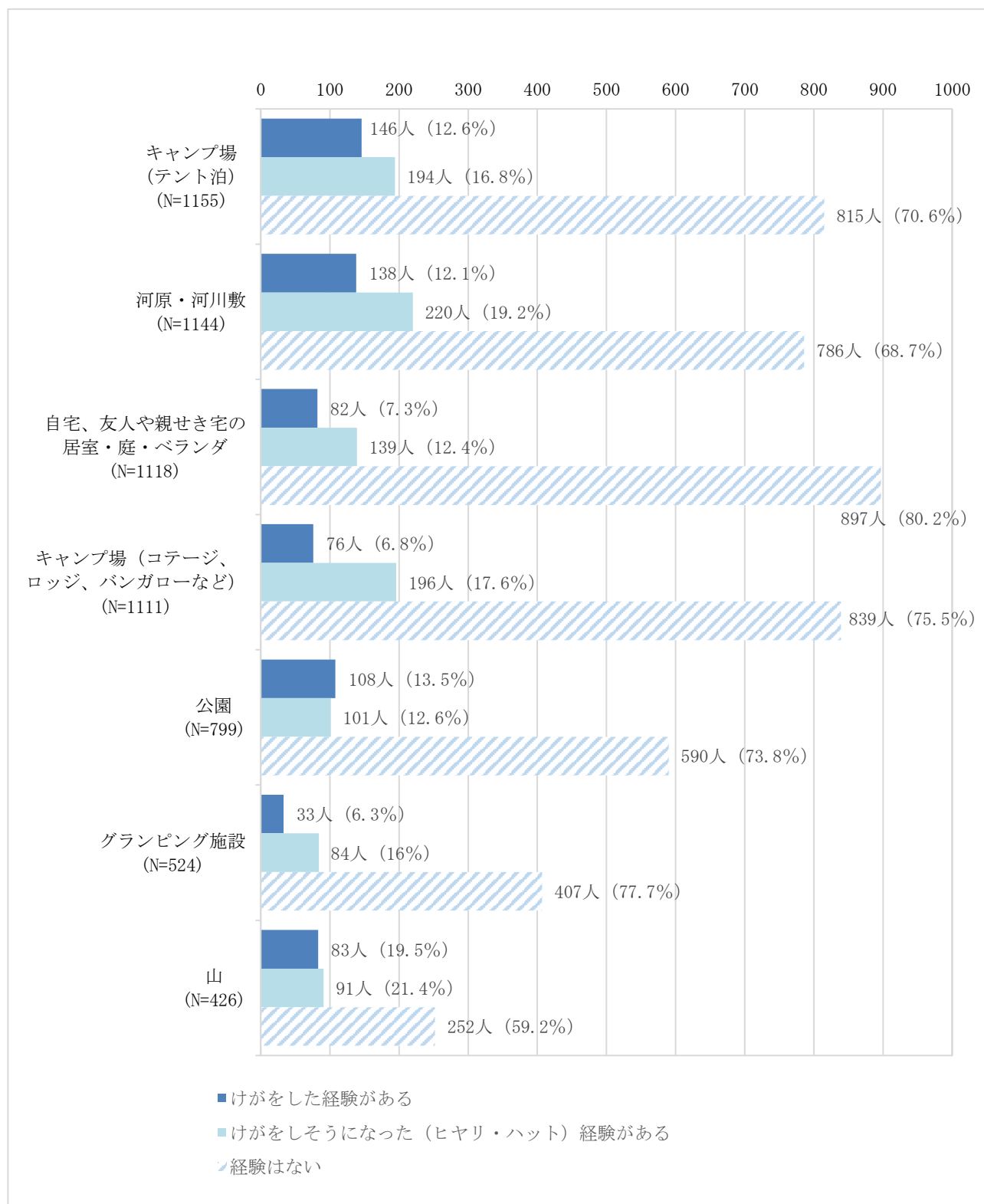


図 1_2.場所別のけが及びヒヤリ・ハット経験

(3) けが及びヒヤリ・ハット経験の場面

表 1_1_1、表 1_1_2 は、(1) キャンプ・バーベキューを行った場所において、どのような場面(『過ごす・くつろぐ』『調理・食べる』『焚き火』『その他』)でけが及びヒヤリ・ハット経験があったかをまとめた。

けがをした経験では、「キャンプ場」における『調理・食べる』場面での 56 人が最も多く、次いで「公園」における『過ごす・くつろぐ』場面での 51 人と続く。

また、けがをした経験のある人の医療機関の受診状況は、「医療機関を受診しなかった」の 313 人が最も多く、次いで「医療機関を受診した」の 158 人、「医療機関に入院した」の 28 人と続く。

表 1_1_1.場所ごとのけが及びヒヤリ・ハット経験の場面

	場所・施設		キャンプ・バーベキューの想定される場面			
			過ごす・くつろぐ	調理・食べる	焚き火	その他 (シーズン別)
けがをした経験	キャンプ場(テント泊)		40 人	56 人	34 人	16 人
	(N=146)		27.4%	38.4%	23.3%	11.0%
	河原・河川敷		38 人	40 人	23 人	37 人
	(N=138)		27.5%	29.0%	16.7%	26.8%
	自宅、友人や親せき宅の居室・庭・ベランダ		29 人	29 人	7 人	17 人
	(N=82)		35.4%	35.4%	8.5%	20.7%
	キャンプ場(コテージなど)		23 人	29 人	20 人	4 人
	(N=76)		30.3%	38.2%	26.3%	5.3%
	公園		51 人	23 人	5 人	29 人
	(N=108)		47.2%	21.3%	4.6%	26.9%
	グランピング施設		11 人	14 人	8 人	0 人
	(N=33)		33.3%	42.4%	24.2%	0.0%
	山		27 人	20 人	12 人	24 人
	(N=83)		32.5%	24.1%	14.5%	28.9%
	合計(延べ人数)		219 人	211 人	109 人	127 人
	合計(実人数) ①		153 人	154 人	91 人	101 人
合計(実人数)① の医療機関の 受診状況 (N=499)	医療機関に入院した		16 人	8 人	2 人	2 人
	医療機関を受診した		49 人	48 人	30 人	31 人
	(入院+受診)		(65 人)	(56 人)	(32 人)	(33 人)
	医療機関を受診しなかった		88 人	98 人	59 人	68 人

けがをしそうになった経験については、「山」を除く全てで『調理・食べる』場面での経験が最も多い。
 なお「山」においては『過ごす・くつろぐ』場面でのけが及びヒヤリ・ハット経験が最も多くなっている。

表 1_1_2.場所ごとのけが及びヒヤリ・ハット経験の場面

	場所・施設	キャンプ・バーベキューの想定される場面			
		過ごす・くつろぐ	調理・食べる	焚き火	その他 (シーズン別)
けがをしそうになった経験	キャンプ場(テント泊)	35 人	77 人	65 人	17 人
	(N=194)	18.0%	39.7%	33.5%	8.8%
	河原・河川敷	48 人	69 人	43 人	60 人
	(N=220)	21.8%	31.4%	19.5%	27.3%
	自宅、友人や親せき宅の居室・庭・ベランダ	36 人	69 人	20 人	14 人
	(N=139)	25.9%	49.6%	14.4%	10.1%
	キャンプ場(コテージなど)	37 人	98 人	47 人	14 人
	(N=196)	18.9%	50.0%	24.0%	7.1%
	公園	31 人	37 人	9 人	24 人
	(N=101)	30.7%	36.6%	8.9%	23.8%
	グランピング施設	19 人	39 人	18 人	8 人
	(N=84)	22.6%	46.4%	21.4%	9.5%
	山	28 人	22 人	17 人	24 人
	(N=91)	30.8%	24.2%	18.7%	26.4%
	合計(延べ人数)	234 人	411 人	219 人	161 人
	合計(実人数) ②	174 人	329 人	186 人	117 人
	けがをした経験、けがをしそうになった経験の両方選択した人 ③	26 人	41 人	15 人	21 人
	全体(実人数) ① + ② - ③	301 人	442 人	262 人	197 人

2. 【過ごす・くつろぐ】場面でのけが及びヒヤリ・ハット経験の詳細

（【過ごす・くつろぐ】場面で複数の経験がある場合、（2）以降は最も危害の程度の大きい事例一つについての回答となっている。）

（1）けが及びヒヤリ・ハット経験をした人

「けがをした経験がある・けがをしそうになった経験」については、『自分』の経験がいずれも119人と最も多く、次いで『家族（子供）』の経験が多い。

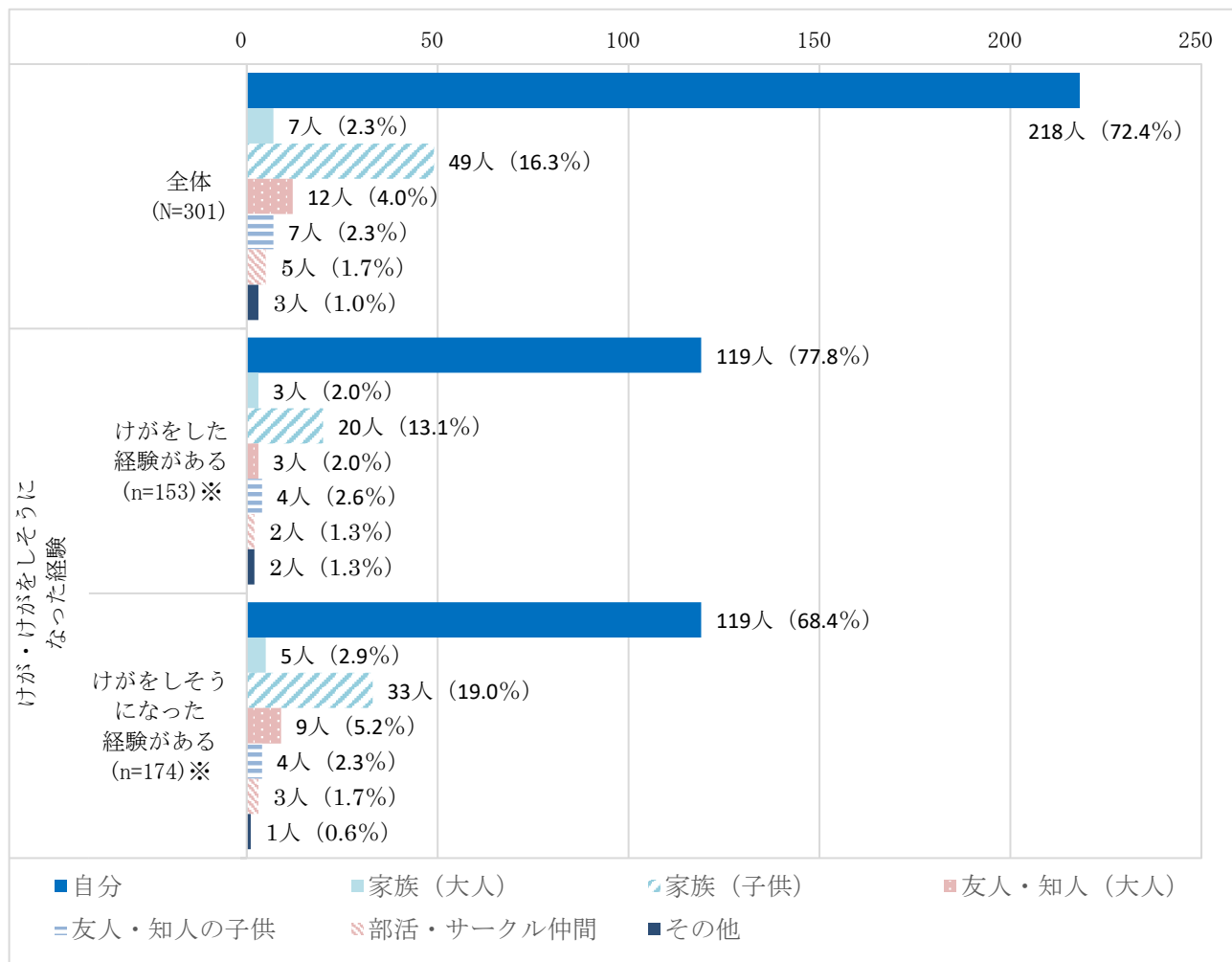


図 2_1. 【過ごす・くつろぐ】場面でのけが及びヒヤリ・ハット経験をした人

※「けが・けがをしそうになった経験有無」の母数について

表 2_1 のとおり、【過ごす・くつろぐ】場面で「けがをした経験がある」及び「けがをしそうになった経験がある」の両方を選択している人が 26 人含まれている。本設問群は最も危害の程度の大きい事例 1 つが回答の対象となるため、「全体」と「けがをした経験がある」と「けがをしそうになった経験がある」の合計値が一致しない。詳細な人数については 1（3）表 1_1_1・表 1_1_2.参照。

表 2_1. 表 1_1_1・表 1_1_2『過ごす・くつろぐ』場面の抜粋

キャンプ・バーベキューの想定される場面	過ごす・くつろぐ
けがをした経験がある①	153 人
けがをしそうになった経験がある②	174 人
けがをした経験、けがをしそうになった経験の両方選択した人③	26 人
全体[①+②-③]	301 人

(2) けがをした人のけがの程度

【過ごす・くつろぐ】場面でけがをした人の、けがの程度をまとめた。65人がけがをして医療機関を受診（「けがをして医療機関に入院した」「けがをして医療機関を受診した」の計）しており、16人が入院をしている。

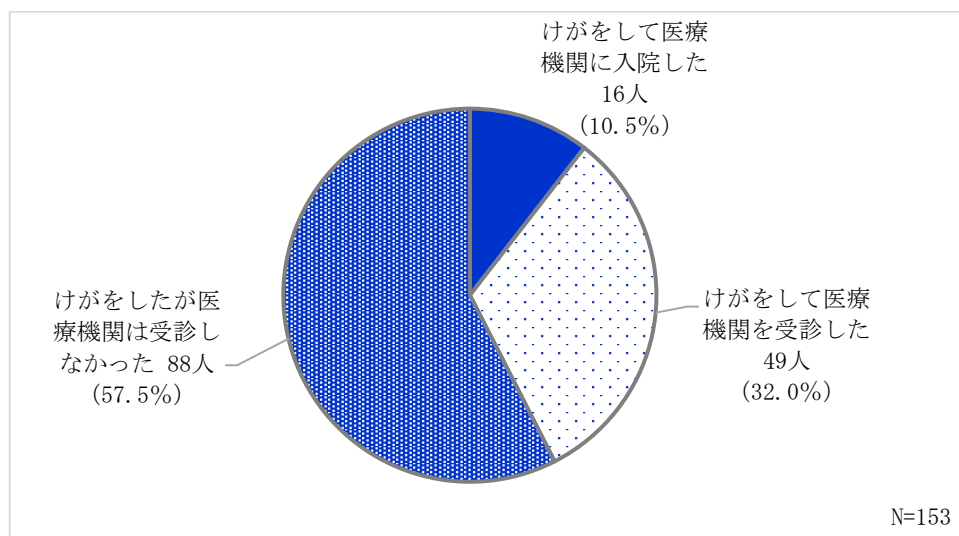


図 2_2. 【過ごす・くつろぐ】場面でのけがの程度

（３）けが及びヒヤリ・ハット経験の原因となった製品

【過ごす・くつろぐ】場面における、けが及びヒヤリ・ハット経験の原因となった製品を降順でまとめた。「18歳以上」では「椅子、ベンチ」が68人と最も多く、次いで「テント」が53人と続いている。『18歳未満』でも、「椅子、ベンチ」が12人と最も多く、次いで「ハンモック」が10人となっている。

「その他」は、遊んでいるときや歩行中など、製品に由来しないけが及びヒヤリ・ハットがあったことが記述されていた。

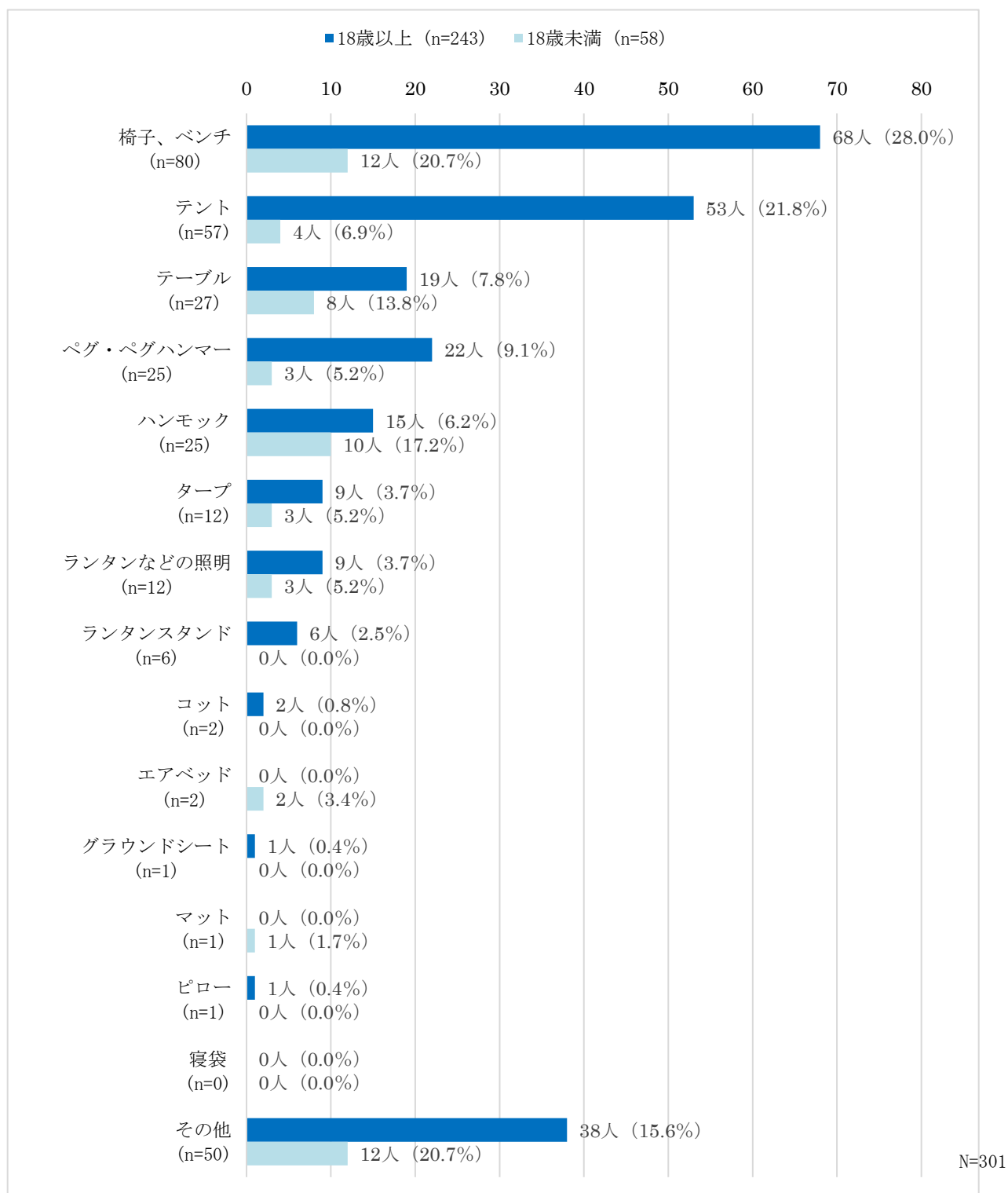


図 2_3. 【過ごす・くつろぐ】 場面でのけが及びヒヤリ・ハット経験の原因となった製品

(4) けが及びヒヤリ・ハット経験のシチュエーション

【過ごす・くつろぐ】場面において、具体的に何をしているときにけが及びヒヤリ・ハット経験をしたのかをまとめた。

『18歳以上』では「使用中にけがをした」「設営・組立時にけがをした」が最も多く、それぞれ41人であった。ヒヤリ・ハット経験では「使用中にけがをしそうになった」が最も多い48人で、次いで「設営・組立時にけがをしそうになった」が35人であった。

『18歳未満』の「けがをした経験」では、「遊んでいるときにけがをした」が13人と最も多い。

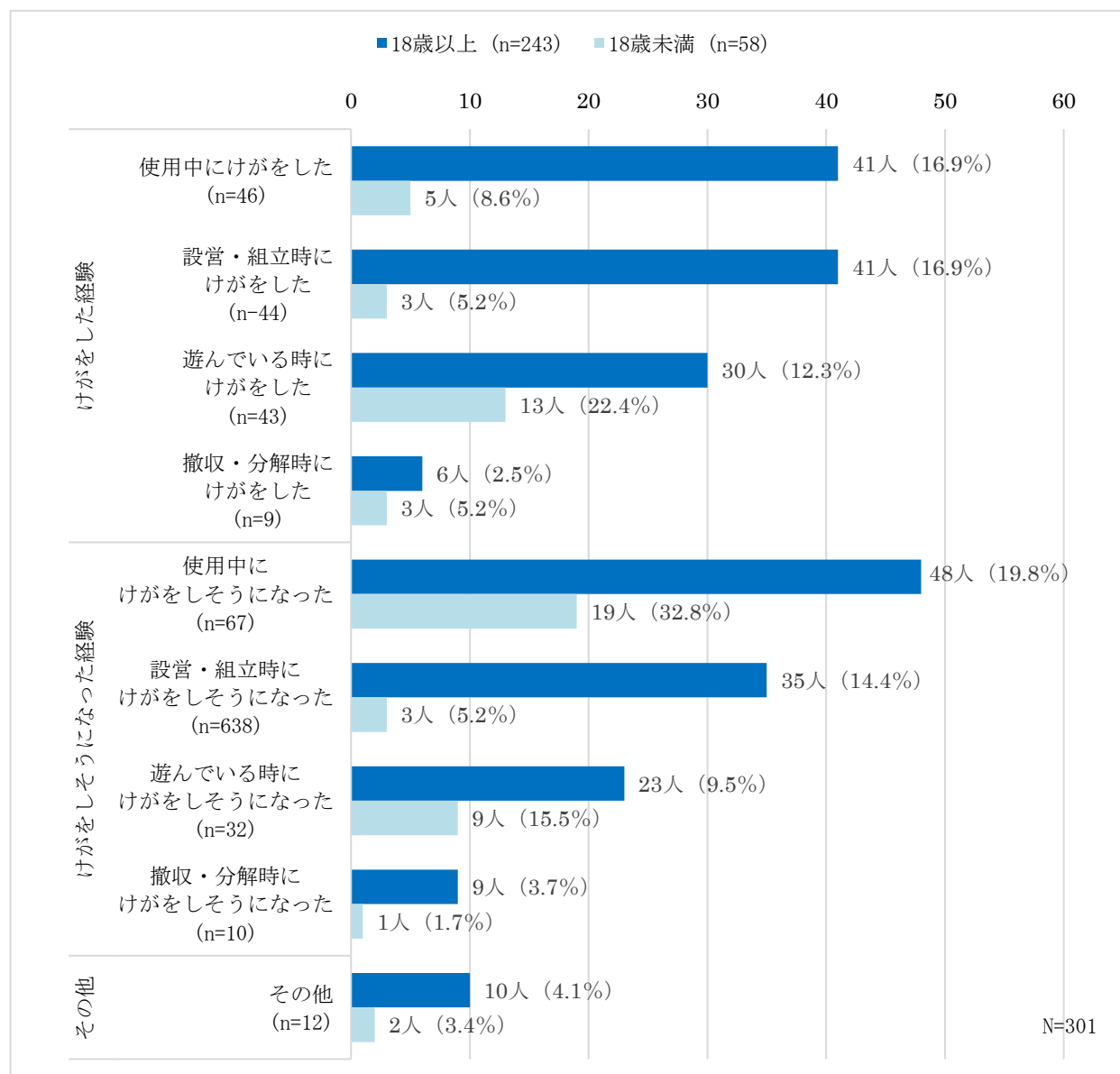


図 2_4. 【過ごす・くつろぐ】 場面でのけが及びヒヤリ・ハット経験のシチュエーション

（５）けが及びヒヤリ・ハット経験の考えられる原因

【過ごす・くつろぐ】場面において、けが及びヒヤリ・ハット経験の考えられる原因についてまとめた。

『18歳以上』では、「自分の行動原因によるもの」が98人と最も多く、次いで「段差や障害物などによるもの」が55人と続く。

『18歳未満』では、「段差や障害物などによるもの」が22人と最も多くなっている。

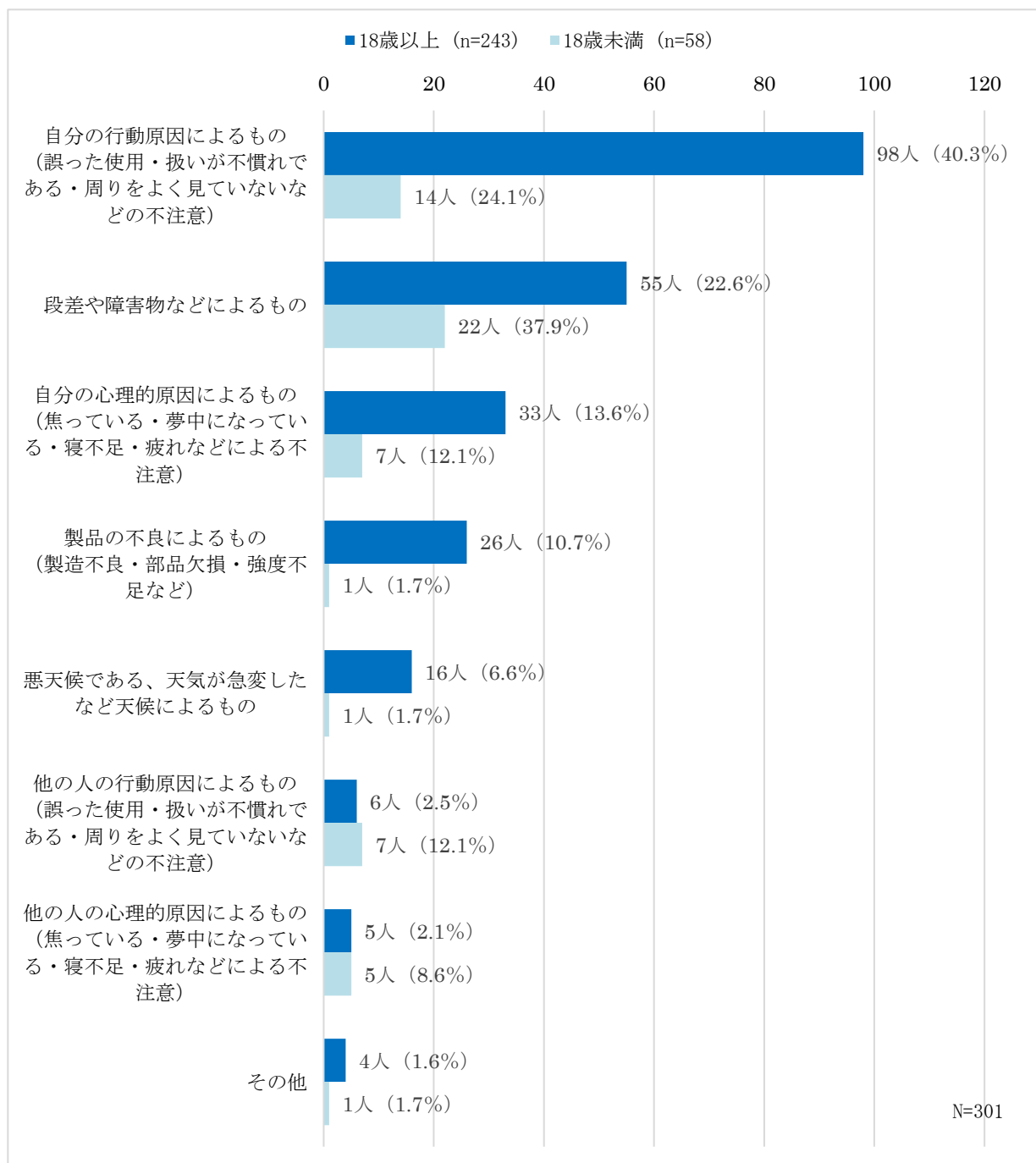


図 2_5. 【過ごす・くつろぐ】場面でのけが及びヒヤリ・ハット経験の考えられる原因

(6) けが及びヒヤリ・ハット経験の状況詳細

【過ごす・くつろぐ】場面における、具体的な状況の記述（301 件中、有効件数 290 件）を分析し①誰が（図 2_6_1）、②何をしている・どういう状況（図 2_6_2）、③どうなった（図 2_6_3）、の 3 つに分類をした結果をまとめた。

①誰がでは「自分」に関する記述が最も多い。②の状況では『テント設営』の「片付け」56 件が最も多く、『椅子』の「座っていて」が 40 件と続く。③の内容では「転ぶ・つまづく」が 86 件、部位としては、「手」が 61 件と多くなっている。

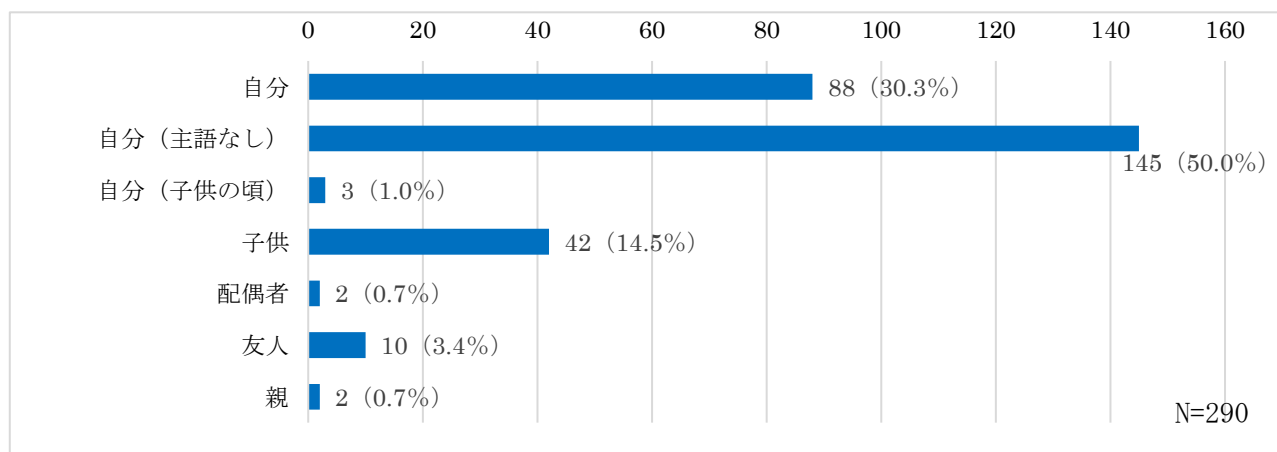


図 2_6_1. 【過ごす・くつろぐ】場面でのけが及びヒヤリ・ハット経験の詳細分類（①誰が）

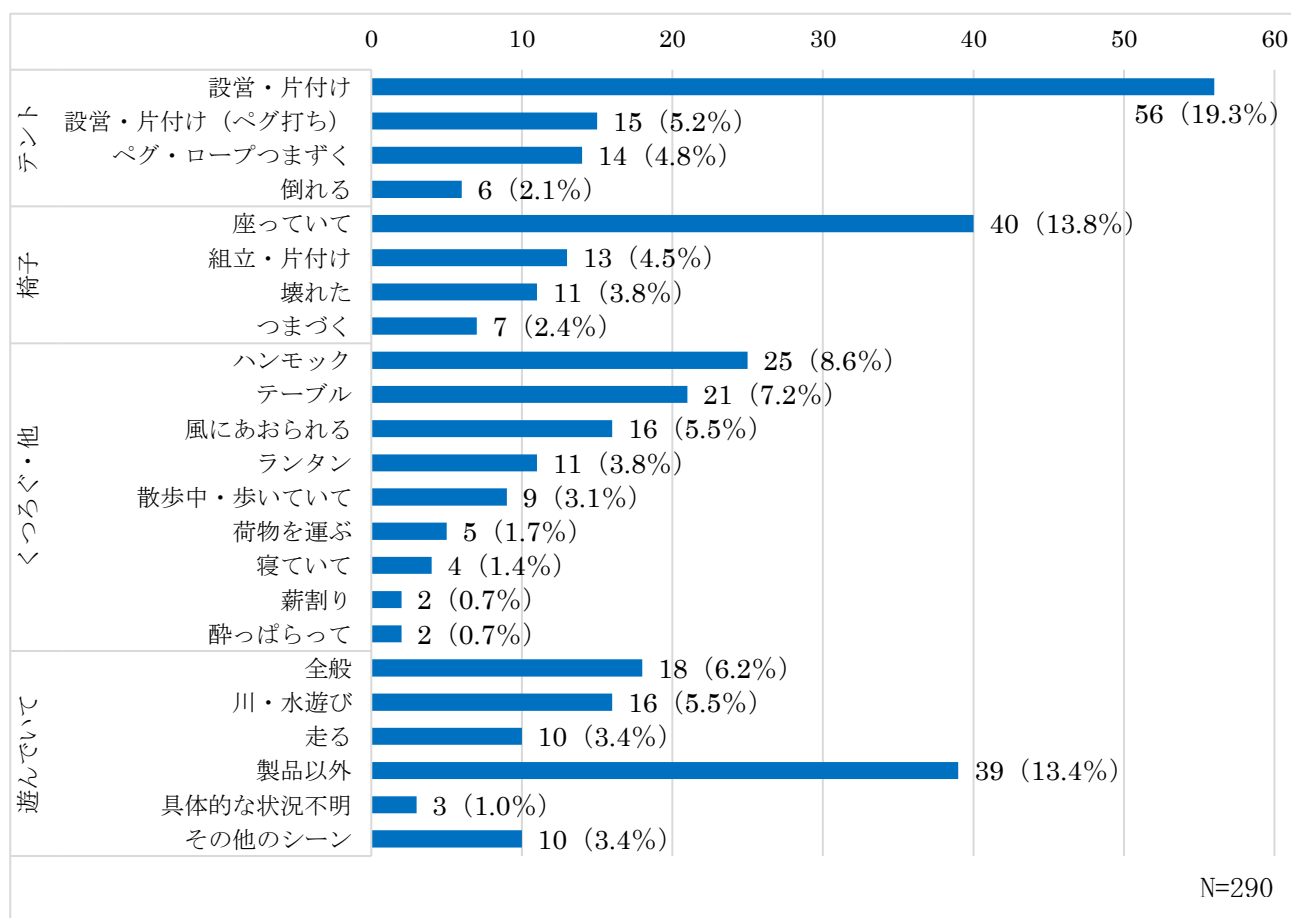


図 2_6_2. 【過ごす・くつろぐ】場面でのけが及びヒヤリ・ハット経験の詳細分類（②何をしている・どういう状況で）

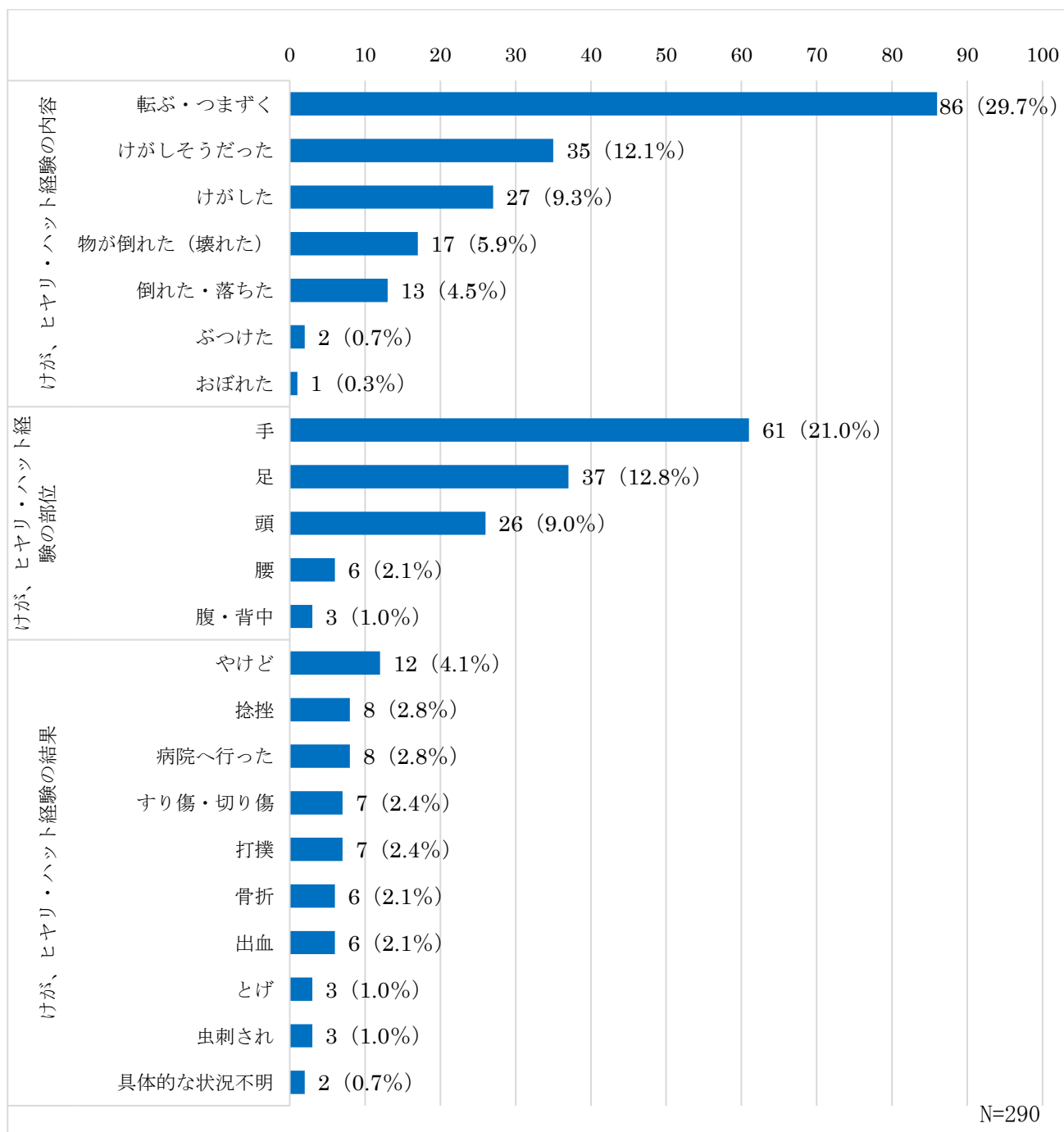


図 2_6_3. 【過ごす・くつろぐ】場面でのけが及びヒヤリ・ハット経験の詳細分類
(③どうなった)

表 2_2_1. 【過ごす・くつろぐ】 場面でのけが及びヒヤリ・ハット経験の詳細抜粋

けが、けがをしそうになった人	年齢	(けがをした人へ)けがの程度	原因となった製品	シチュエーション	考えられる原因	詳細
自分	25		テント	使用中にけがをしそうになった	自分の行動原因によるもの	ソロキャン中に、風が強いときに火をつけようとしてテント内で点火しようとしたらテントに着火してしまった。急いで飲料水をかけて事なきを得たが、絶対にテント内で点火してはいけないと初のキャンプで思い知りました。
自分	66	けがをして医療機関を受診した	テント	設営・組立時にけがをした	段差や障害物などによるもの	テントをたてる時、テントの棒に指がはさまれた。棒はすぐにはずしてもとにもどしたが、指から血がでる怪我をして処置をした。
自分	23	けがをして医療機関を受診した	テント	使用中にけがをした	自分の行動原因によるもの	夕方、自分がテントから出ようとした時、スマホを見ながら動いていた為、テントに引っかかってバランスを崩し、左足を捻ってしまった。幸い、もう帰るところだったので、帰りに病院に行き、全治 2 週間の軽い捻挫と診断された。
自分	23	けがをして医療機関を受診した	テント	設営・組立時にけがをした	製品の不良によるもの	テントの準備をしているときに、固定するくぎみたいなものをつけていたが、それを差し終わった後外れてしまい、テントが倒れてきた。
自分	39	けがをして医療機関を受診した	テント	設営・組立時にけがをした	自分の行動原因によるもの	私がキャンプで使用するために新しいテントを設営している際に、テントのフレームを組み立てる過程で、フレームの一部が強い力で元の形に戻ろうとし、勢いよく跳ね返った。その際、周りの確認が不十分なまま無理な力を加えたことで、自分の右手指が挟まれ中指に激しい痛みを感じ、すぐに腫れが出てきた。近くの医療機関を受診した結果、打撲と診断され、完治まで 2 週間程度を要した。また、事故の瞬間、近くにいた他のキャンプ参加者にもフレームが当たりそうになり、非常に危険な状況であった。
自分	65		タープ	使用中にけがをしそうになった	悪天候である、天気が急変したなど天候によるもの	設営が終わって食事の準備をする前の休憩時間に、突風が吹いてタープが飛ばされそうになり、ポールが倒れてきた。
家族(子供)	9		タープ	使用中にけがをしそうになった	自分の心理的原因によるもの	夕方、娘がテント近くで遊んでいる時にタープに足を引っ掛けて転びそうになった。遊ぶのに夢中で足元が見えていなかったと思う。
自分	41	けがをしたが医療機関は受診しなかった	テーブル	使用中にけがをした	自分の行動原因によるもの	食事をしている時にテーブルが傾いて、怪我をしました。テーブルのとげが指にささった。不注意から起きた。

表 2_2_2. 【過ごす・くつろぐ】場面でのけが及びヒヤリ・ハット経験の詳細抜粋

けが、けがをしそうになった人	年齢	(けがをした人へ)けがの程度	原因となった製品	シチュエーション	考えられる原因	詳細
自分	55		ペグ・ペグハンマー	設営・組立時にけがをしそうになった	自分の心理的原因によるもの	ペグを使ってテントを設営していたとき他の事に気を取られていたのと疲れていたこともあり、ハンマーでペグを打ち付けていた際に誤って指を強打しそうになった
自分	38		椅子、ベンチ	使用中にけがをしそうになった	段差や障害物などによるもの	夕方食後にくつろいでいる時に、設置した椅子の足場が安定していなかったので倒れそうになった。
自分	37		椅子、ベンチ	使用中にけがをしそうになった	自分の行動原因によるもの	キャンプで初めて買った椅子を組み立てた。簡単だと思ったので説明書をよく読まずに組み立て、座ったところ、椅子のある部分がきちんとはまっておらず、尻餅をついてしまった事がある。
友人・知人(大人)	42		椅子、ベンチ	撤収・分解時にけがをしそうになった	他の人の心理的原因によるもの	雨が降ってきたので、急いで組み立て椅子をたたんでいる時に指を挟みそうになった。
自分	54	けがをして医療機関を受診した	椅子、ベンチ	使用中にけがをした	自分の行動原因によるもの	キャンプ場で荷物を運ぶ際に、よろけて設置させていたベンチに足をぶつけて内出血を起こした。
自分	60	けがをしたが医療機関は受診しなかった	ランタンなどの照明(ヘッドライト・電球・ろうそくなど)	使用中にけがをしそうになった	自分の行動原因によるもの	ランタンに灯りを灯そうとしてバランスを崩して倒れたときに怪我した。
自分	40	けがをしたが医療機関は受診しなかった	ランタンなどの照明(ヘッドライト・電球・ろうそくなど)	使用中にけがをした	自分の行動原因によるもの	自分が、別の作業をしているときに、太ももの裏に裸の電球が当たっていることにしばらく気づかず、火傷してしまった。
自分	46		ランタンスタンド	撤収・分解時にけがをしそうになった	製品の不良によるもの	自分が、ランタンスタンドのぐらつきを直そうと本体を触っていたところ、部品の接続不具合で、手をケガしそうになった。
家族(子供)	4		ハンモック	使用中にけがをしそうになった	自分の行動原因によるもの	息子が4歳の時、ハンモックに一人で眠っていた。自分で目を覚まし、起き上がった時に、バランスをくずして、落ちてしまった。
自分	33	けがをして医療機関に入院した	ハンモック	使用中にけがをした	自分の行動原因によるもの	屋間にハンモックで寝ている時に揺らしていたら落ちて手をついた時に骨折した。

3. 【調理・食べる】場面でのけが及びヒヤリ・ハット経験

（【調理・食べる】場面で複数の経験がある場合、（2）以降は最も危害の程度の大きい事例一つについての回答となっている。）

（1）けが及びヒヤリ・ハット経験をした人

「けがをした経験がある・けがをしそうになった経験」のどちらにおいても、『自分』の経験がいずれも多い。そのほかに、「けがをしそうになった経験」では『家族（子供）』が46人と多く、次いで『友人・知人（大人）』が39人と続く。

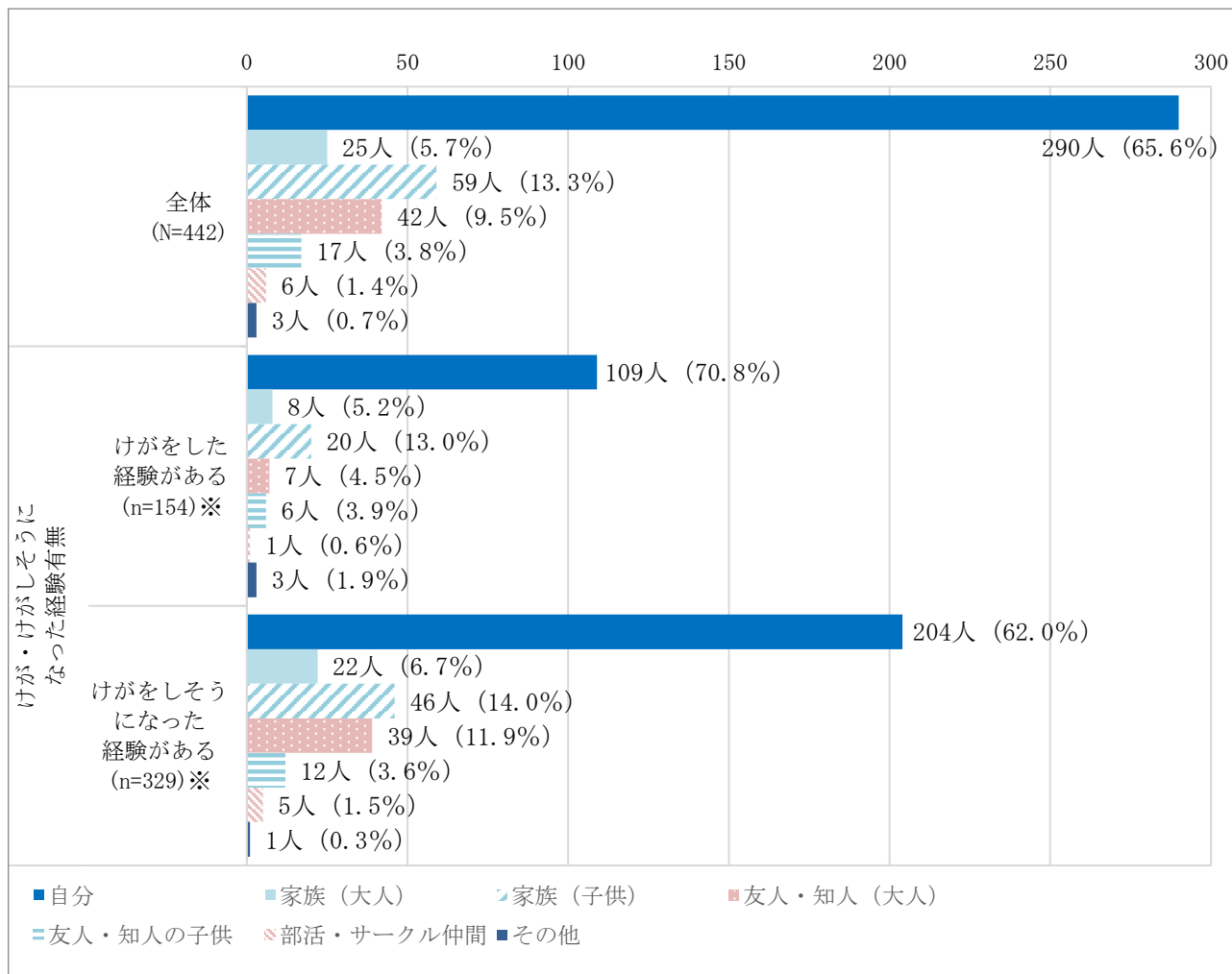


図 3_1. 【調理・食べる】場面でのけが及びヒヤリ・ハット経験を経験した人

※「けが・けがをしそうになった経験有無」の母数について

表 3_1 のとおり【調理・食べる】場面で「けがをした経験がある」及び「けがをしそうになった経験がある」の両方を選択している人が41人含まれている。本設問群は最も危害の程度の大きい事例1つが回答の対象となるため、「けがをした経験がある」と「けがをしそうになった経験がある」の合計値が全体と一致しない。詳細な人数については1（3）表 1_1_1・表 1_1_2 参照。

表 3_1. 表 1_1_1・表 1_1_2『調理・食べる』場面の抜粋

キャンプ・バーベキューの想定される場面	調理・食べる
けがをした経験がある①	154 人
けがをしそうになった経験がある②	329 人
けがをした経験、けがをしそうになった経験の両方選択した人③	41 人
全体[①+②-③]	442 人

(2) けがをした人のけがの程度

【調理・食べる】場面でけがをした人の、けがの程度をまとめた。56人がけがをして医療機関を受診（「けがをして医療機関に入院した」「けがをして医療機関を受診した」の計）しており、8人が入院をしている。

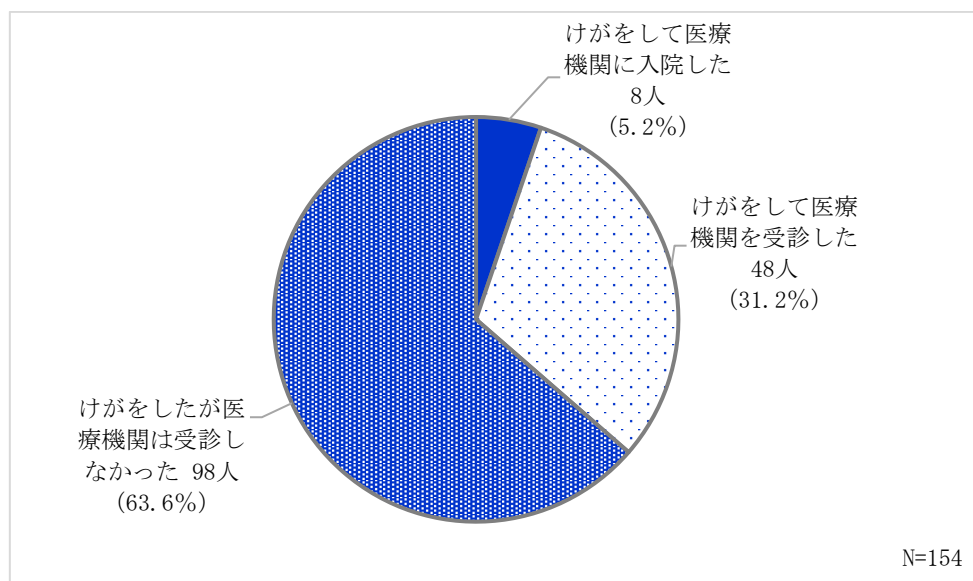


図 3_2. 【調理・食べる】場面でのけがの程度

(3) けが及びヒヤリ・ハット経験の原因となった製品

【調理・食べる】場面におけるけが及びヒヤリ・ハット経験の原因となった製品を降順でまとめた。『18歳以上』では「ナイフ、包丁」が117人と最も多く、次いで「薪、炭、着火剤」68人で続いている。『18歳未満』では、「バーベキューグリル」が17人と最も多く、「ナイフ・包丁」が15人と続く。

「その他」は、遊んでいるときや歩行中など、製品に由来しないけが及びヒヤリ・ハットであった。

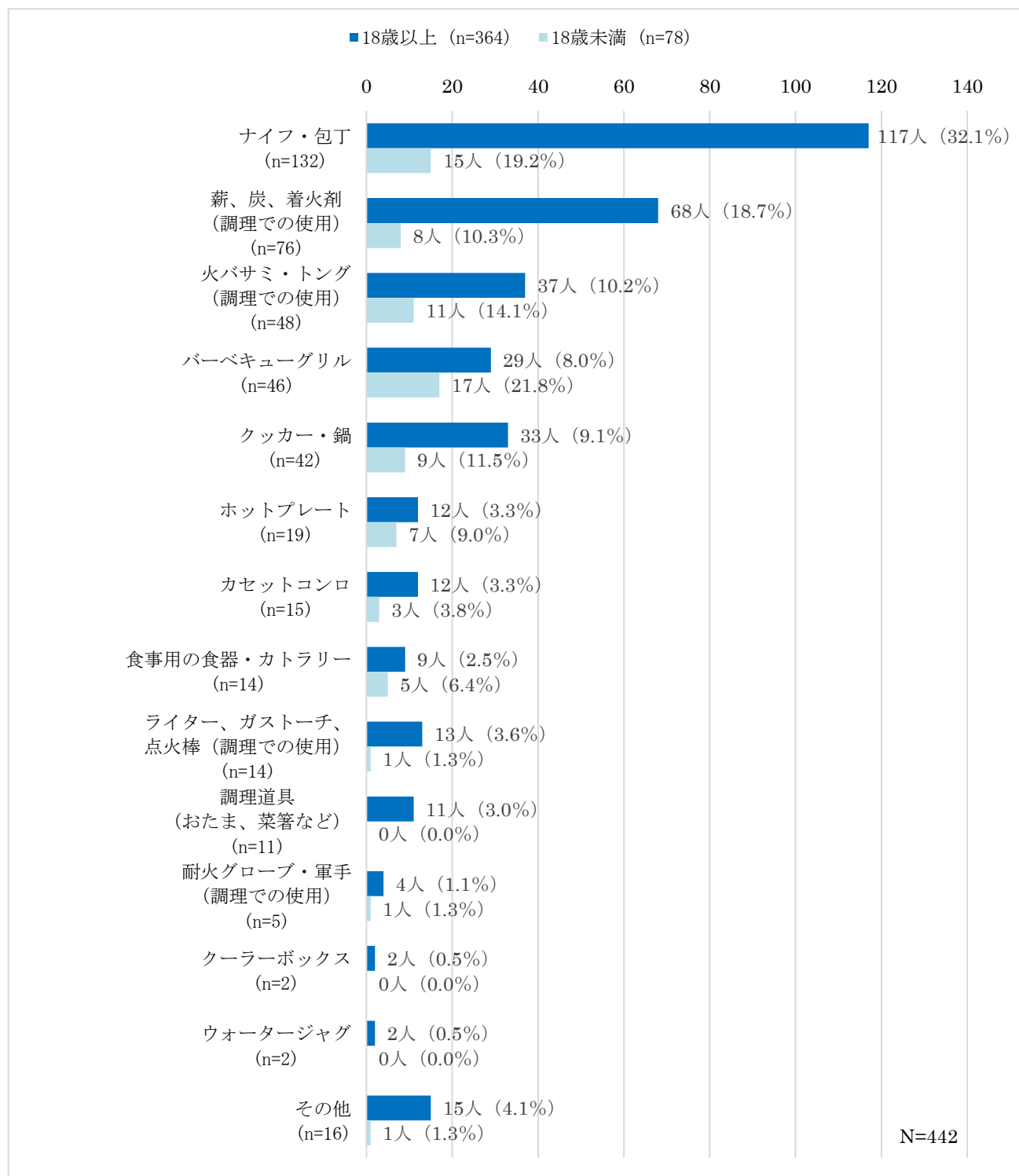


図 3_3. 【調理・食べる】 場面でのけが及びヒヤリ・ハット経験の原因となった製品

(4) けが及びヒヤリ・ハット経験のシチュエーション

【調理・食べる】場面において、具体的に何をしているときにけが及びヒヤリ・ハット経験をしたかを降順でまとめた。

年齢に関係なく、「食材の下準備・調理中にけがややけどをした」「食材の下準備・調理中にけがややけどをしそうになった」がいずれも多くなっている。

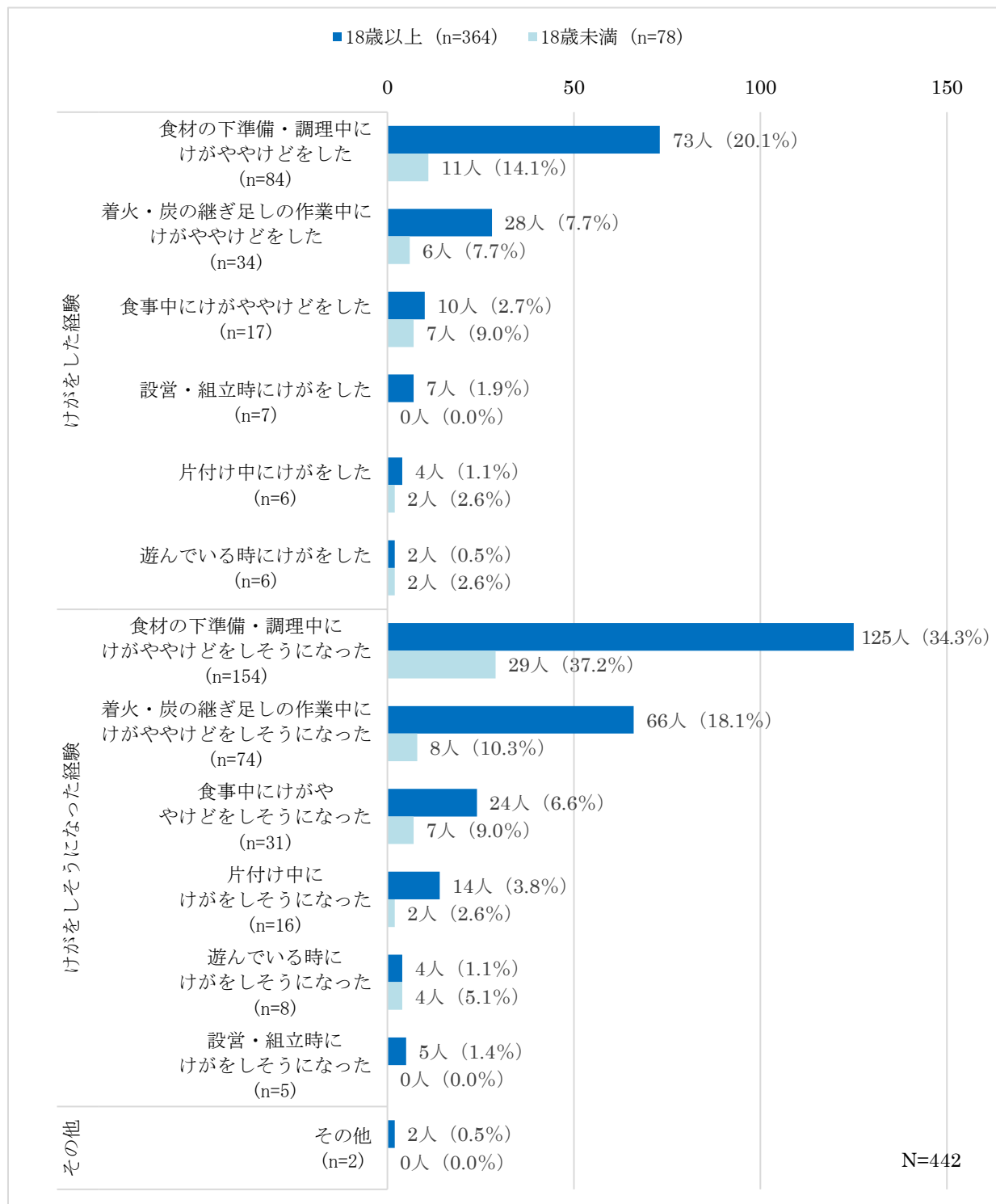


図 3_4. 【調理・食べる】 場面でのけが及びヒヤリ・ハット経験のシチュエーション

(5) けが及びヒヤリ・ハット経験の考えられる原因

【調理・食べる】場面において、けが及びヒヤリ・ハット経験の考えられる原因を降順でまとめた。

『18歳以上』では、「自分の行動原因によるもの」が186人で最も多くなっており、次いで「自分の心理的要因」が72人と続く。

『18歳未満』は、「自分の行動原因によるもの」が31人で最も多く、次いで「他の人の行動原因によるもの」が21人と続く。

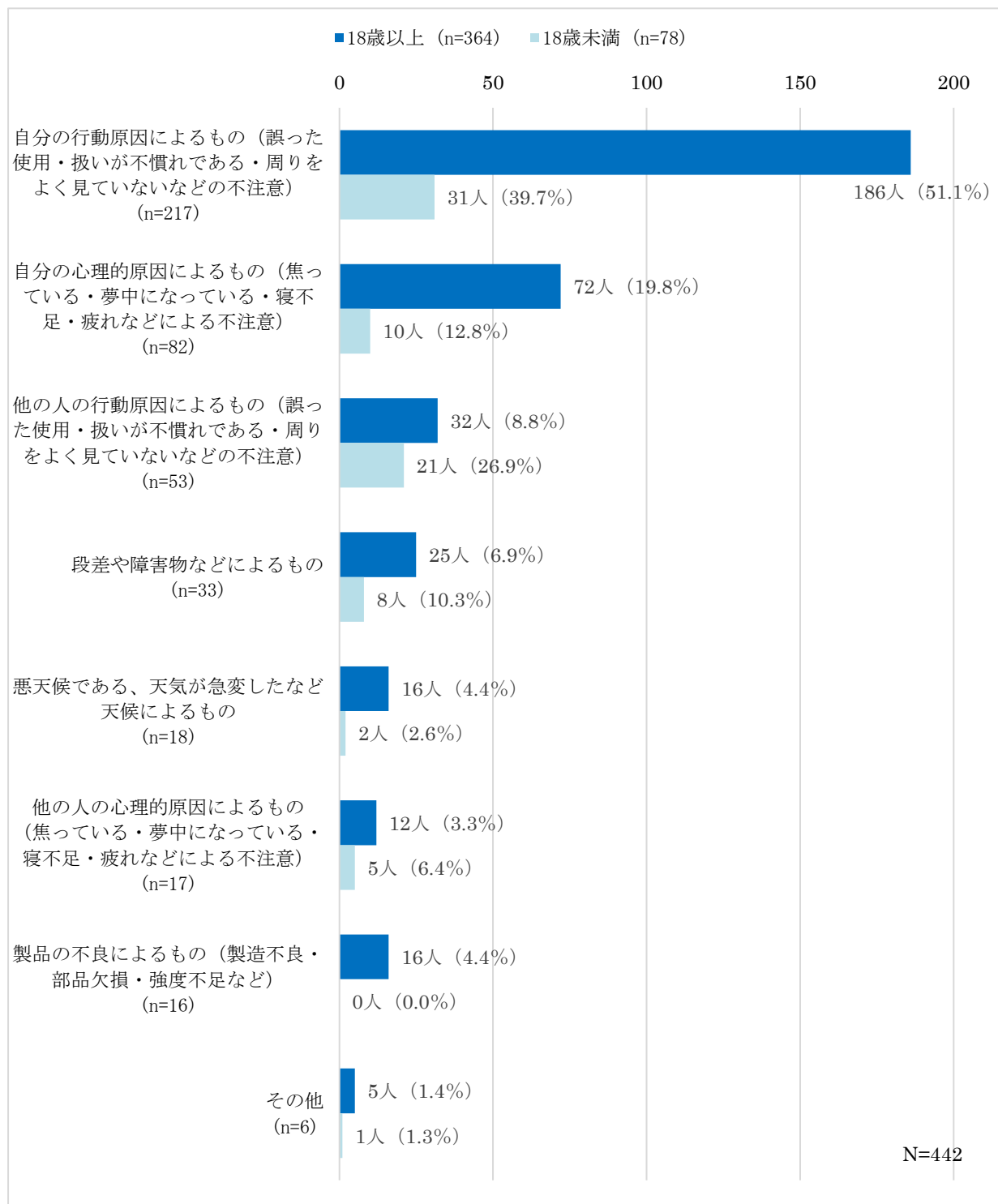


図 3_5. 【調理・食べる】場面でのけが及びヒヤリ・ハット経験の考えられる原因

（６）けが及びヒヤリ・ハット経験の状況詳細

【調理・食べる】場面における、具体的な状況の記述（442 件中、有効件数 430 件）を分析し、①誰が（図 3_6_1）、②何をしている・どういう状況（図 3_6_2）、③どうなった（図 3_6_3）、の 3 つに分類をした結果をまとめた。

①誰がでは「自分」に関する記述が最も多い。②の状況では『調理中』の「ナイフ・包丁」120 件、「火」92 件と多く、次いで『火起こし、調理、食事中など』の「火起こし・火力調整」69 件と続く。③の結果としてやけどに関する記述が 224 件（「やけどした」「やけどしそうになった」の計）と多かった。

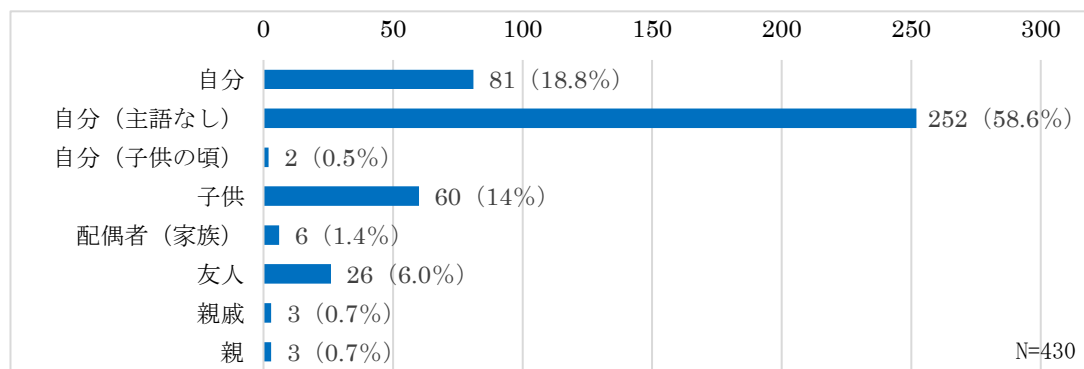


図 3_6_1. 【調理・食べる】けが及びヒヤリ・ハット経験の詳細分類（①誰が）

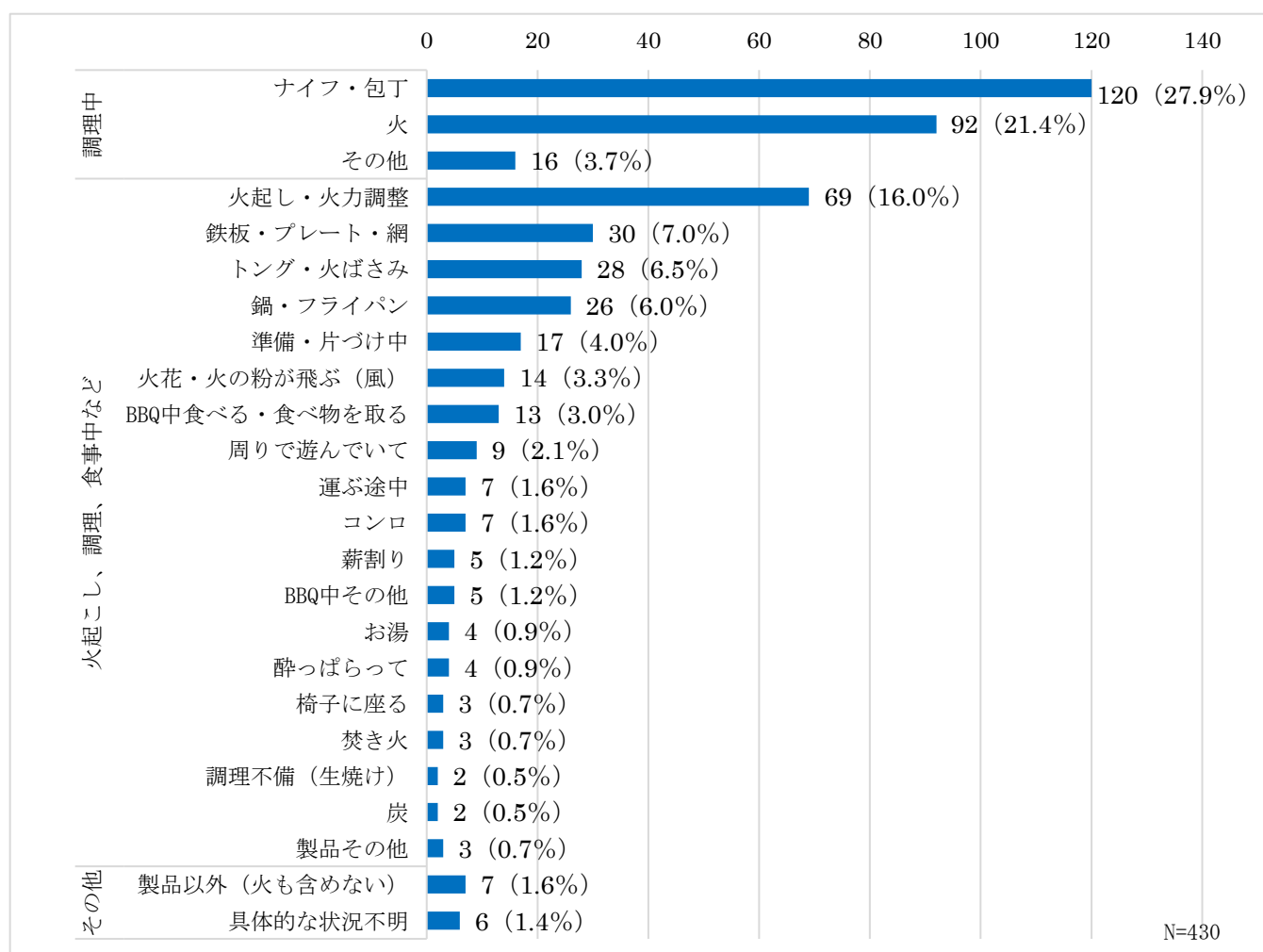


図 3_6_2. 【調理・食べる】場面でのけが及びヒヤリ・ハット経験の詳細分類（②何をしている・どういう状況で）

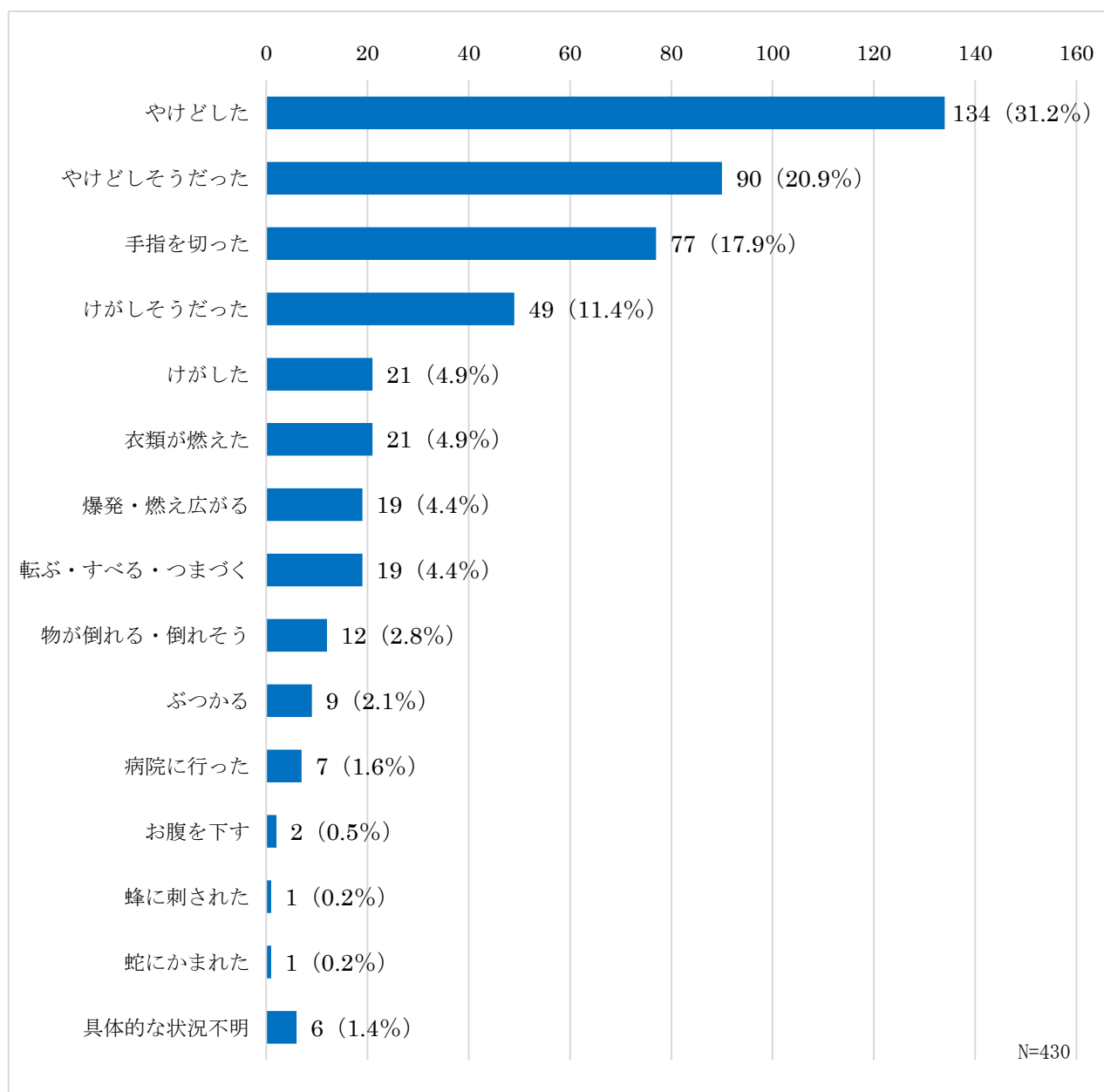


図 3_6_3. 【調理・食べる】場面でのけが及びヒヤリ・ハット経験の詳細分類
(③どうなった)

表 3_2_1.【調理・食べる】場面でのけが及びヒヤリ・ハット経験の詳細抜粋

けが、けがをしそうになった人	年齢	(けがをした人へ)けがの程度	原因となった製品	シチュエーション	考えられる原因	詳細
自分	33		ナイフ・包丁	食材の下準備・調理中にけがややけどをしそうになった	自分の行動原因によるもの	キャンプに行き、自分が食事の準備をしていた。普段、料理もしないのにもかかわらず、不安定な作業台で食材を切っていたため、思うように食材が切れなかった。けがはしなかったものの、より慎重に準備をしなければと思った。
自分	50		ナイフ・包丁	食材の下準備・調理中にけがややけどをしそうになった	自分の行動原因によるもの	鉋で薪割りをしている時に手元が狂って指を切りそうになった。軍手をしていたので、軍手が裂かれただけで事なきを得た。
自分	27	けがをして医療機関に入院した	ナイフ・包丁	食材の下準備・調理中にけがややけどをした	自分の行動原因によるもの	バーベキューで調理している最中に誤ってナイフが自分の身体に刺さった。
自分	50	けがをして医療機関を受診した	調理道具(おたま、菜箸など)	食材の下準備・調理中にけがややけどをした	自分の行動原因によるもの	子供達を連れてキャンプに行き飯盒炊爨(はんごうすいさん)をしました。包丁やピーラーの使い方を教えている最中に危ない手つきで作業していたので指導していた時に、自分が失敗して裂傷…応急処置はしたものの、出血が止まらなかったため病院に受診してもらう。
自分	45	けがをしたが医療機関は受診しなかった	クッカー・鍋	着火・炭の継ぎ足しの作業中にけがややけどをした	自分の行動原因によるもの	ダッチオーブンが重かったのでフタを足に落としてやけどと強打を一度にした。
家族(子供)	4		薪、炭、着火剤(調理での使用)	着火・炭の継ぎ足しの作業中にけがややけどをしそうになった	自分の行動原因によるもの	子供を含む家族でバーベキューに行ったとき、炭で火をつけていて、炭を補充していたら、子供がまねして、手袋を付けずに火の近くに素手で炭を入れて、やけどしそうになった。
自分	49		薪、炭、着火剤(調理での使用)	着火・炭の継ぎ足しの作業中にけがややけどをしそうになった	自分の行動原因によるもの	山でキャンプをしていて晩御飯の調理中に、火力をあげようとして薪に大量の空気を吹き込んだところ、想像以上に急に炎が大きくなり手や服に多くの火の粉を浴び、服に穴が開いたり手が熱く感じたりした。
自分	28	けがをしたが医療機関は受診しなかった	薪、炭、着火剤(調理での使用)	着火・炭の継ぎ足しの作業中にけがややけどをした	自分の行動原因によるもの	自宅でバーベキューをしようと火の用意をしていたとき、加熱された炭が弾け、火の粉が顔に飛んだ。少し赤くなったが、目に当たっていたら危険だったので、十分に距離をとるか、メガネやゴーグル等が必要だと思った。

表 3_2_2. 【調理・食べる】場面でのけが及びヒヤリ・ハット経験の詳細抜粋

けが、けがをしそうになった人	年齢	(けがをした人へ)けがの程度	原因となった製品	シチュエーション	考えられる原因	詳細
自分	58		薪、炭、着火剤(調理での使用)	着火・炭の継ぎ足しの作業中にけがややけどをしそうになった	他の人の行動原因によるもの	学生時代の友人たちと、山でバーベキューをしようとしたところ、友人が火おこしを焦ってしまい、着火剤に引火し、その外装紙に燃え移り、私の足に落ちた。少し赤くなる程度ですみましたが、周囲に人がいないかなども気を付け、万全の態勢で行うことが大切だと思った。
家族(子供)	17		ライター、ガストーチ、点火棒(調理での使用)	着火・炭の継ぎ足しの作業中にけがややけどをしそうになった	自分の行動原因によるもの	家族がバーベキュー担当で着火しようとしていたが、何度しても着火できなかった。ファイヤースターターを顔の前で点火したところ、急に動作して、顔をやけどしそうになった。
自分	60		火バサミ・トング(調理での使用)	食材の下準備・調理中にけがややけどをしそうになった	自分の行動原因によるもの	かまどで調理しているときに、網の上に置いてあったトングが高温になっていたのを素手で触り、とても熱かった。幸いすぐに離したので軽いやけどで済んだが、火の周囲にあるものは気を付けなければいけないと思った。
自分	30	けがをして医療機関を受診した	カセットコンロ	食材の下準備・調理中にけがややけどをした	自分の行動原因によるもの	カセットコンロで調理中に、大きい鍋を使っていたことが原因でカセットが爆発したことがある。
家族(子供)	9	けがをして医療機関を受診した	バーベキューグリル	食事中にけがややけどをした	悪天候である、天気が急変したなど天候によるもの	家族でバーベキューをしているときに、風が強くなってきて、火が手元にあたってしまい、軽いやけどをした。赤くなって少し水ぶくれになったので、念のため病院で行った。
家族(子供)	5		ホットプレート	食事中にけがややけどをしそうになった	段差や障害物などによるもの	ホットプレートの電源を使っているコンセントと、ホットプレートに乗っているテーブルとの距離よりもコードが短くて宙を浮いており、子供がつまづいてホットプレートが落ちそうになった。
自分	49	けがをしたが医療機関は受診しなかった	ホットプレート	食材の下準備・調理中にけがややけどをした	自分の行動原因によるもの	家族でバーベキューをしていた際、焼きそばを作るためにプレートを使い調理していた。調理の際に軍手が煩わしかったので、素手で調理をしていたところ、うっかり鉄板部分を触ってしまい火傷しました。持参していた保冷剤でよく冷やしていたため病院に受診するまでにはならずに済みました。次からは調理の際にも、必ず軍手をしようと思いました。

4. 【焚き火】場面でのけが及びヒヤリ・ハット経験

（【焚き火】場面で複数の経験がある場合、（2）以降は最も危害の程度の大きい事例一つについての回答となっている。）

（1）けが及びヒヤリ・ハット経験をした人

「けがをした経験がある・けがをしそうになった経験」のどちらにおいても、『自分』の経験が最も多い。

そのほかに、「けがをしそうになった経験」では『家族（子供）』が25人と多く、次いで『家族（大人）』が17人と続く。

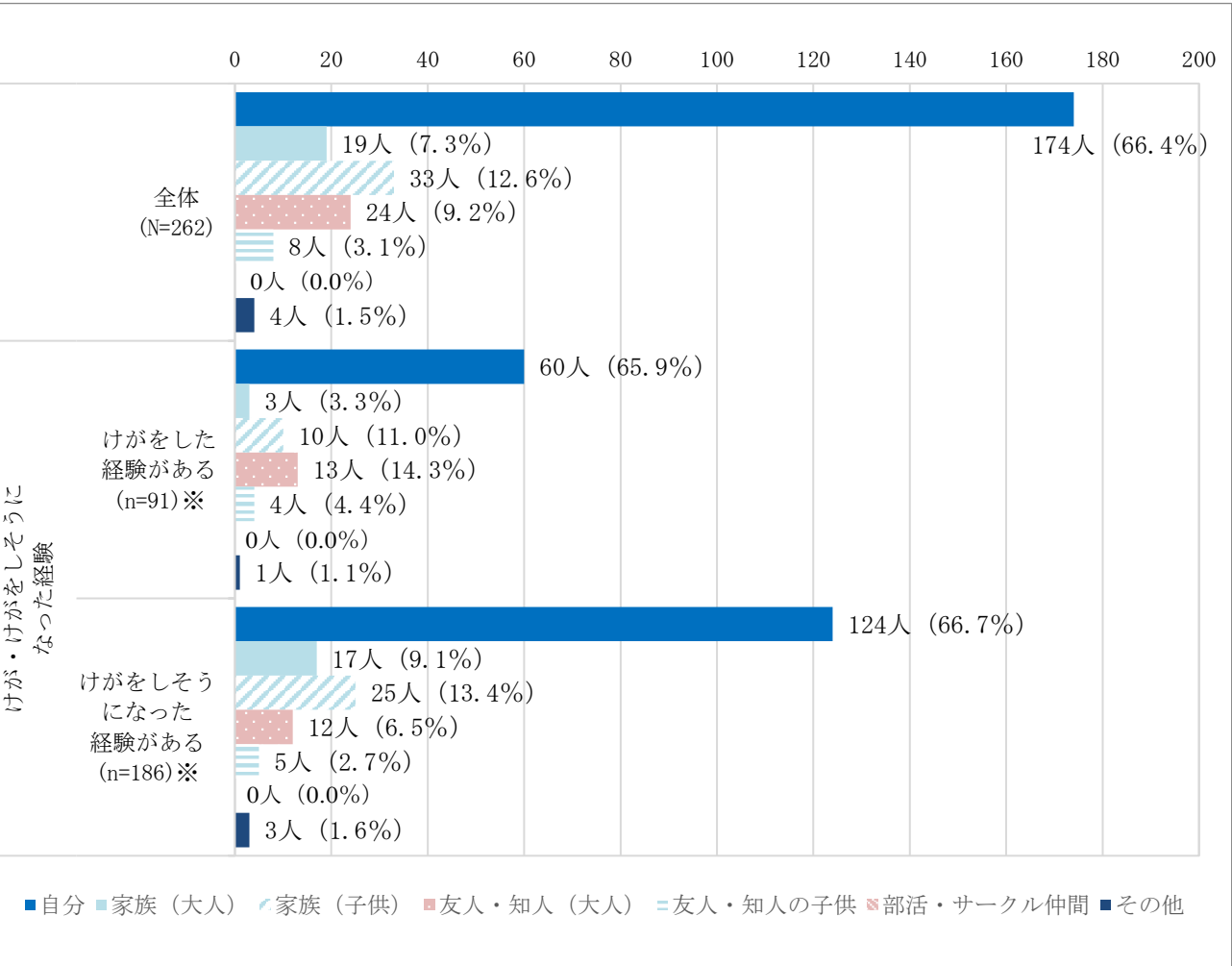


図 4_1. 【焚き火】場面でのけが及びヒヤリ・ハット経験をした人

※「けが・けがをしそうになった経験有無」の母数について

表 4_1 のとおり、【焚き火】場面で「けがをした経験がある」及び「けがをしそうになった経験がある」の両方を選択している人が 15 人含まれている。本設問群は最も危害の程度の大きい事例 1 つが回答の対象となるため、「けがをした経験がある」と「けがをしそうになった経験がある」の合計値が全体と一致しない。詳細な人数については 1（3）表 1_1_1・表 1_1_2 参照。

表 4_1. 表 1_1_1・表 1_1_2『焚き火』場面の抜粋

キャンプ・バーベキューの想定される場面	焚き火
けがをした経験がある①	91 人
けがをしそうになった経験がある②	186 人
けがをした経験、けがをしそうになった経験の両方選択した人③	15 人
全体[①+②-③]	262 人

(2) けがをした人のけがの程度

【焚き火】場面でけがをした人の、けがの程度をまとめた。32人がけがをして医療機関を受診（「けがをして医療機関に入院した」「けがをして医療機関を受診した」の計）しており、2人が入院をしている。

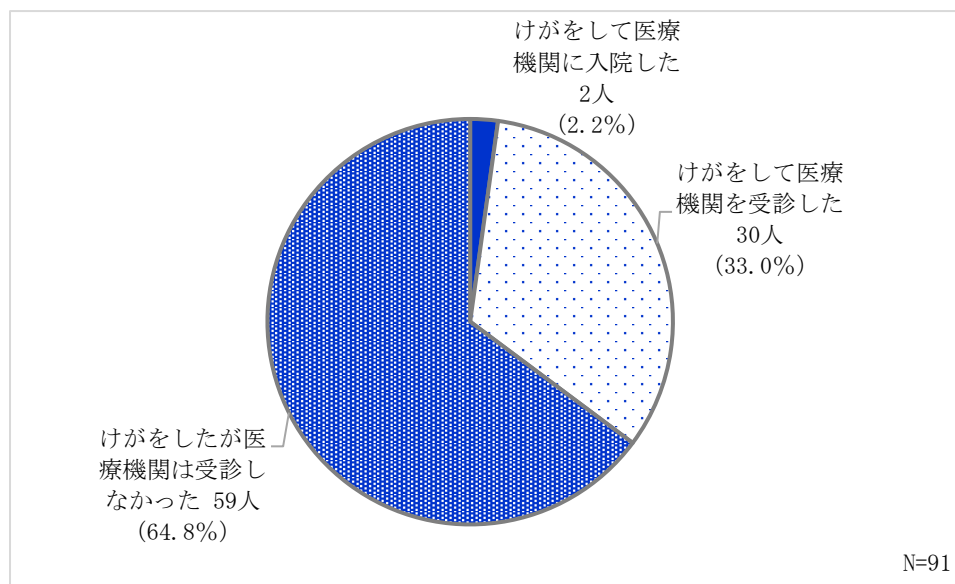


図 4_2. 【焚き火】 場面でのけがの程度

(3) けが及びヒヤリ・ハット経験の原因となった製品

【焚き火】場面におけるけが及びヒヤリ・ハット経験の原因となった製品を降順でまとめた。『18歳以上』では「薪、炭、着火剤」が70人と最も多く、次いで「焚き火台」63人と続く。『18歳未満』では、「薪、炭、着火剤」と「焚き火台」がいずれも15件と最も多く、「火バサミ、トング」が6人と続く。「その他」は、焚き火によって熱せられた石や鉄板に起因するけが及びヒヤリ・ハットがあったことが記述されている。

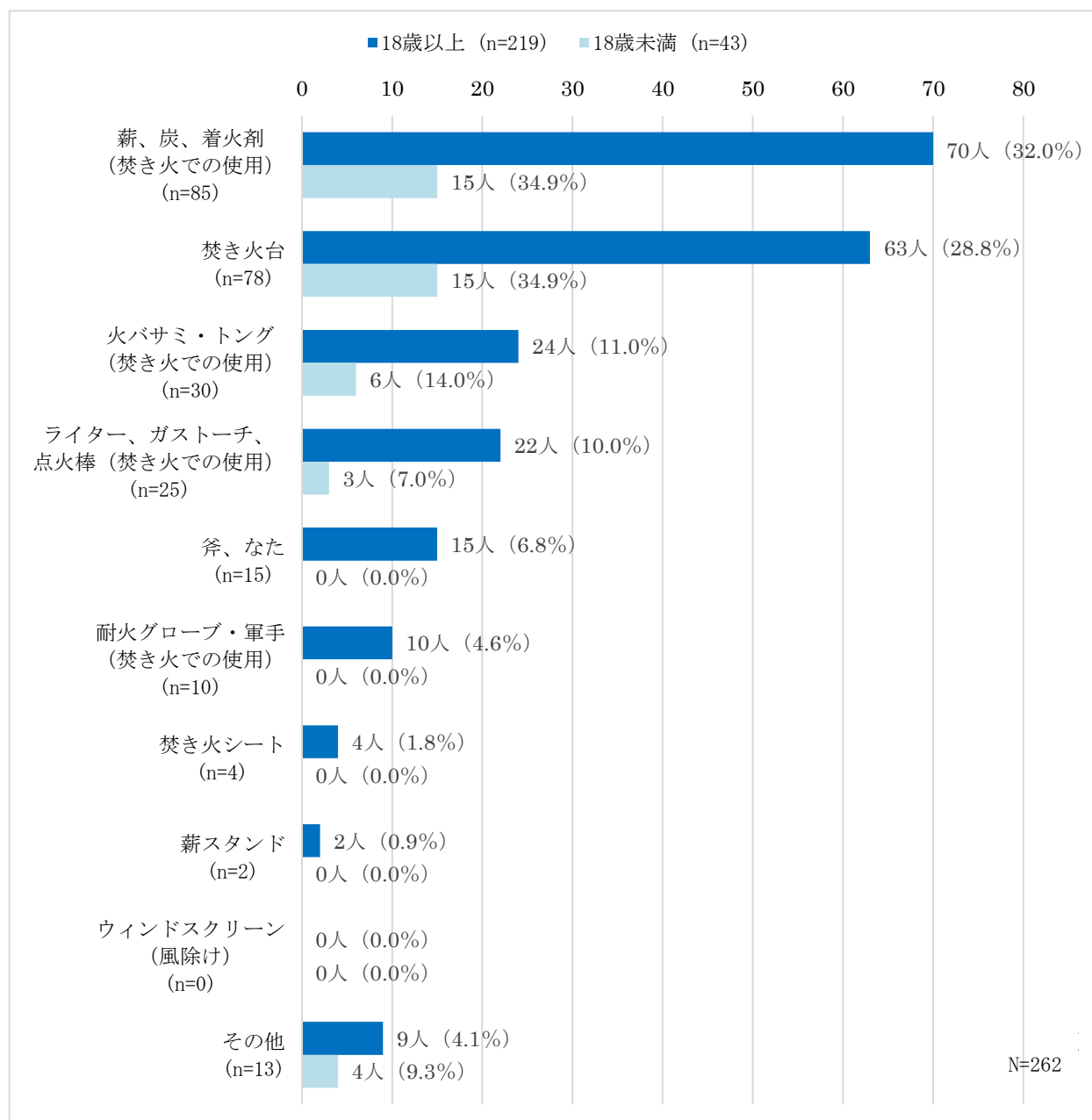


図 4.3. 【焚き火】場面でのけが、及びヒヤリ・ハット経験の原因となった製品

(4) けが及びヒヤリ・ハット経験のシチュエーション

【焚き火】場面において、具体的に何をしているときにけが及びヒヤリ・ハット経験の経験をしたかをまとめた。

年齢を問わず、「使用中にけがをした」「使用中にけがをしそうになった」が多くなっている。

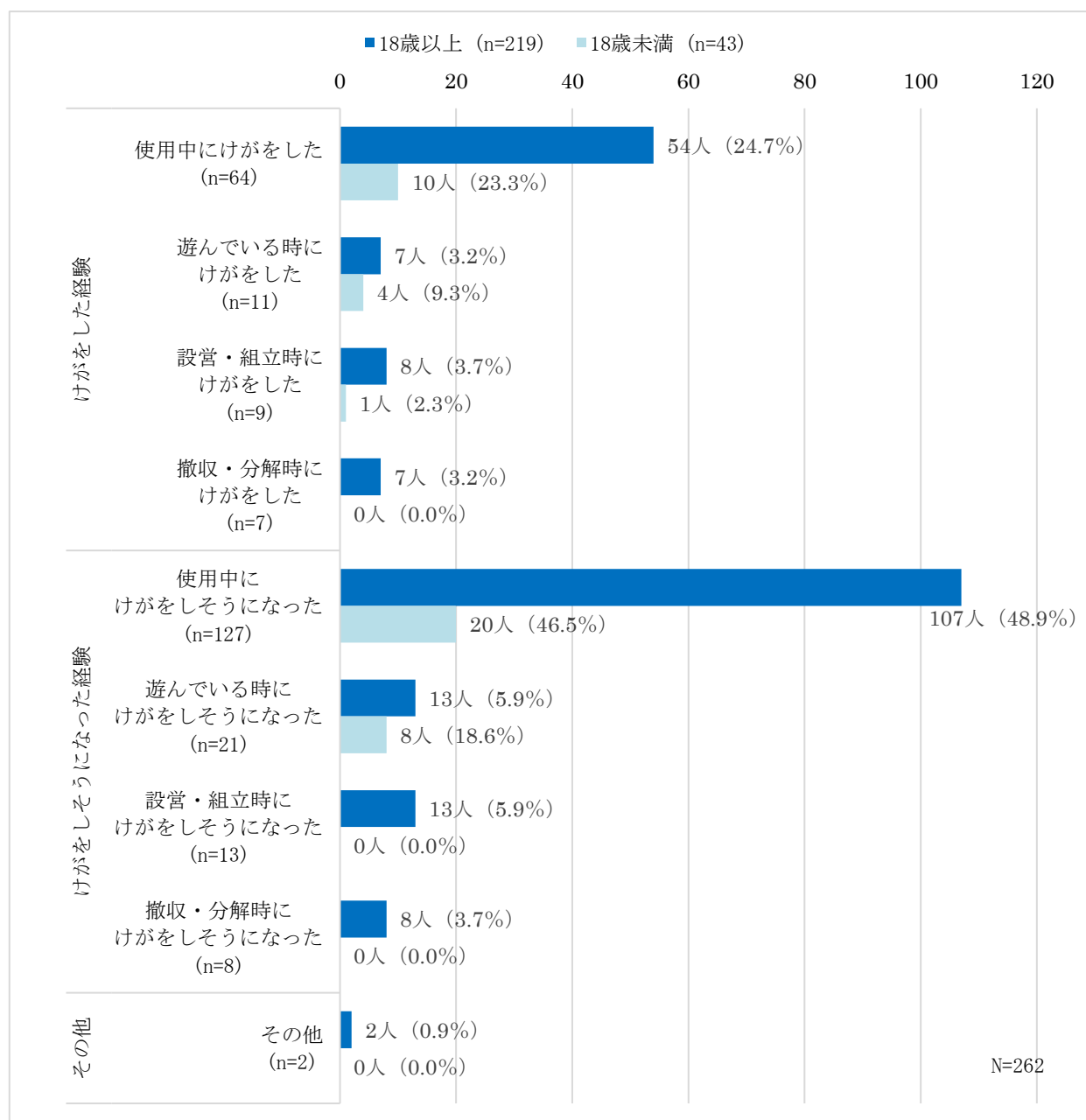


図 4_4. 【焚き火】 場面でのけが及びヒヤリ・ハット経験のシチュエーション

(5) けが及びヒヤリ・ハット経験の考えられる原因

【焚き火】場面において、けが及びヒヤリ・ハット経験の考えられる原因を降順でまとめた。

『18歳以上』は、「自分の行動原因によるもの」が109人と最も多くなっており、次いで「自分の心理的要因」が34人と続く。

『18歳未満』は、「自分の行動原因によるもの」が15人と最も多くなっており、次いで「他の人の行動原因によるもの」が11人、「他の人の心理的原因によるもの」が6人となっている。

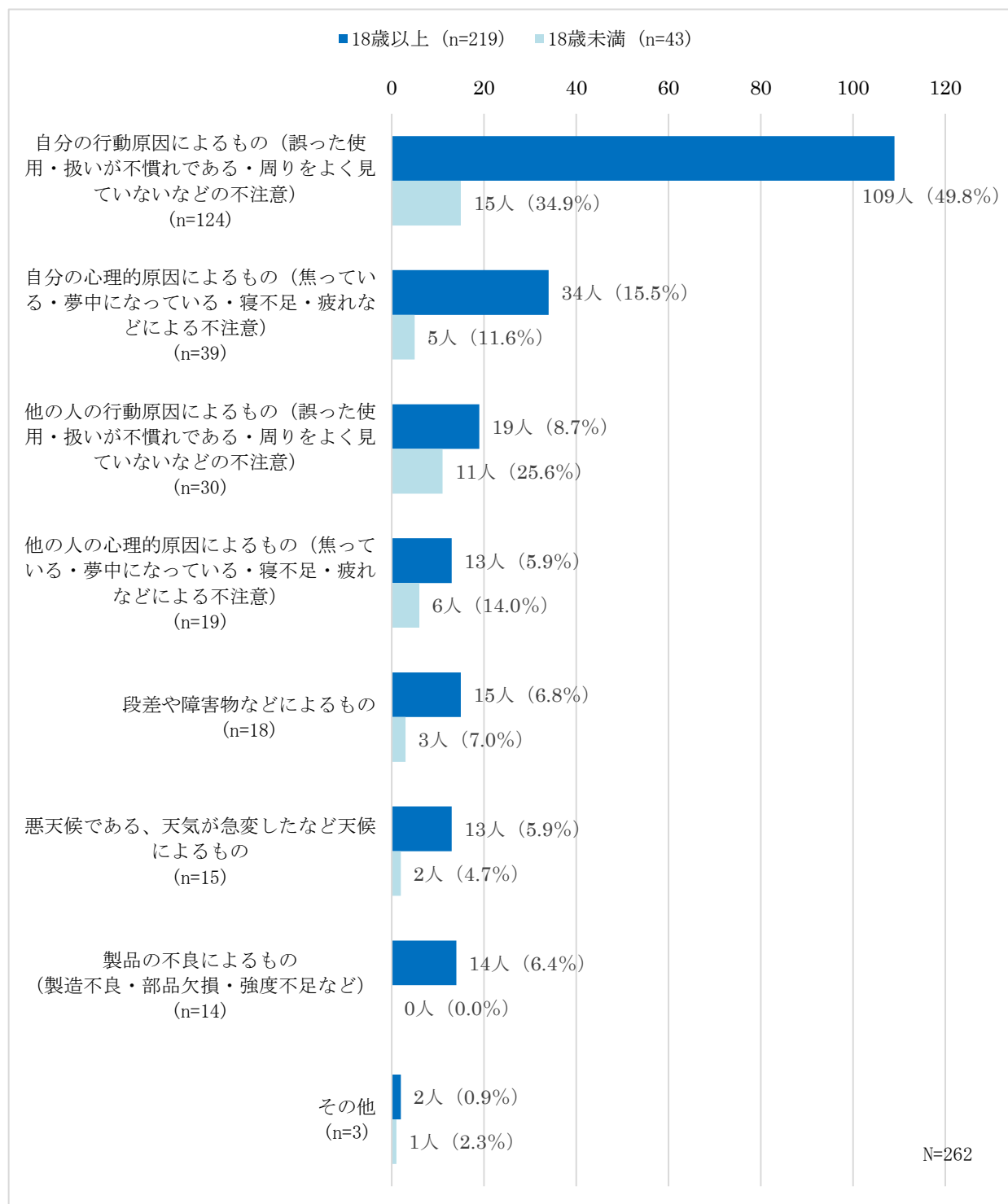


図 4_5. 【焚き火】場面でのけが及びヒヤリ・ハット経験の考えられる原因

(6) けが及びヒヤリ・ハット経験の状況詳細

【焚き火】場面における、具体的な状況の記述（262 件中、有効件数 257 件）を分析し、①誰が（図 4_6_1）、②何をしている・どういう状況（図 4_6_2）、③どうなった（図 4_6_3）、の 3 つに分類をした結果である。

①誰がでは「自分」に関する記述が最も多い。②の状況では「火起し・火力調整」36 件や「火の粉や薪がはねる」34 件などの記述が多く、③の結果としては、やけどに関する記述が 169 件（「やけどした」「やけどしそうになった」の計）と多く、次いで「触る・ぶつかる」と続く。そのほかに、「軍手・衣類が燃えた」19 件や「髪の毛が燃えた」3 件など着衣着火に関する記述もあった。

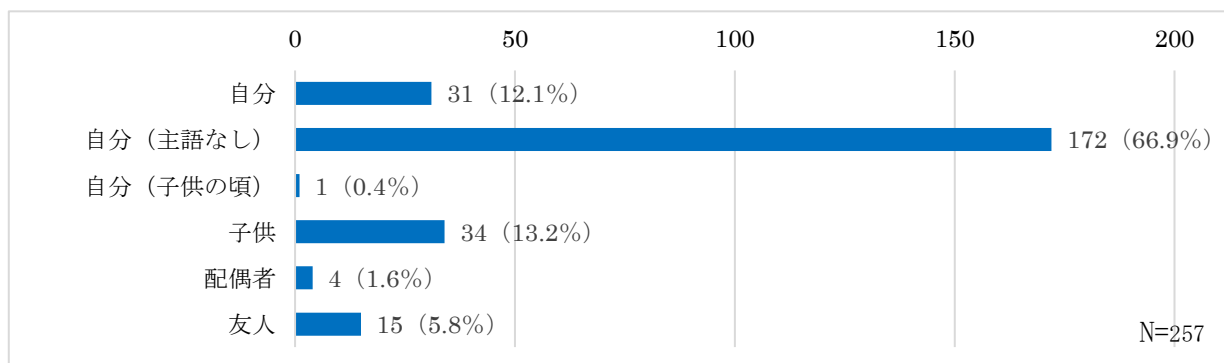


図 4_6_1. 【焚き火】場面でのけが及びヒヤリ・ハット経験の詳細分類 (①誰が)

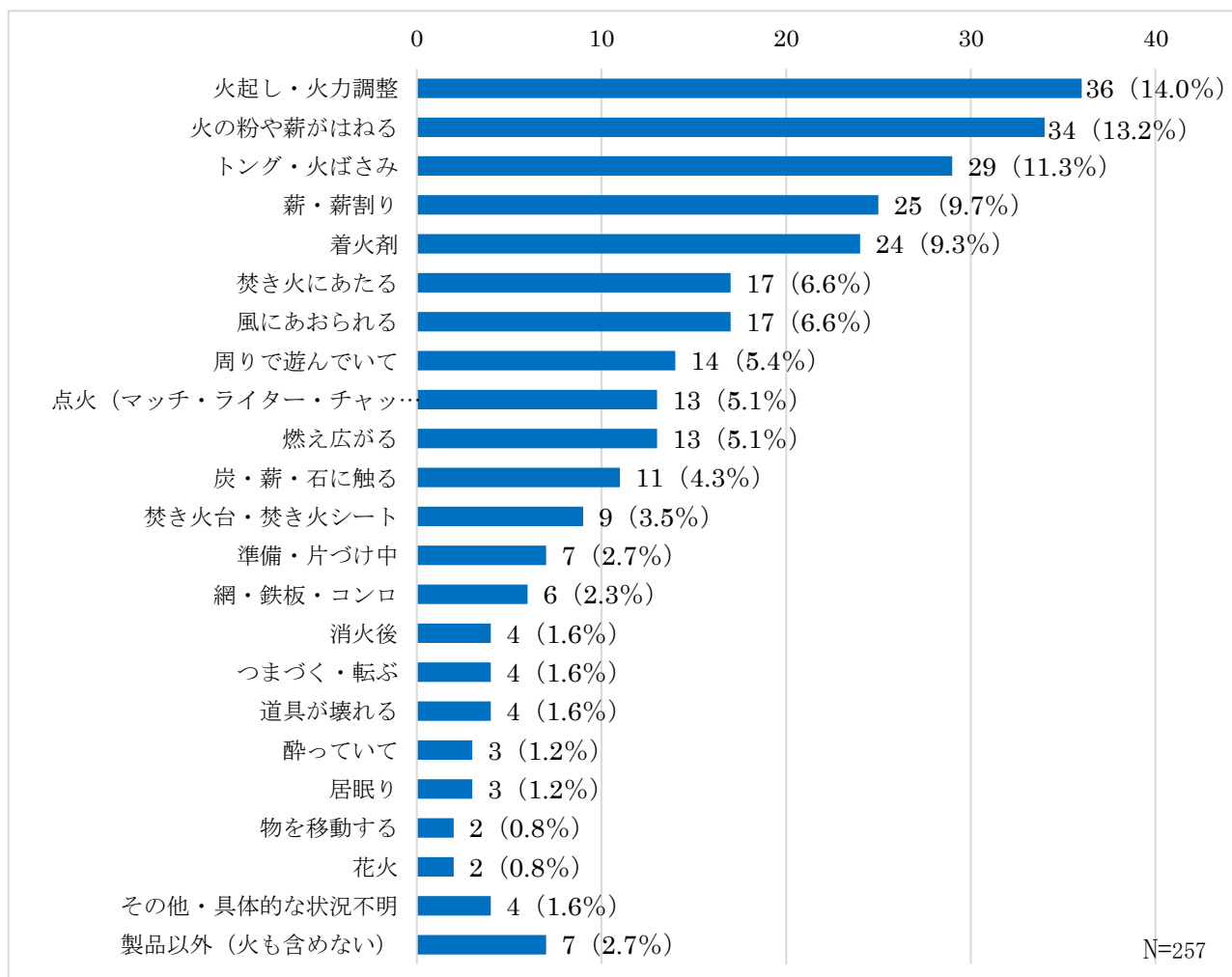


図 4_6_2. 【焚き火】場面でのけが及びヒヤリ・ハット経験の詳細分類 (②何をしている・どういう状況)

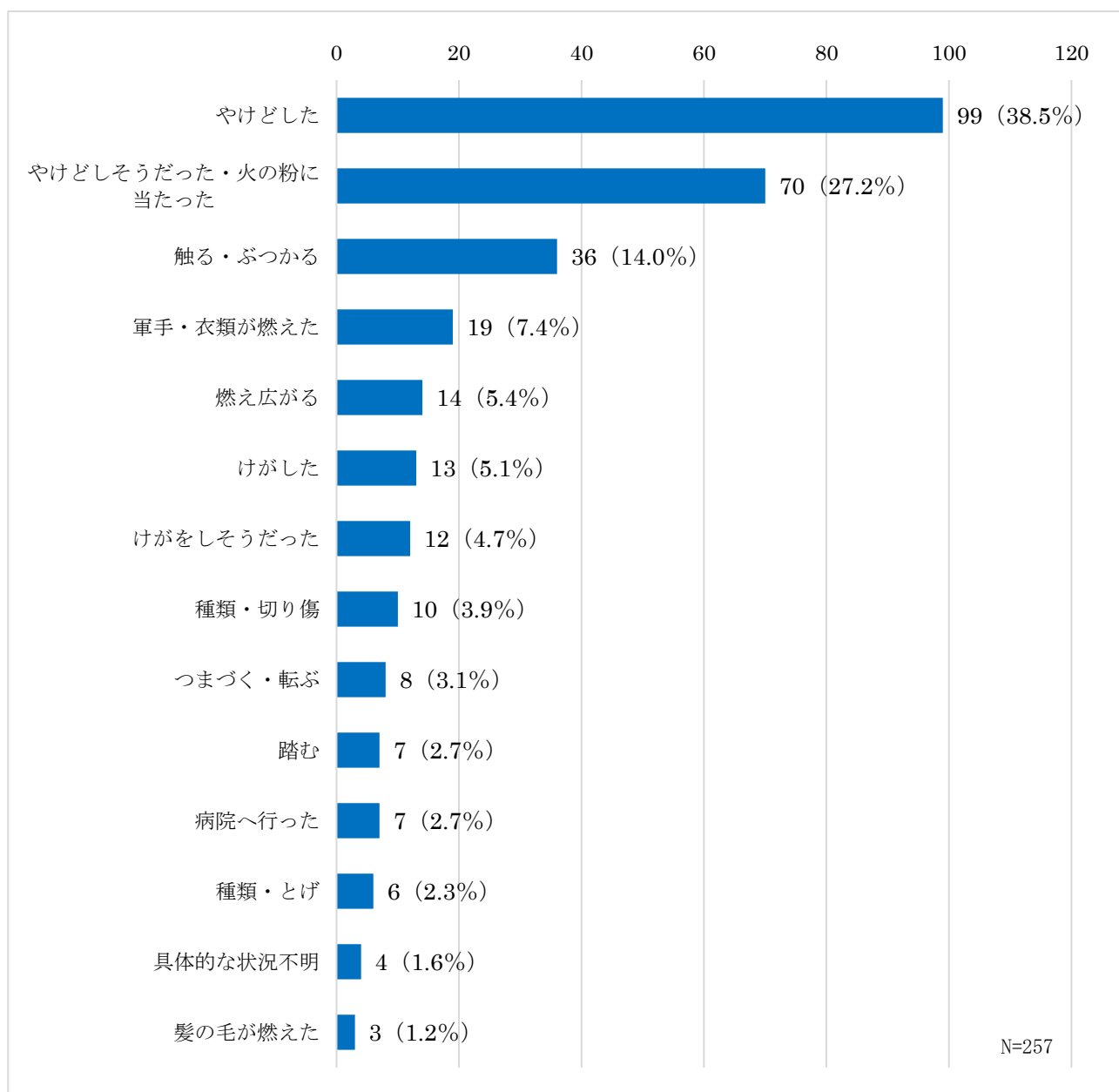


図 4_6_3. 【焚き火】 場面でのけが及びヒヤリ・ハット経験の詳細分類
(③どうなった)

表 4_1_1. 【焚き火】場面でのけが及びヒヤリ・ハット経験の詳細抜粋

けが、けがをしそうになった人	年齢	(けがをした人へ)けがの程度	原因となった製品	シチュエーション	考えられる原因	詳細
家族(子供)	3		焚き火台	遊んでいる時にけがをしそうになった	他の人の行動原因によるもの	子供が鬼ごっこを焚き火の周りでしている時に、体が接触して小さい子が焚き火(鎮火済みだが、熱せられた木炭が残っている状態)に尻もちをついた。幸い火が回る前に救出し、やけどを負う事はなかったが、服は燃えた。あと数秒遅かったら怪我をしていた。
自分	33	けがをして医療機関を受診した	焚き火台	遊んでいる時にけがをした	他の人の行動原因によるもの	足を踏み入れたところが、焚き火の消火直後の場所で、とても高温で足裏に大きなやけどを負った。
自分	56	けがをしたが医療機関は受診しなかった	焚き火台	設置・組立時にけがをした	自分の行動原因によるもの	焚き火台の設置が途中でわからなくなり、時間がなく焦ってしまったところ、焚き火台の部品が落下し、足の上に落ちた。
自分	31	けがをしたが医療機関は受診しなかった	焚き火シート	遊んでいる時にけがをした	自分の行動原因によるもの	焚き火で火を起こした後、焚き火シートに触れてしまい軽いやけどをしてしまった。氷で冷やして対処した。
自分	50		薪、炭、着火剤(焚き火での使用)	使用中にけがをしそうになった	悪天候である、天気が急変したなど天候によるもの	焚き火の最中に急に風向きが変わり、自分がいる場所が風下になった。火が自分に向かってきたが慌ててかわしたので、火の粉が少し当たっただけで済んだ。
自分	53		薪、炭、着火剤(焚き火での使用)	使用中にけがをしそうになった	他の人の行動原因によるもの	友人とキャンプにいき、薪に着火して焚き火が出来たが、その友人が着火剤を焚き火の側に置いたままにして忘れてしまっていた。そのうちに着火剤が加熱され一気に発火した。一番近くにいた自分が火の粉を浴びたがすぐに離れた為、ウィンドブレーカーが溶ける程度で火傷などはせずに済んだ。着火剤を軽く考えて管理していた友人の不注意が原因。
自分	70		薪、炭、着火剤(焚き火での使用)	使用中にけがをしそうになった	悪天候である、天気が急変したなど天候によるもの	薪で火をおこし、調理していて天気が急変し突風で炎が顔に当たり眉毛と前髪の一部が焦げた。やけどはしなかったが、髪の毛の焦げた臭いは忘れられない。もう少し迅速に行動していればという反省はある。
自分	28		薪スタンド	使用中にけがをしそうになった	自分の心理的原因によるもの	薪割りをしようとして手を擦り切りそうになったことがありました。軍手をしていたものの、薪から出た枝が鋭利で指を傷つけそうでした。

表 4_1_2. 【焚き火】 場面でのけが及びヒヤリ・ハット経験の詳細抜粋

けが、けがをしそうになった人	年齢	(けがをした人へ)けがの程度	原因となった製品	シチュエーション	考えられる原因	詳細
自分	28		ライター、ガストーチ、点火棒(焚き火での使用)	遊んでいる時にけがをしそうになった	自分の行動原因によるもの	自分自身、マッチを使った経験が数えるくらいいかなく、マッチで火をつけて焚き火を起こす際に自分の服に引火しかけた。幸いにも、少し服が焦げただけで済んだものの、不慣れな作業と火の取り扱いには注意が必要だと思った。
自分	80		ライター、ガストーチ、点火棒(焚き火での使用)	使用中にけがをしそうになった	製品の不良によるもの	キャンプ中、焚き火を起こすときに使用していたガストーチの調子が悪く、思い切り火力調節ダイヤルを強にした結果、火力の勢いが思いのほか強く危うくやけどをしそうになった。
自分	47	けがをしたが医療機関は受診しなかった	ライター、ガストーチ、点火棒(焚き火での使用)	使用中にけがをした	自分の行動原因によるもの	焚き火の点きが悪く、着火剤をスプレーしたところ、ポツと顔の前で大きく火が燃え上がって前髪が焦げた。顔はしばらくヒリヒリした。
自分	41		火バサミ・トング(焚き火での使用)	使用中にけがをしそうになった	自分の行動原因によるもの	火を起こしている時に、燃えている炭(大きめ)をトングで移動しようとしてつかみきれずに落とした。幸い周りが砂だったのと、足の上では無かったため怪我にも火事にもならなかった。火をつける前に大きさを整えたり、大きなものは無理しないよう気をつけたりするようにしている。
自分	53	けがをして医療機関を受診した	火バサミ・トング(焚き火での使用)	使用中にけがをした	自分の心理的原因によるもの	調理中に不注意で高温のトングに触れてしまい、やけどを負い、後日病院へ行き、診察を受けた。不注意が原因です。
自分	42	けがをしたが医療機関は受診しなかった	耐火グローブ・軍手(焚き火での使用)	使用中にけがをした	自分の行動原因によるもの	子供の時、焚き火の中の石を軍手をしていれば触っても平気と勘違いをして、触って大火傷。
自分	47		斧、鉋(なた)	使用中にけがをしそうになった	製品の不良によるもの	斧で薪を裁断している時に、頭の刃が持ち手の柄の部分からスポツと抜けてしまった。危うく頭の上に落ちるところだった。
友人・知人(大人)	18		斧、鉋(なた)	使用中にけがをしそうになった	他の人の行動原因によるもの	友人が薪を割っている際、鉋に引っかかった薪が飛んで行った。他人にあたりそうになった。
家族(子供)	15	けがをして医療機関を受診した	その他	使用中にけがをした	他の人の行動原因によるもの	川辺のキャンプ場で野宿した際にキャンプファイヤーで焚き火をし、周りを大人と子供が囲んでいたときに、後から来た年上の子供が湿った石を加えたところ、その石がはぜて割れた。その破片が息子のまぶたに当たり、切れた。その場ではガーゼなどで止血。本人が病院に行くのは嫌だと言ったので、後日、帰宅後に眼科を受診した。

5. 【その他（シーズン別）】場面でのけが及びヒヤリ・ハット経験

（【その他（シーズン別）】場面で複数の経験がある場合、（2）以降については最も危害の程度の大
きい事例一つについての回答となっている。）

（1）けが及びヒヤリ・ハット経験をした人

「けがをした経験がある・けがをしそうになった経験」のどちらにおいても、『自分』が最も多く
75人程度で、次いで『家族（子供）』と続く。「けがをしそうになった経験がある」では『家族（子
供）』と『友人・知人（大人）』が14人と同人数であった。

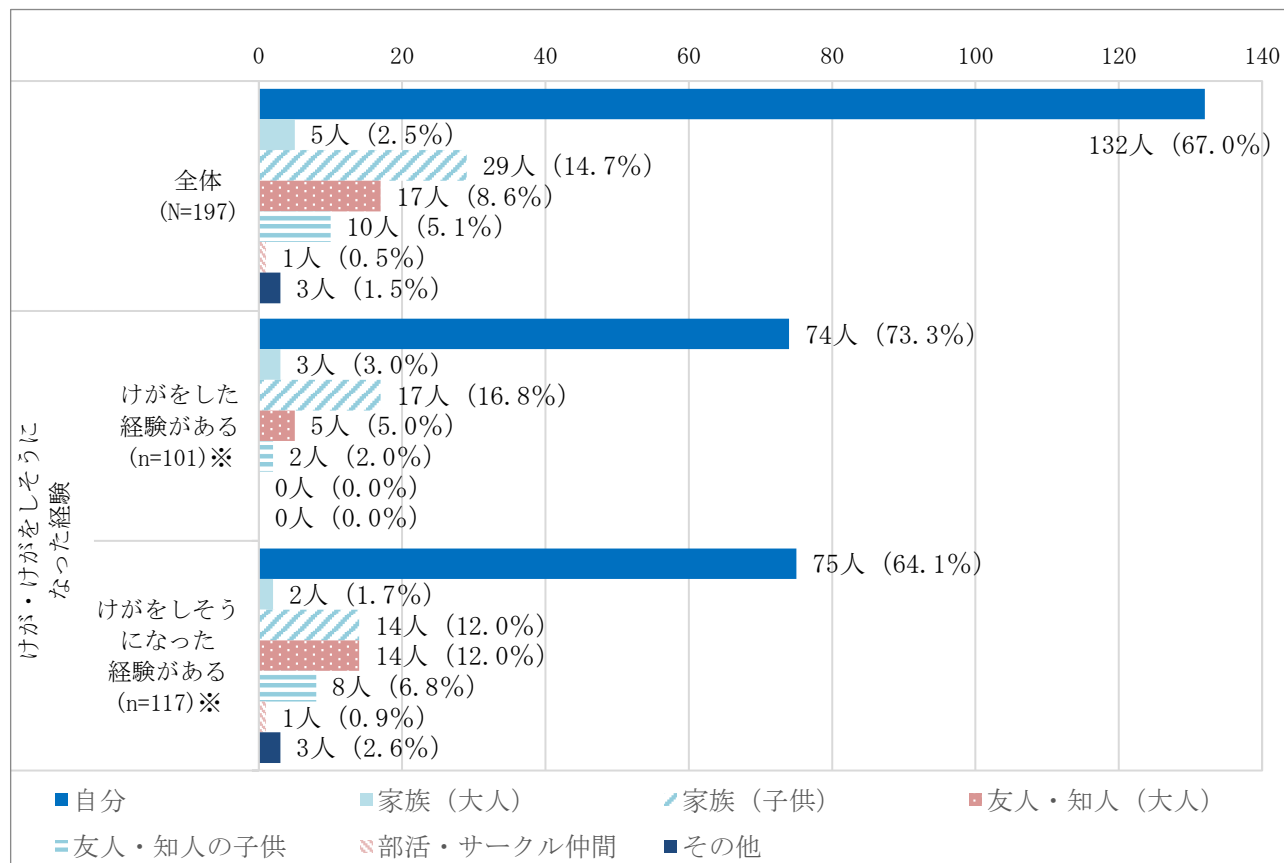


図 5_1. 【その他（シーズン別）】場面でのけが及びヒヤリ・ハット経験を体験した人

※「けが・けがをしそうになった経験」の母数について

表 5_1 のとおり【その他（シーズン別）】場面で「けがをした経験がある」及び「けがをしそうになった経験がある」の両方を選択している人が21人含まれている。本設問群は最も危害の程度の大
きい事例1つが回答の対象となるため、「けがをした経験がある」と「けがをしそうになった経験がある」の合計値が全体と一致しない。詳細な
人数については1（3）表 1_1_1・表 1_1_2参照。

表 5_1. 表 1_1_1・表 1_1_2『その他』場面の抜粋

キャンプ・バーベキューの想定される場面	その他(シーズン別)
けがをした経験がある①	101 人
けがをしそうになった経験がある②	117 人
けがをした経験、けがをしそうになった経験の両方選択した人③	21 人
全体[①+②-③]	197 人

(2) けがをした人のけがの程度

【その他（シーズン別）】場面でけがをした人の、けがの程度をまとめた。33人がけがをして医療機関を受診（「けがをして医療機関に入院した」「けがをして医療機関を受診した」の計）しており、2人が入院をしている。

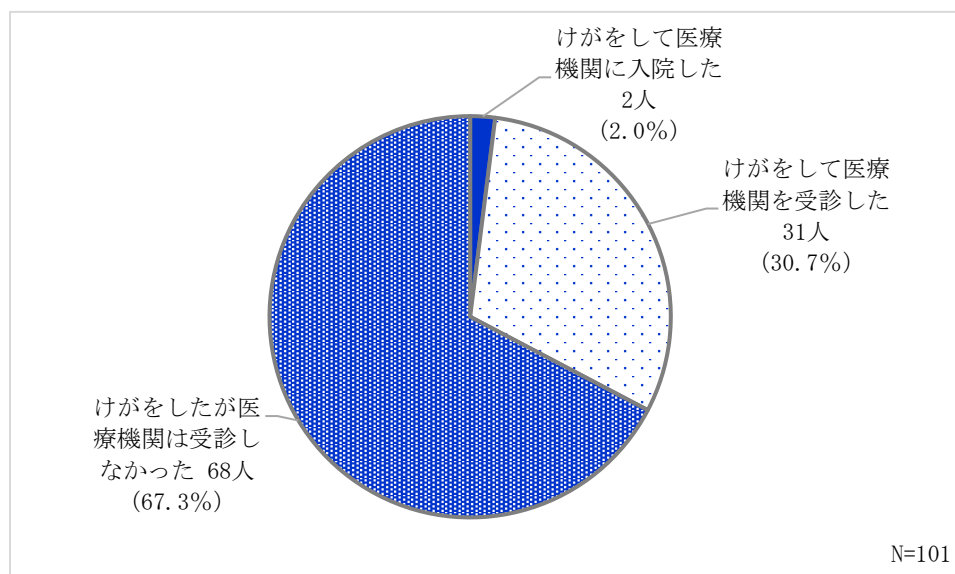


図 5_2. 【その他（シーズン別）】場面でのけがの程度

(3) けが及びヒヤリ・ハット経験の原因となった製品

【その他（シーズン別）】場面におけるけが及びヒヤリ・ハット経験の原因となった製品を項目別に降順でまとめた。

【その他（シーズン別）】では、製品に由来するものより遊びに関する経験が多く、特に「河原での水遊び」が最も多くなっている。また、「その他」についても、遊んでいるときや歩行中など、多くが製品に由来しないけが及びヒヤリ・ハット経験があったことが記述されている。

「キャンプ等で使用する製品」では、「テントサウナ」「キャリーワゴン」「ストーブ」「ゆたんぽ」で若干の経験があった。

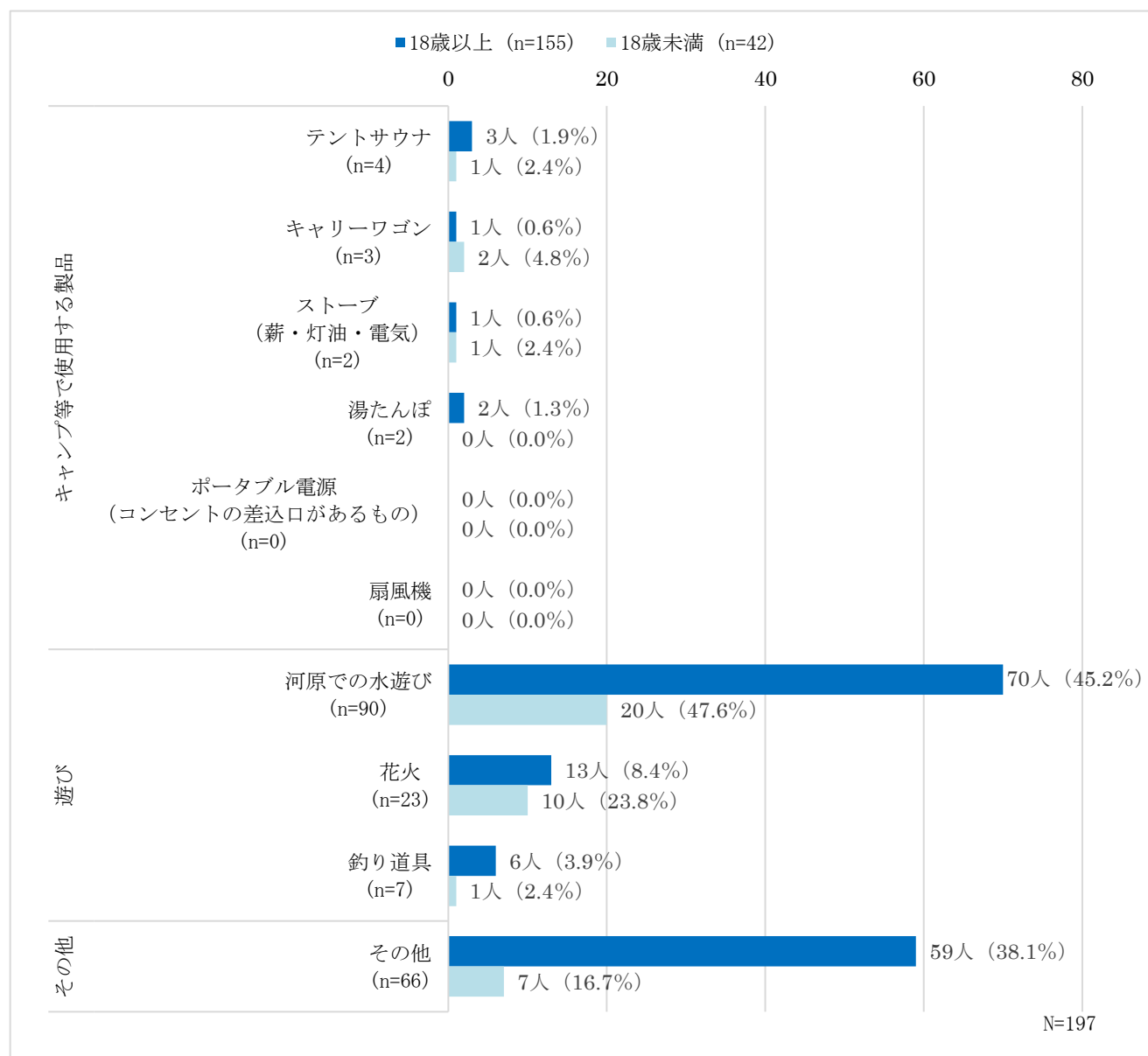


図 5_3. 【その他（シーズン別）】場面でのけが及びヒヤリ・ハット経験の原因となった製品

(4) けが及びヒヤリ・ハット経験のシチュエーション

【その他（シーズン別）】において、具体的に何をしているときにけが及びヒヤリ・ハット経験をしたかを降順でまとめた。

「遊んでいる時にけがをした」が73人で最も多くなっている。

「その他」については、「テントサイトに向かう途中」や「歩行中」など移動中のけがやヒヤリ・ハット経験が多くみられた。

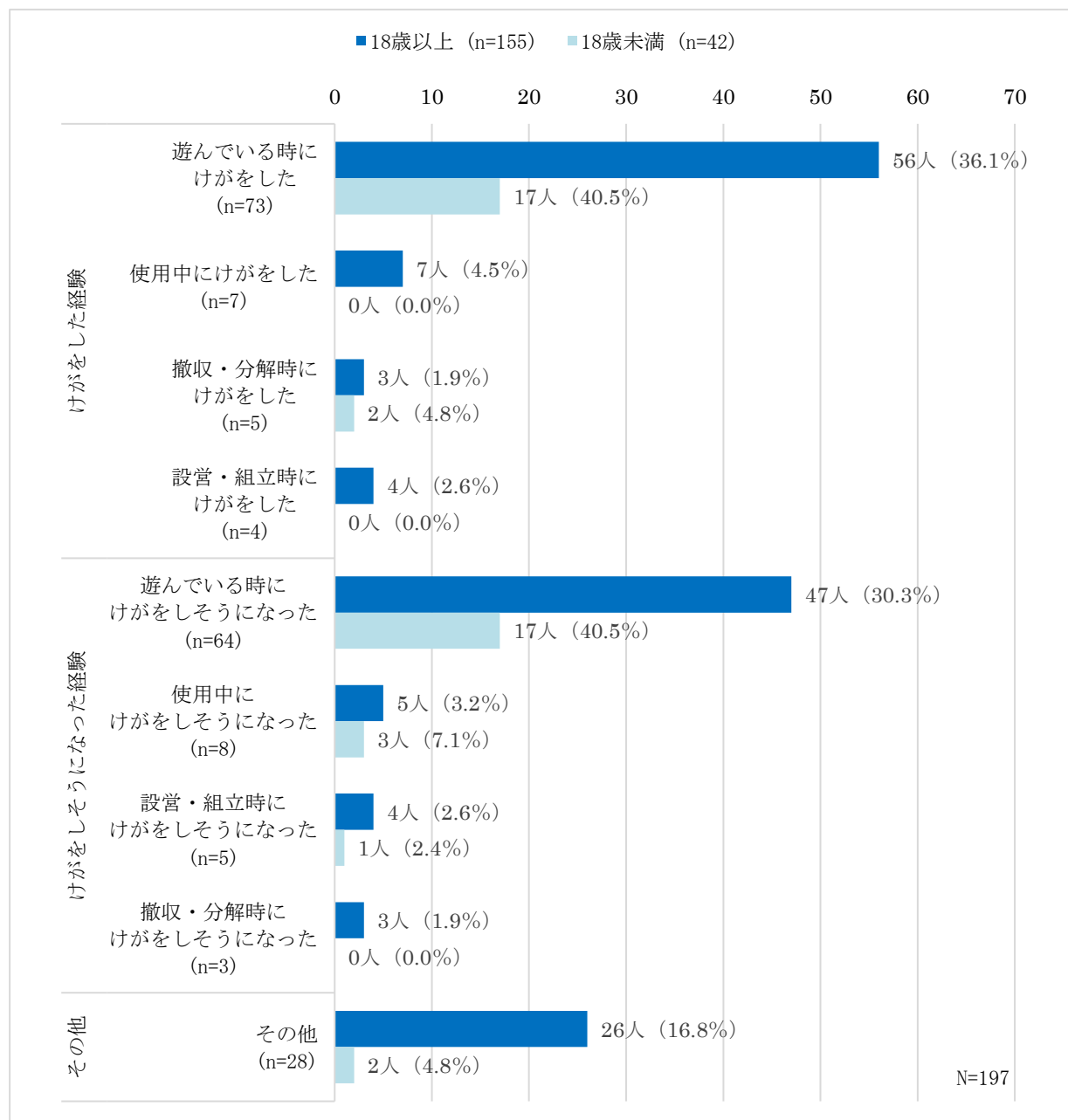


図 5_4. 【その他（シーズン別）】場面でのけが及びヒヤリ・ハット経験のシチュエーション

（５）けが及びヒヤリ・ハット経験の考えられる原因

【その他（シーズン別）】において、けが及びヒヤリ・ハット経験の考えられる原因をまとめた。

『18歳以上』では「段差や障害物などによるもの」が58人と最も多く、次いで「自分の行動原因によるもの」が49人と続く。

『18歳未満』は、「自分の行動原因によるもの」が16人と最も多く、次いで「段差や障害物などによるもの」が8人、「自分の心理的原因によるもの」が6人と続く。

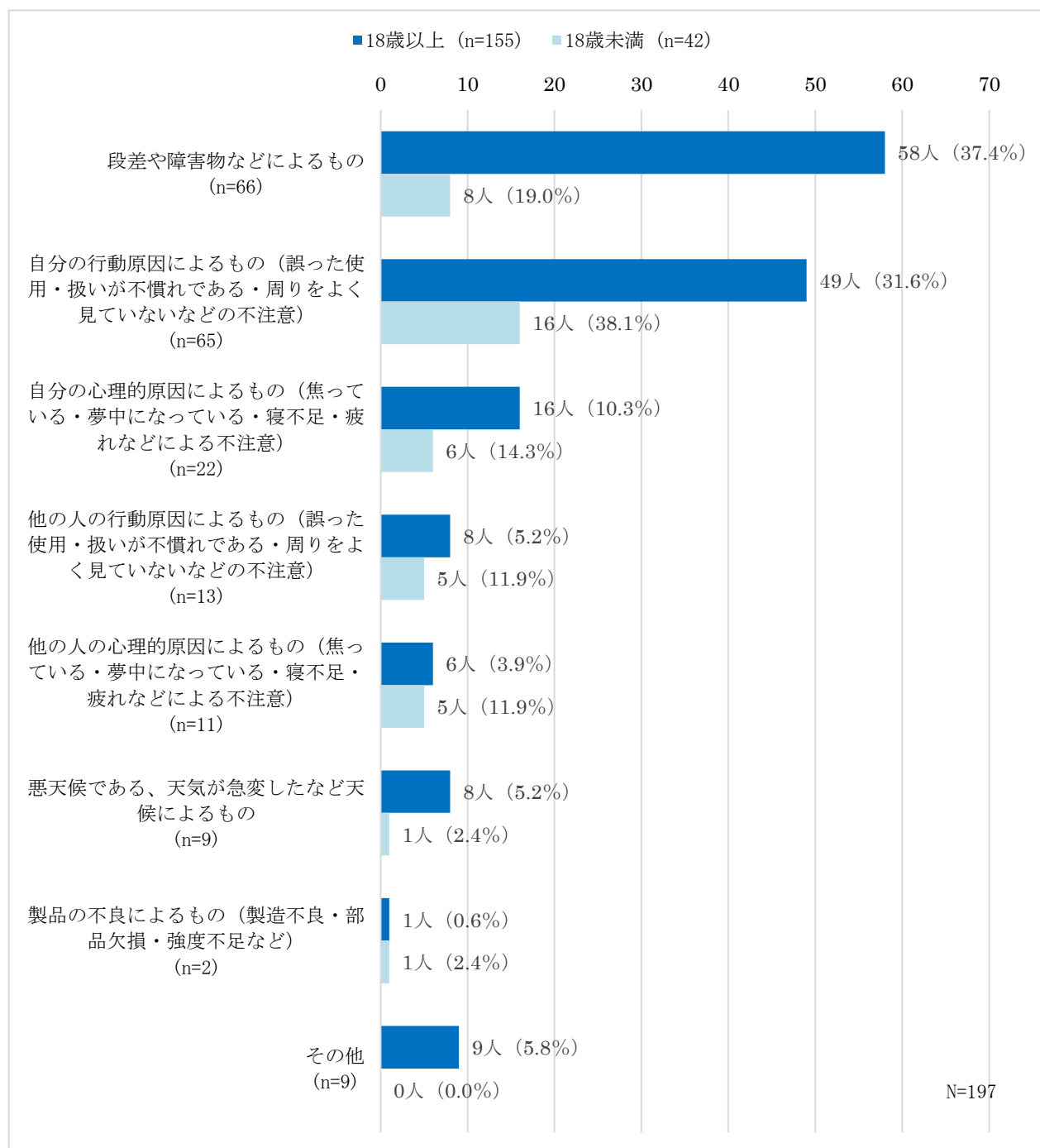


図 5_5. 【その他（シーズン別）】 場面でのけが及びヒヤリ・ハット経験の考えられる原因

（６）けが及びヒヤリ・ハット経験の状況詳細

【その他（シーズン別）】の場面における、具体的な状況の記述（197件）を分析し、①誰が（図 5_6_1）、②何をしている・どういう状況（図 5_6_2）で、③どうなった（図 5_6_3）、の3つに分類をした結果をまとめた。

①誰がでは「自分」に関する記述が最も多い。②の状況では「川・河原で」85件と最も多く、③の内容では「転んだ」が82件、部位としては、「足」が51件と最も多かった。

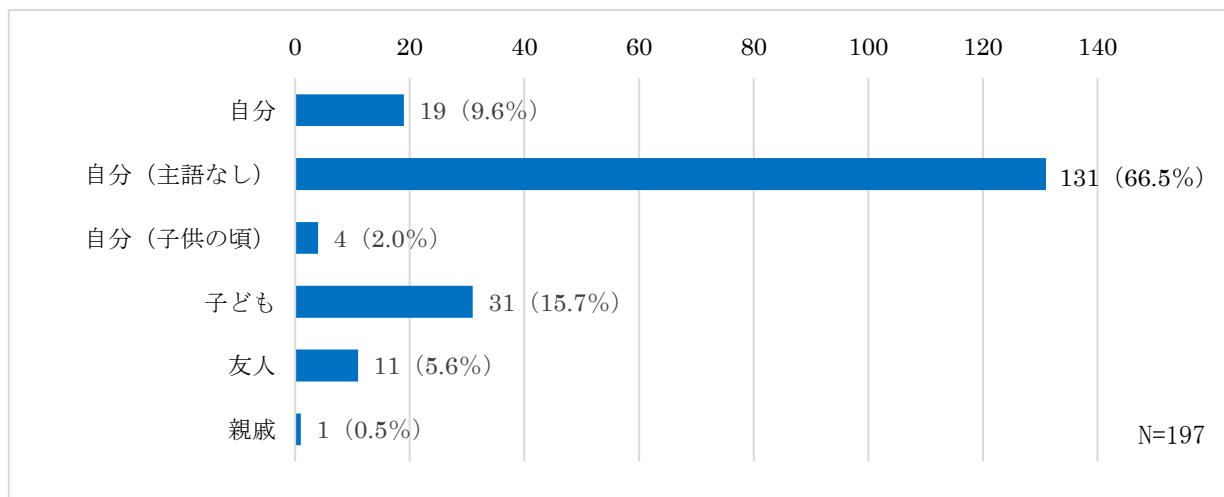


図 5_6_1. 【その他（シーズン別）】場面でのけが及びヒヤリ・ハット経験の詳細分類（①誰が）

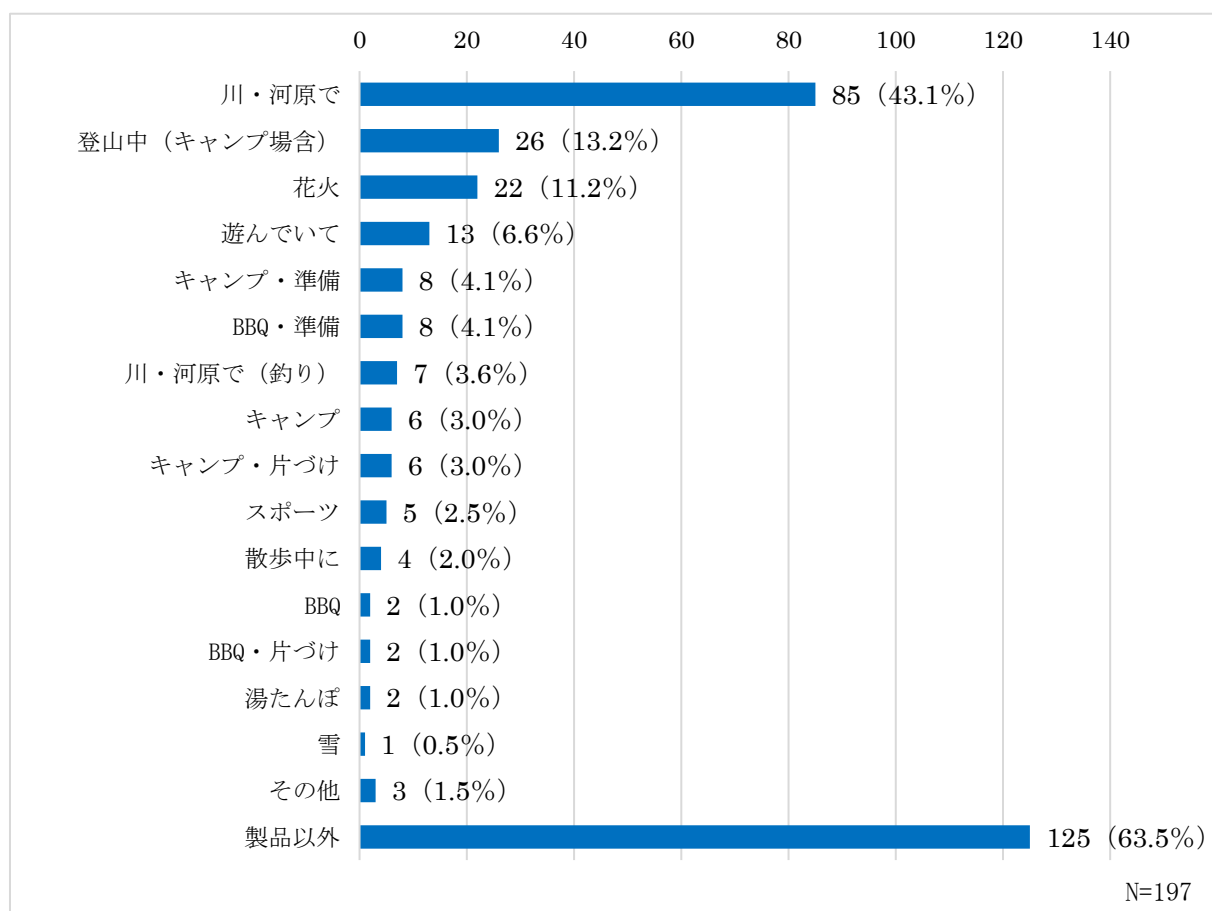


図 5_6_2. 【その他（シーズン別）】場面でのけが及びヒヤリ・ハット経験の詳細分類（②何をしている・どういう状況）

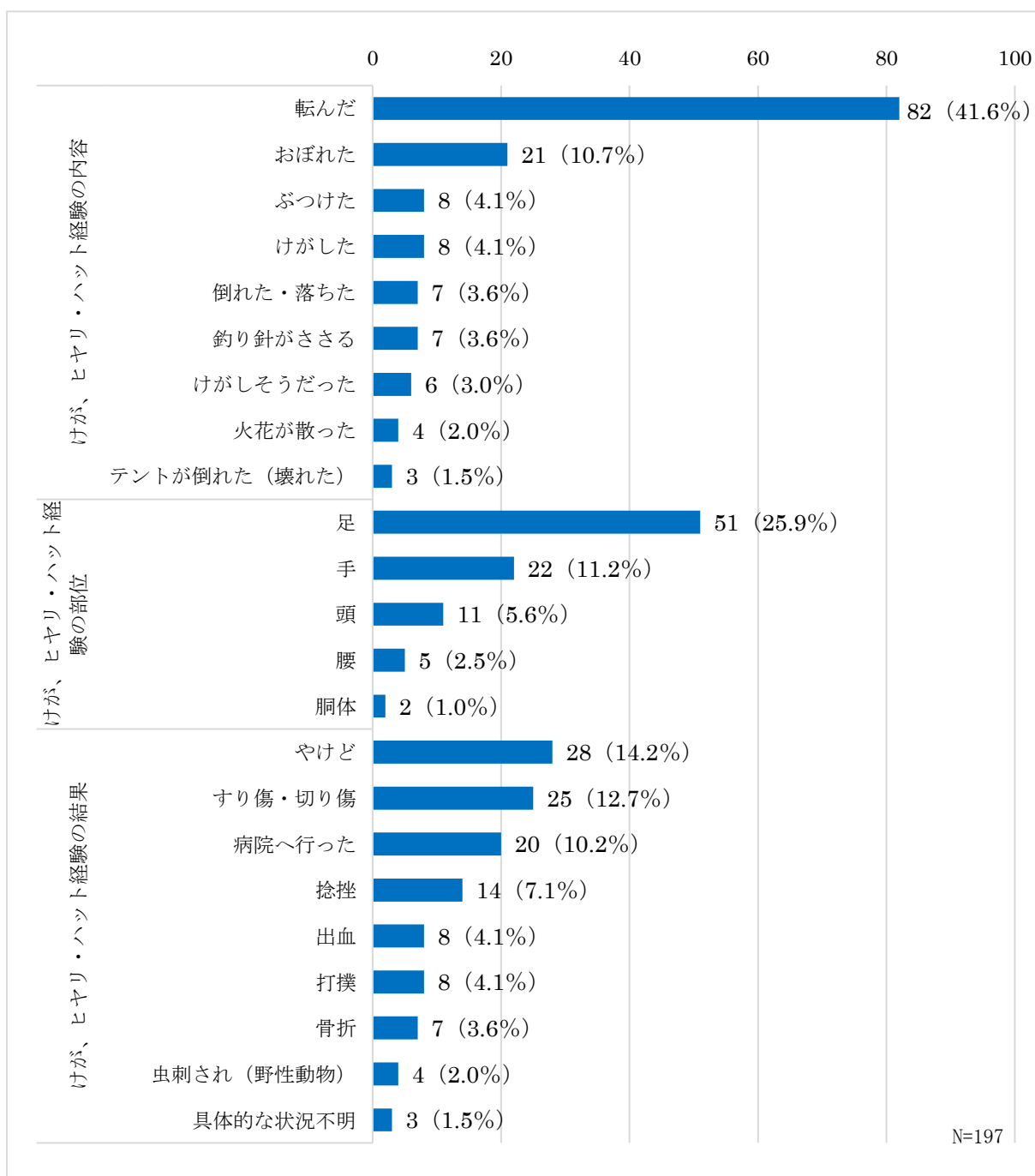


図 5_6_3. 【その他（シーズン別）】 場面でのけが及びヒヤリ・ハット経験の詳細分類
(③どうなった)

表 5_2_1.【その他（シーズン別）】場面でのけが、及びヒヤリ・ハット経験の詳細抜粋

けが、けがをしそうになった人	年齢	（けがをした人へ）けがの程度	原因となった製品	シチュエーション	考えられる原因	詳細
自分	39		テントサウナ	設営・組立時にけがをしそうになった	自分の行動原因によるもの	自分がテントサウナを設営するために、フレームを組み立てる際に大きな支柱を持ち上げたところ、フレームが不安定になり、急に支柱が跳ね返ってきた。手を挟まれるか、フレームが倒れる危険性があったが、幸いにも手を素早く引いたため、けがには至らなかったが、支柱が顔に近づいたため、顔面や体に怪我を負う危険があった。急いで安全を確認し、再度設営作業を行う際には周囲をよく確認し、より慎重に作業しました。このヒヤリ・ハットをきっかけに、今後は設営の際にフレームを一人で持ち上げないようにしました。
家族（子供）	12		ストーブ（薪・灯油・電気）	使用中にけがをしそうになった	他の人の心理的原因によるもの	薪で料理をしている時に沸騰していたお湯が溢れてその湯気でやけどをしそうになった。
自分	37	けがをしたが医療機関は受診しなかった	ストーブ（薪・灯油・電気）	遊んでいる時にけがをした	自分の行動原因によるもの	キャンプ時に焚き火をして料理をしているときに、鉄板が腕に当たって軽い火傷をした。水で冷やした。
家族（子供）	9		キャリーワゴン	設営・組立時にけがをしそうになった	自分の行動原因によるもの	公園でのデイキャンプで、子供がキャリーワゴンを自分で組み立てると言い、難しくはないのでまかせていたら、違う方向に折り曲げようとして指を挟みそうになった。
家族（子供）	14	けがをしたが医療機関は受診しなかった	キャリーワゴン	撤収・分解時にけがをした	自分の心理的原因によるもの	片付けをしている時に、一気に乗せられると思って車に乗せる時に手を挟んだ
自分	58		湯たんぽ	その他	他の人の行動原因によるもの	湯たんぽのカバーが薄い生地だったまま足元に置いて眠り、ふくらはぎに低温火傷をした。
自分	68		釣り道具	遊んでいる時にけがをしそうになった	自分の行動原因によるもの	釣りをしていた時に、針エサをつける時に指に刺してしまった…不慣れな動作には、十分気をつけていたが失敗し、抜くことができず助けを求めた。ハリが特殊な形をしているので抜くときには、慣れた人に頼む事が大切だと思った。
自分	62	けがをして医療機関を受診した	釣り道具	使用中にけがをした	他の人の行動原因によるもの	釣り竿が置いてあったところに、他人が竿に足をひっかけて、釣り針が指に刺さった。

表 5_2_2. 【その他（シーズン別）】場面でのけが、及びヒヤリ・ハット経験の詳細抜粋

けが、けがをしそうになった人	年齢	(けがをした人へ)けがの程度	原因となった製品	シチュエーション	考えられる原因	詳細
友人・知人(大人)	30		花火	遊んでいる時にけがをしそうになった	他の人の心理的原因によるもの	みんなで手持ち花火で遊んでいるとき花火を振りまわしていたら友人の方に火の粉が飛んでいった。当たっていたら火傷をしていたかもしれない。
家族(子供)	10	けがをして医療機関を受診した	花火	遊んでいる時にけがをした	自分の行動原因によるもの	公園でのバーベキューの後で、みんなで花火を楽しんでいるときに、火をつけるために使っていたろうそくがかなり溶けたものがたまった状態で、子供の足に倒れてかかってしまいやけどし、病院で手当てをもらった。大事にいたらなかった。
自分	76		河原での水遊び	遊んでいる時にけがをしそうになった	悪天候である、天気が急変したなど天候によるもの	上流での悪天候に気づかず急に川が増水して慌てて撤収時何度か流されそうになった。
自分	34		河原での水遊び	遊んでいる時にけがをしそうになった	自分の行動原因によるもの	夏場に川辺の BBQ 場で泳いでいる時に、急流に飲まれて溺れそうになった。
家族(子供)	8	けがをして医療機関を受診した	河原での水遊び	遊んでいる時にけがをした	悪天候である、天気が急変したなど天候によるもの	家族で川で遊んでいる時、川にわれた破片があり子供が踏んで血だらけになり病院にいった。
自分	47	けがをして医療機関に入院した	その他	遊んでいる時にけがをした	段差や障害物などによるもの	公園で飲食の合間に遊んでいる時に、段差に気がつかず転んでしまった。正座のような姿勢になり、足に体重がかかった状態。足をくじただけかと思い、しばらく過ごしたが、痛みがひどく腫れてきたので、先に帰ることに。翌日通院したところ、足の甲を骨折していた。
家族(大人)	62	けがをして医療機関を受診した	その他	遊んでいる時にけがをした	その他	オリエンテーリングの旗を設置中に、木の裏に隠れていたスズメバチの巣を刺激してしまい、複数の蜂に刺された。

6. けが及びヒヤリ・ハット経験をしたときの相談・連絡

図 6_1 は、けがやヒヤリ・ハット経験をしたときに相談や連絡をしたかどうかについて各場面別に集計した結果である（有効件数 1,202 件）。いずれの場面においても「特に相談や連絡はしなかった」が最も多く、全体で 72.2%、【その他（シーズン別）】では 87.3% が相談や連絡をしていなかった。

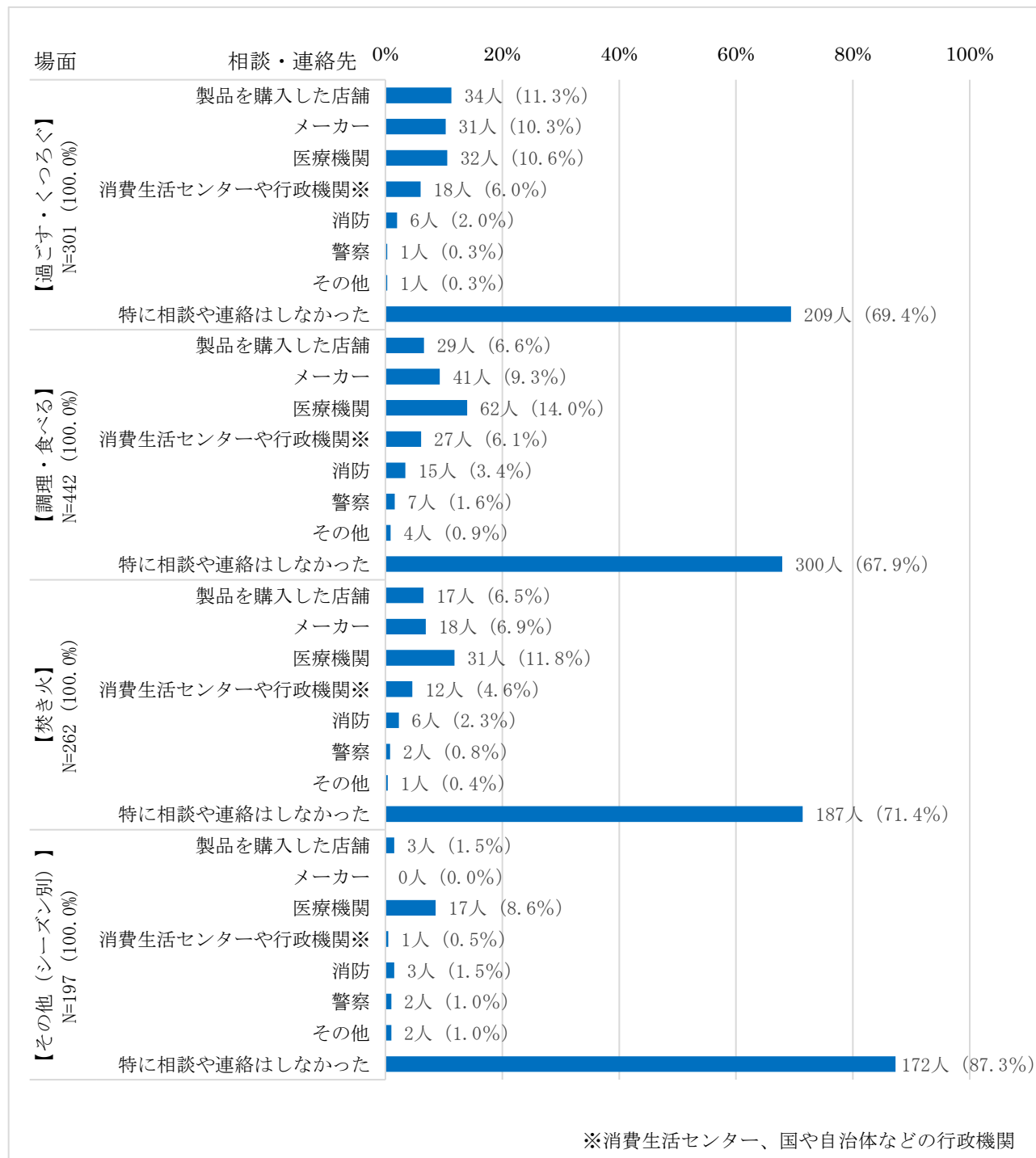


図 6_1.けが及びヒヤリ・ハット経験時の相談・連絡

7. キャンプ・バーベキュー用製品の使用・所有

(1) キャンプ・バーベキュー用製品の使用実態（複数回答）

キャンプ・バーベキューをした際に使用したことがある製品やしたことのある遊びなどについて、場面ごとにまとめた。【過ごす・くつろぐ】場面では「椅子、ベンチ」（70.1%）「テーブル」（66.5%）、【調理・食べる】場面では「ナイフ・包丁」（69.9%）「調理道具」（66.5%）、【焚き火】場面では「薪、炭、着火剤」（31.7%）、【その他（シーズン別）】場面では「花火」（21.6%）の使用経験の割合が高い。

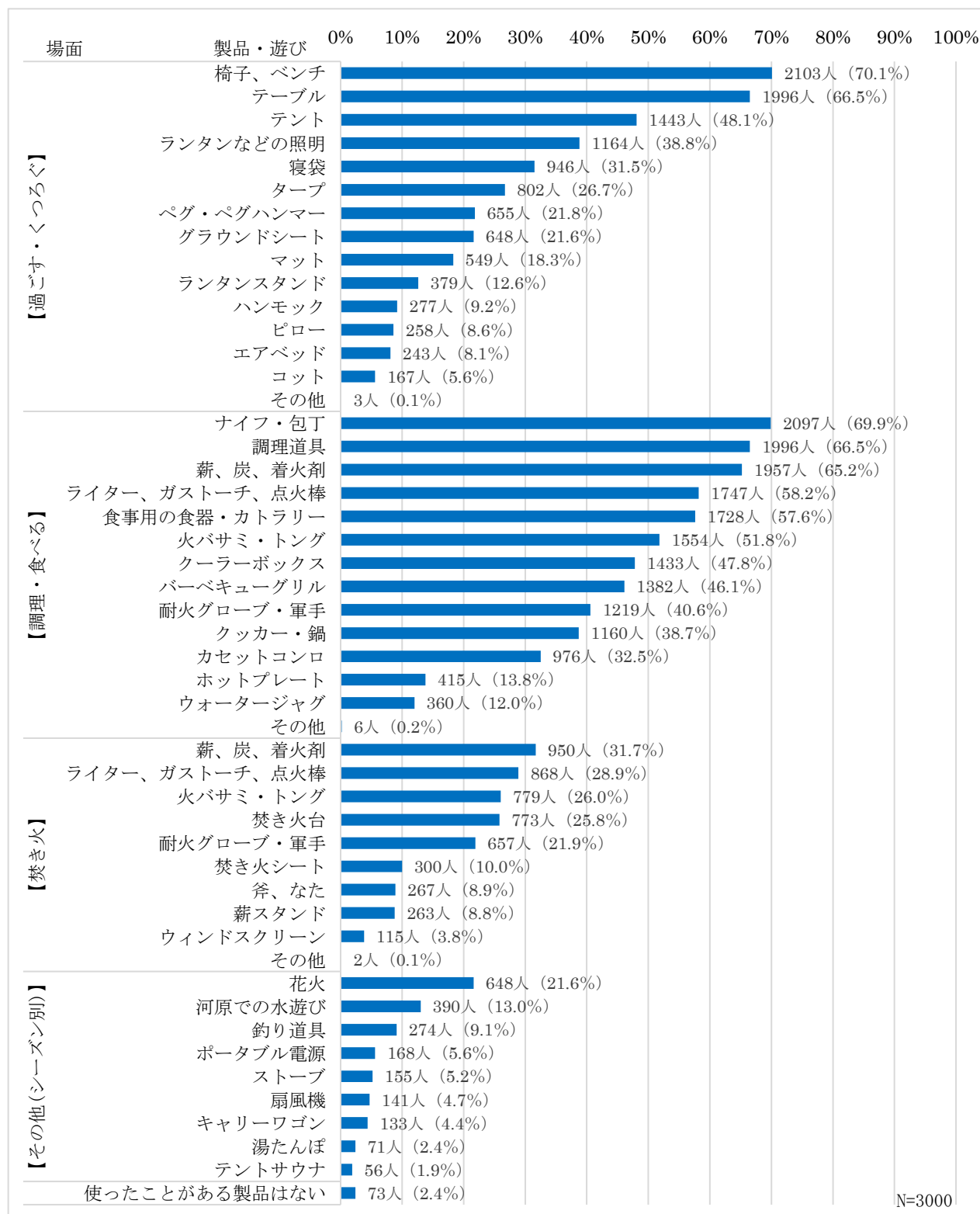


図 7_1.使用経験のあるキャンプ・バーベキュー用製品（複数回答）

(2) キャンプ・バーベキュー用に使う製品の所有実態

キャンプ・バーベキュー用製品の所有実態について【過ごす・くつろぐ】【調理・食べる・焚き火】※【その他（シーズン別）】の場面別にまとめた。

※これまでの設問では、【調理・食べる】と【焚き火】の場面でそれぞれに「薪、炭、着火剤」「ライター、ガストーチ、点火棒」「火バサミ・トング」「耐火グローブ・軍手」の経験について調査をしていたが、所有実態については火を扱う製品として【調理・食べる・焚き火】としてまとめている。

ア. 【過ごす・くつろぐ】場面で使用する製品

所有している製品では「椅子、ベンチ」(49.6%)と最も多く、次いで「ランタンなどの照明」(47.7%)と続く。用途別にみると、「ランタンなどの照明」(8.8%)や「寝袋」(5.8%)が『防災用として所有』している割合が高い。『キャンプ用として所有』しているもので見ると、「椅子・ベンチ」(22.8%)、「テーブル」(20.6%)がやや高くなっている。

表 7_1_1.【過ごす・くつろぐ】場面 所有している製品と用途

N=3000 (人)	キャンプ用・防 災用どちらの用 途としても所有	防災用として所 有(キャンプには 持っていない)	キャンプ用とし て所有	その他の用途で 所有	所有 合計	所有していない
テント	401 人 (13.4%)	71 人 (2.4%)	540 人 (18.0%)	35 人 (1.2%)	1047 人 (34.9%)	1953 人 (65.1%)
グラウンドシート	354 人 (11.8%)	104 人 (3.5%)	441 人 (14.7%)	37 人 (1.2%)	936 人 (31.2%)	2064 人 (68.8%)
タープ	247 人 (8.2%)	72 人 (2.4%)	412 人 (13.7%)	19 人 (0.6%)	750 人 (25.0%)	2250 人 (75.0%)
ペグ・ペグハンマー	280 人 (9.3%)	83 人 (2.8%)	474 人 (15.8%)	27 人 (0.9%)	864 人 (28.8%)	2136 人 (71.2%)
テーブル	430 人 (14.3%)	85 人 (2.8%)	614 人 (20.5%)	79 人 (2.6%)	1208 人 (40.3%)	1792 人 (59.7%)
椅子、ベンチ	576 人 (19.2%)	109 人 (3.6%)	685 人 (22.8%)	117 人 (3.9%)	1487 人 (49.6%)	1513 人 (50.4%)
ランタンなどの照明※	626 人 (20.9%)	264 人 (8.8%)	478 人 (15.9%)	62 人 (2.1%)	1430 人 (47.7%)	1570 人 (52.3%)
ランタンスタンド	316 人 (10.5%)	125 人 (4.2%)	310 人 (10.3%)	24 人 (0.8%)	775 人 (25.8%)	2225 人 (74.2%)
寝袋	523 人 (17.4%)	173 人 (5.8%)	499 人 (16.6%)	51 人 (1.7%)	1246 人 (41.5%)	1754 人 (58.5%)
コット	178 人 (5.9%)	83 人 (2.8%)	212 人 (7.1%)	16 人 (0.5%)	489 人 (16.3%)	2511 人 (83.7%)
エアベッド	192 人 (6.4%)	98 人 (3.3%)	179 人 (6.0%)	25 人 (0.8%)	494 人 (16.5%)	2506 人 (83.5%)
マット	315 人 (10.5%)	109 人 (3.6%)	311 人 (10.4%)	41 人 (1.4%)	776 人 (25.9%)	2224 人 (74.1%)
ピロー	217 人 (7.2%)	95 人 (3.2%)	183 人 (6.1%)	29 人 (1.0%)	524 人 (17.5%)	2476 人 (82.5%)
ハンモック	125 人 (4.2%)	70 人 (2.3%)	156 人 (5.2%)	24 人 (0.8%)	375 人 (12.5%)	2625 人 (87.5%)
その他	18 人 (0.6%)	4 人 (0.1%)	9 人 (0.3%)	4 人 (0.1%)	35 人 (1.2%)	2965 人 (98.8%)

※ランタンなどの照明（ヘッドライト・電球・ろうそくなど）

その他の製品：七輪 など

その他の用途：運動会、ピクニック、車中泊 など

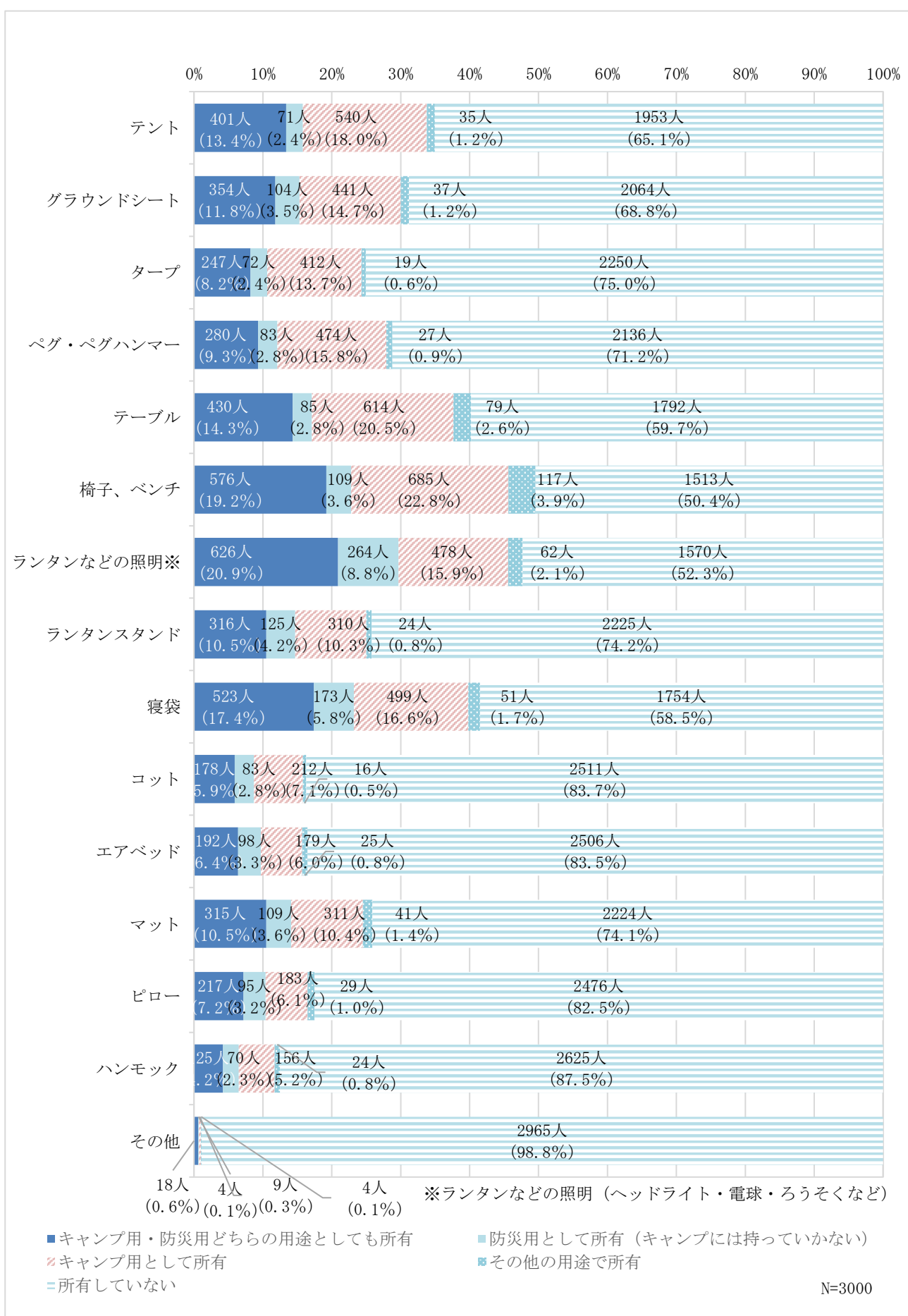


図 7_2_1. 【過ごす・くつろぐ】 場面 所有している製品と用途

イ. 【調理・食べる・焚き火】場面で使用する製品

所有している製品では「ライター、ガストーチ、点火棒」(48.9%)と最も多く、次いで「カセットコンロ」(48.5%)と続く。用途別にみると、「カセットコンロ」(9.2%)や「ホットプレート」(7.2%)が『防災用として所有』している割合が高い。『キャンプ用として所有』しているものと見ると、「薪、炭、着火剤」(18.4%)、「火バサミ・トング」(17.7%)が若干高くなっている。

表 7_1_2. 【過ごす・くつろぐ】場面 所有している製品と用途

N=3000 (人)	キャンプ用・防 災用どちらの用 途としても所有	防災用として所 有(キャンプには 持っていない)	キャンプ用として 所有	その他の用途で 所有	所有 合計	所有していない
ナイフ・包丁	628 人 (20.9%)	118 人 (3.9%)	474 人 (15.8%)	149 人 (5.0%)	1369 人 (45.6%)	1631 人 (54.4%)
調理道具 (おたま、菜箸など)	574 人 (19.1%)	126 人 (4.2%)	438 人 (14.6%)	151 人 (5.0%)	1289 人 (43.0%)	1711 人 (57.0%)
クッカー・鍋	553 人 (18.4%)	118 人 (3.9%)	478 人 (15.9%)	132 人 (4.4%)	1281 人 (42.7%)	1719 人 (57.3%)
食事用の食器・カトラリー	551 人 (18.4%)	147 人 (4.9%)	495 人 (16.5%)	125 人 (4.2%)	1318 人 (43.9%)	1682 人 (56.1%)
薪、炭、着火剤	416 人 (13.9%)	109 人 (3.6%)	551 人 (18.4%)	55 人 (1.8%)	1131 人 (37.7%)	1869 人 (62.3%)
ライター、ガストーチ、 点火棒	667 人 (22.2%)	211 人 (7.0%)	484 人 (16.1%)	106 人 (3.5%)	1468 人 (48.9%)	1532 人 (51.1%)
火バサミ・トング	484 人 (16.1%)	115 人 (3.8%)	530 人 (17.7%)	74 人 (2.5%)	1203 人 (40.1%)	1797 人 (59.9%)
耐火グローブ・軍手	589 人 (19.6%)	192 人 (6.4%)	482 人 (16.1%)	81 人 (2.7%)	1344 人 (44.8%)	1656 人 (55.2%)
カセットコンロ	704 人 (23.5%)	275 人 (9.2%)	347 人 (11.6%)	128 人 (4.3%)	1454 人 (48.5%)	1546 人 (51.5%)
バーベキューグリル	376 人 (12.5%)	89 人 (3.0%)	451 人 (15.0%)	48 人 (1.6%)	964 人 (32.1%)	2036 人 (67.9%)
ホットプレート	450 人 (15.0%)	217 人 (7.2%)	207 人 (6.9%)	207 人 (6.9%)	1081 人 (36%)	1919 人 (64.0%)
クーラーボックス	648 人 (21.6%)	135 人 (4.5%)	473 人 (15.8%)	115 人 (3.8%)	1371 人 (45.7%)	1629 人 (54.3%)
ウォータージャグ	339 人 (11.3%)	116 人 (3.9%)	254 人 (8.5%)	31 人 (1%)	740 人 (24.7%)	2260 人 (75.3%)
焚き火台	239 人 (8.0%)	75 人 (2.5%)	345 人 (11.5%)	21 人 (0.7%)	680 人 (22.7%)	2320 人 (77.3%)
焚き火シート	209 人 (7.0%)	74 人 (2.5%)	288 人 (9.6%)	16 人 (0.5%)	587 人 (19.6%)	2413 人 (80.4%)
薪スタンド	160 人 (5.3%)	71 人 (2.4%)	204 人 (6.8%)	10 人 (0.3%)	445 人 (14.8%)	2555 人 (85.2%)
斧、鉋 (なた)	215 人 (7.2%)	77 人 (2.6%)	210 人 (7.0%)	15 人 (0.5%)	517 人 (17.2%)	2483 人 (82.8%)
ウィンドスクリーン (風除け)	192 人 (6.4%)	79 人 (2.6%)	174 人 (5.8%)	14 人 (0.5%)	459 人 (15.3%)	2541 人 (84.7%)
その他	12 人 (0.4%)	4 人 (0.1%)	6 人 (0.2%)	1 人 (0.0%)	23 人 (0.8%)	2977 人 (99.2%)

その他の製品：うちわ、保存容器 など

その他の用途：スポーツ、釣り、買い物、自宅用 など

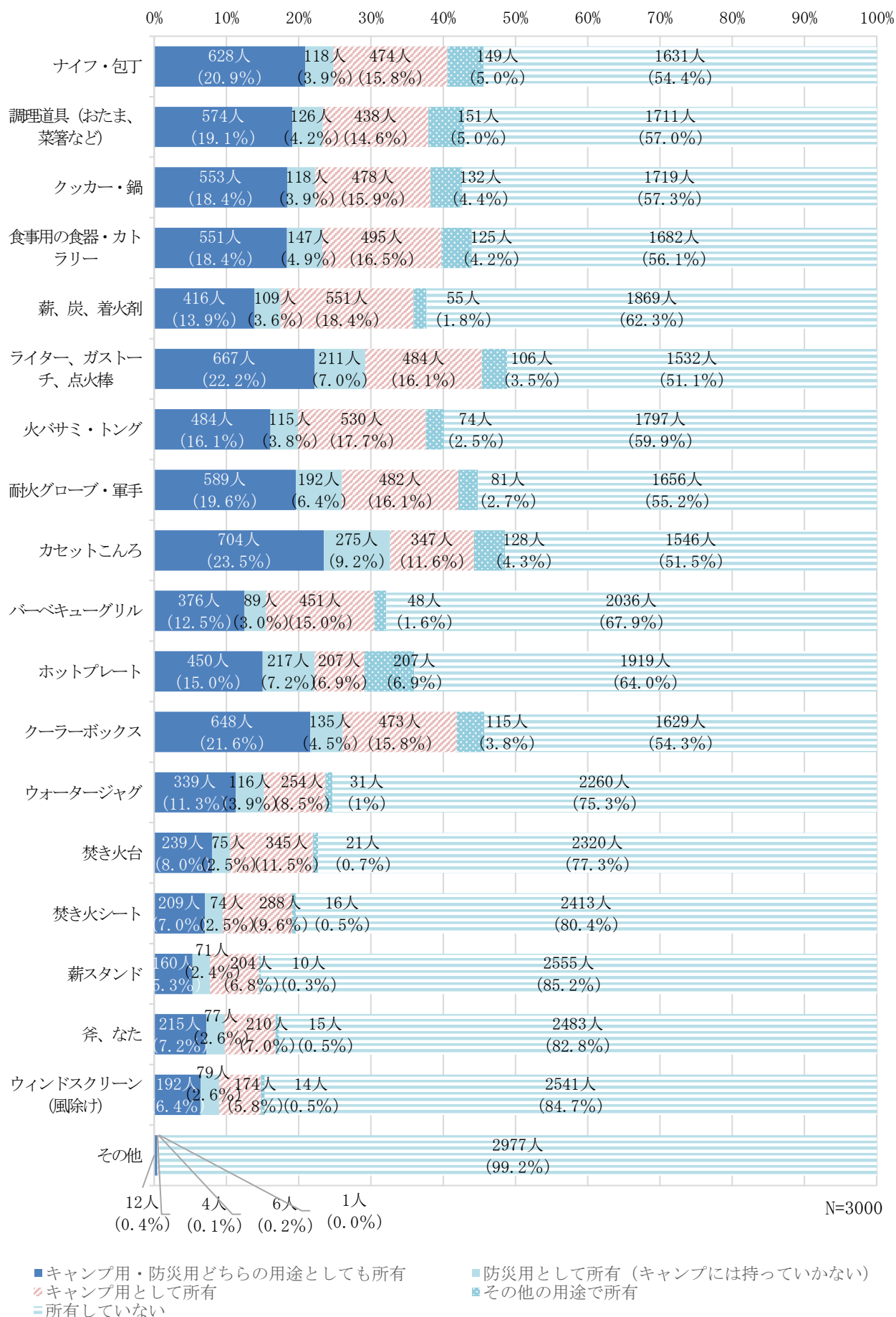


図 7_2_2. 【調理・食べる・焚き火】場面 所有している製品と用途

ウ. 【その他（シーズン別）】 場面で使用する製品

所有している製品では「ストーブ（薪・灯油・電気）」（16.2%）が最も多く、次いで「キャリアワゴン」（15.3%）と続く。用途別にみると、「キャリアワゴン」（5.2%）を『キャンプ用として所有』している割合が高い。『キャンプ用・防災用どちらの用途としても所有』では、「ストーブ（薪・灯油・電気）」（7.0%）と「ポータブル電源 500KVA 未満」（7.0%）を所有している割合が高い。

また、参考ではあるが、「扇風機」についても『キャンプ用・防災用どちらの用途としても所有』が 12.2%と多かった。

表 7_1_3. 【その他（シーズン別）】 場面 所有している製品と用途

N=3000 (人)	キャンプ用・防 災用どちらの用 途としても所有	防災用として所 有(キャンプには 持っていない)	キャンプ用として 所有	その他の用途で 所有	所有 合計	所有していない
テントサウナ	109 人 (3.6%)	61 人 (2.0%)	56 人 (1.9%)	6 人 (0.2%)	232 人 (7.7%)	2768 人 (92.3%)
ストーブ (薪・灯油・電気)	211 人 (7.0%)	121 人 (4.0%)	105 人 (3.5%)	48 人 (1.6%)	485 人 (16.2%)	2515 人 (83.8%)
キャリアワゴン	200 人 (6.7%)	82 人 (2.7%)	155 人 (5.2%)	22 人 (0.7%)	459 人 (15.3%)	2541 人 (84.7%)
ポータブル電源 500KVA 未満(コンセントの差込口 があるもの)	210 人 (7.0%)	110 人 (3.7%)	80 人 (2.7%)	18 人 (0.6%)	418 人 (13.9%)	2582 人 (86.1%)
ポータブル電源 500KVA 以上 (コンセントの差込 口があるもの)	190 人 (6.3%)	102 人 (3.4%)	72 人 (2.4%)	10 人 (0.3%)	374 人 (12.5%)	2626 人 (87.5%)
(参考)扇風機	365 人 (12.2%)	173 人 (5.8%)	121 人 (4.0%)	178 人 (5.9%)	837 人 (27.9%)	2163 人 (72.1%)
(参考)湯たんぽ	286 人 (9.5%)	166 人 (5.5%)	91 人 (3.0%)	105 人 (3.5%)	648 人 (21.6%)	2352 人 (78.4%)

その他の用途：車中泊、日常用 など

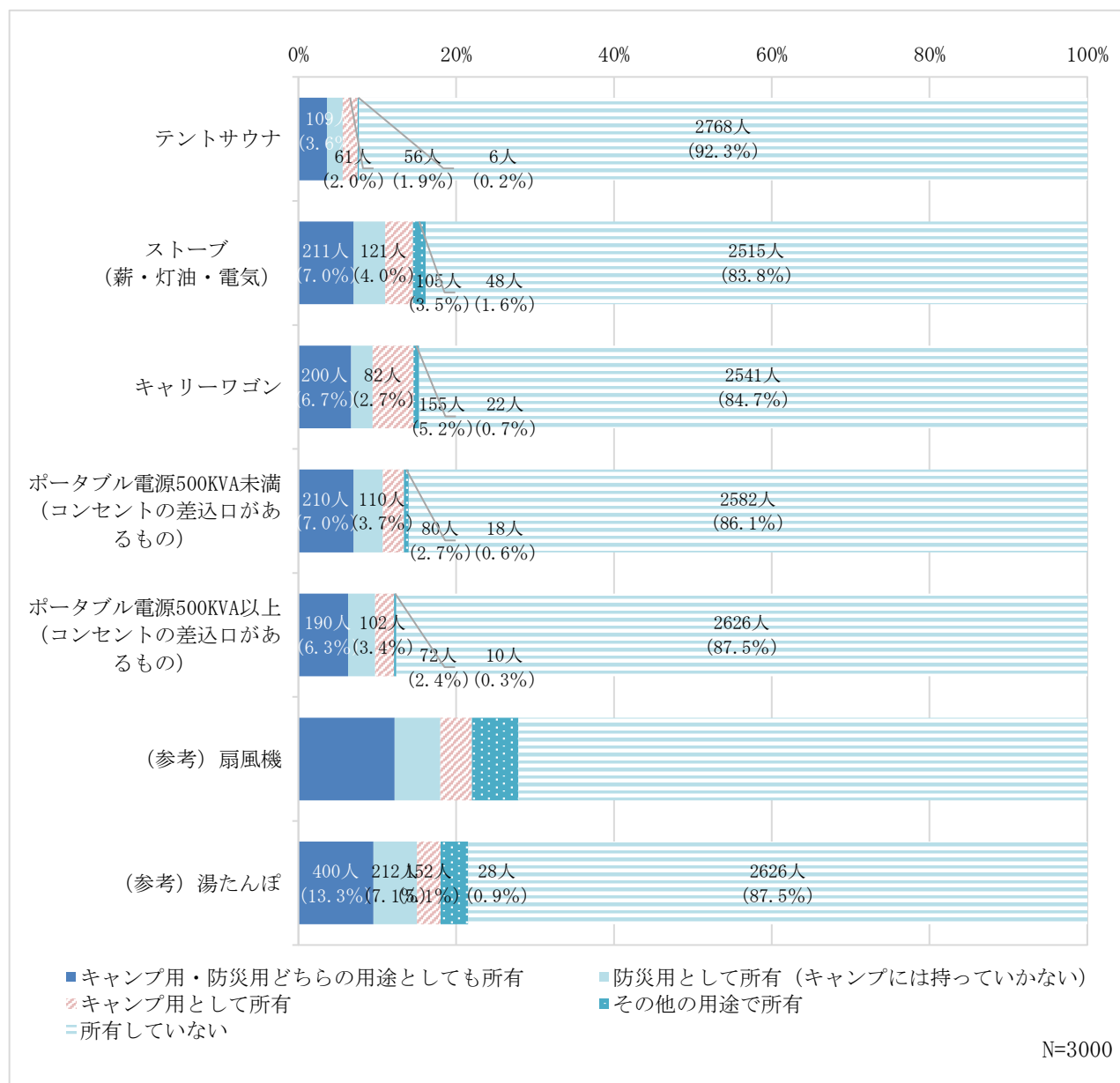


図 7_2_3. 【その他（シーズン物など）】 場面 所有している製品と用途

(3) 所有している製品の購入先

所有している製品の購入先について、表 7_2_1 の「分類」に分けてまとめた。

例えば「所有している製品」の、「テント」「グラウンドシート」「タープ」「ペグ・ペグハンマー」の4つを『居住に使うもの』としている。

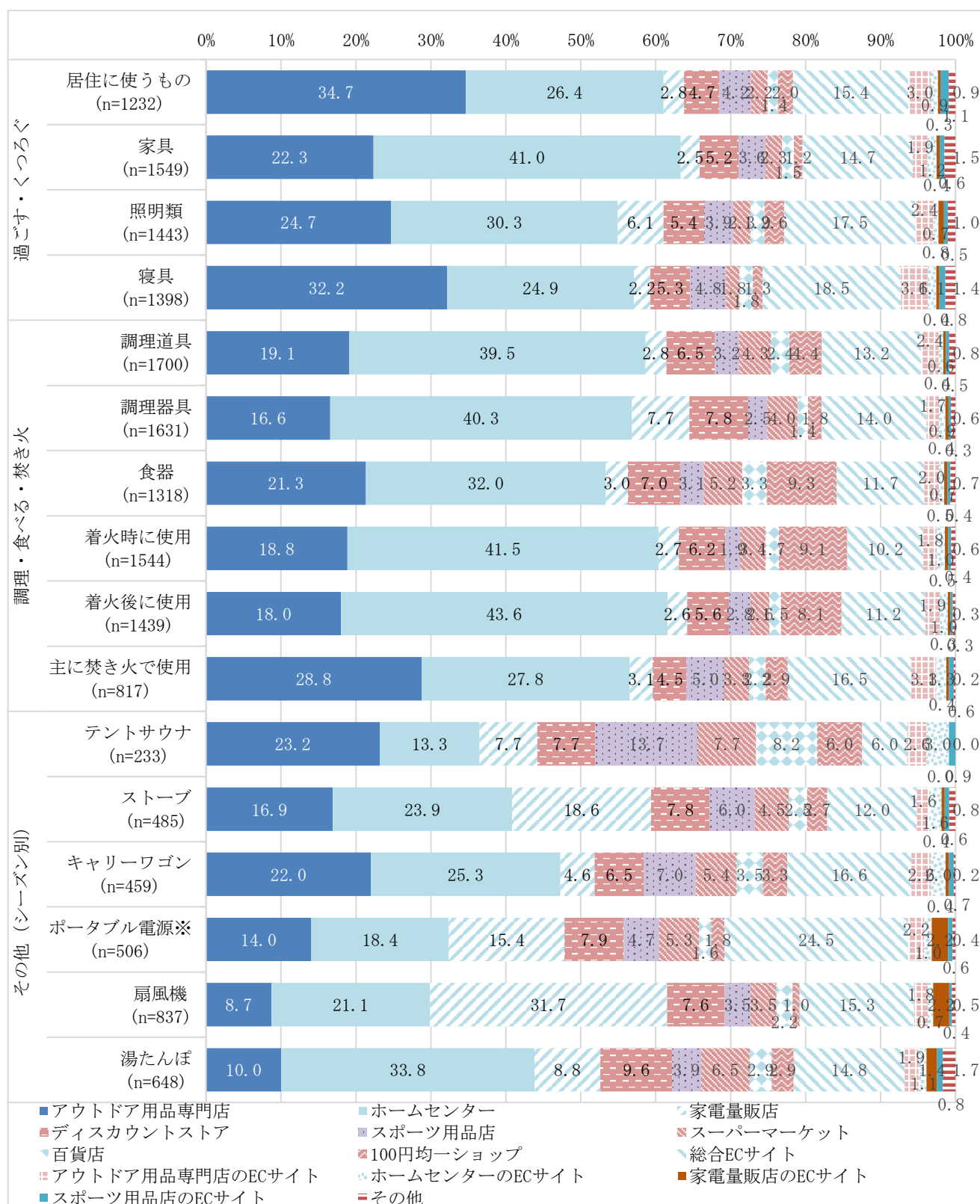
表 7_2_1.所有している製品の分類

使用が想定される場面	分類	所有している製品
過ごす・くつろぐ	居住に使うもの	テント
		グラウンドシート
		タープ
		ペグ・ペグハンマー
	家具	テーブル
		椅子、ベンチ
	照明類	ランタンなどの照明 (ヘッドライト・電球・ろうそくなど)
		ランタンスタンド
	寝具	寝袋
		コット
		エアベッド
		マット
		ピロー
		ハンモック
調理・食べる・焚き火	調理道具	ナイフ・包丁
		調理道具 (おたま、菜箸など)
		クッカー・鍋
		クーラーボックス
		ウォータージャグ
	調理器具 (電気や火にかけるもの)	カセットコンロ
		バーベキューグリル
		ホットプレート
	食器	食事用の食器・カトラリー
	着火時に使用するもの	薪、炭、着火剤
		ライター、ガストーチ、点火棒
	着火後に使用するもの	火バサミ・トンガ
		耐火グローブ・軍手
	主に焚き火で使用するもの	焚き火台
		焚き火シート
		薪スタンド
		斧、鉋 (なた)
		ウィンドスクリーン (風除け)
その他 (シーズン別)	テントサウナ	テントサウナ
	ストーブ	ストーブ (薪・灯油・電気)
	キャリーワゴン	キャリーワゴン
	ポータブル電源 (コンセントの差込口があるもの)	ポータブル電源 500KVA 未満
		ポータブル電源 500KVA 以上
	扇風機	扇風機
	湯たんぽ	湯たんぽ

【過ごす・くつろぐ】における「居住に使うもの」「寝具」は、『アウトドア用品専門店』が3割強、「家具」「照明類」は『ホームセンター』が3~4割と高い。

【調理・食べる・焚き火】について、「主に焚き火で使用」するものは『アウトドア用品専門店』が3割、それ以外は『ホームセンター』が最も高い。

【その他（シーズン別）】について、「ポータブル電源」は『総合ECサイト』が2割強、「扇風機」は『家電量販店』が3割と最も高い。



※ポータブル電源（コンセントの差込口があるもの）

図 7_3_1.所有している製品の購入先 (%)

表 7_2_2.所有している製品の購入先 (%)

	アウトドア用品専門店	ホームセンター	家電量販店	ディスカウントストア	スポーツ用品店	スーパーマーケット	百貨店	100円均一ショップ	総合ECサイト	アウトドア用品専門店のECサイト	ホームセンターのECサイト	家電量販店のECサイト	スポーツ用品店のECサイト	その他
居住に使うもの (n=1232)	34.7	26.4	2.8	4.7	4.2	2.2	1.4	2.0	15.4	3.0	0.9	0.3	1.1	0.9
家具 (n=1549)	22.3	41.0	2.5	5.2	3.6	2.3	1.5	1.2	14.7	1.9	1.2	0.4	0.6	1.5
照明類 (n=1443)	24.7	30.3	6.1	5.4	3.9	2.3	1.9	2.6	17.5	2.4	0.7	0.8	0.5	1.0
寝具 (n=1398)	32.2	24.9	2.2	5.3	4.8	1.8	1.8	1.3	18.5	3.6	1.1	0.4	0.8	1.4
調理道具 (n=1700)	19.1	39.5	2.8	6.5	3.2	4.3	2.4	4.4	13.2	2.4	0.6	0.4	0.5	0.8
調理器具 (n=1631)	16.6	40.3	7.7	7.8	2.5	4.0	1.4	1.8	14.0	1.7	0.9	0.4	0.3	0.6
食器 (n=1318)	21.3	32.0	3.0	7.0	3.1	5.2	3.3	9.3	11.7	2.0	0.7	0.5	0.4	0.7
着火時に使用 (n=1544)	18.8	41.5	2.7	6.2	1.9	3.4	1.7	9.1	10.2	1.8	1.0	0.5	0.4	0.6
着火後に使用 (n=1439)	18.0	43.6	2.6	5.6	2.8	2.6	1.5	8.1	11.2	1.9	1.0	0.3	0.3	0.3
主に焚き火で使用 (n=817)	28.8	27.8	3.1	4.5	5.0	3.3	2.2	2.9	16.5	3.3	1.3	0.4	0.6	0.2
テントサウナ (n=233)	23.2	13.3	7.7	7.7	13.7	7.7	8.2	6.0	6.0	2.6	3.0	0.0	0.9	0.0
ストーブ (n=485)	16.9	23.9	18.6	7.8	6.0	4.5	2.5	2.7	12.0	1.6	1.6	0.4	0.6	0.8
キャリアワゴン (n=459)	22.0	25.3	4.6	6.5	7.0	5.4	3.5	3.3	16.6	2.6	2.0	0.4	0.7	0.2
ポータブル電源※ (n=506)	14.0	18.4	15.4	7.9	4.7	5.3	1.6	1.8	24.5	2.2	1.0	2.2	0.6	0.4
扇風機 (n=837)	8.7	21.1	31.7	7.6	3.5	3.5	2.2	1.0	15.3	1.8	0.7	2.2	0.4	0.5
湯たんぽ (n=648)		33.8	8.8	9.6	3.9	6.5	2.9	2.9	14.8	1.9	1.1	1.4	0.8	1.7

※ポータブル電源（コンセントの差込口があるもの）

所有している製品の購入先：人数については図 7_2_2、表 7_2_2 のとおりである。

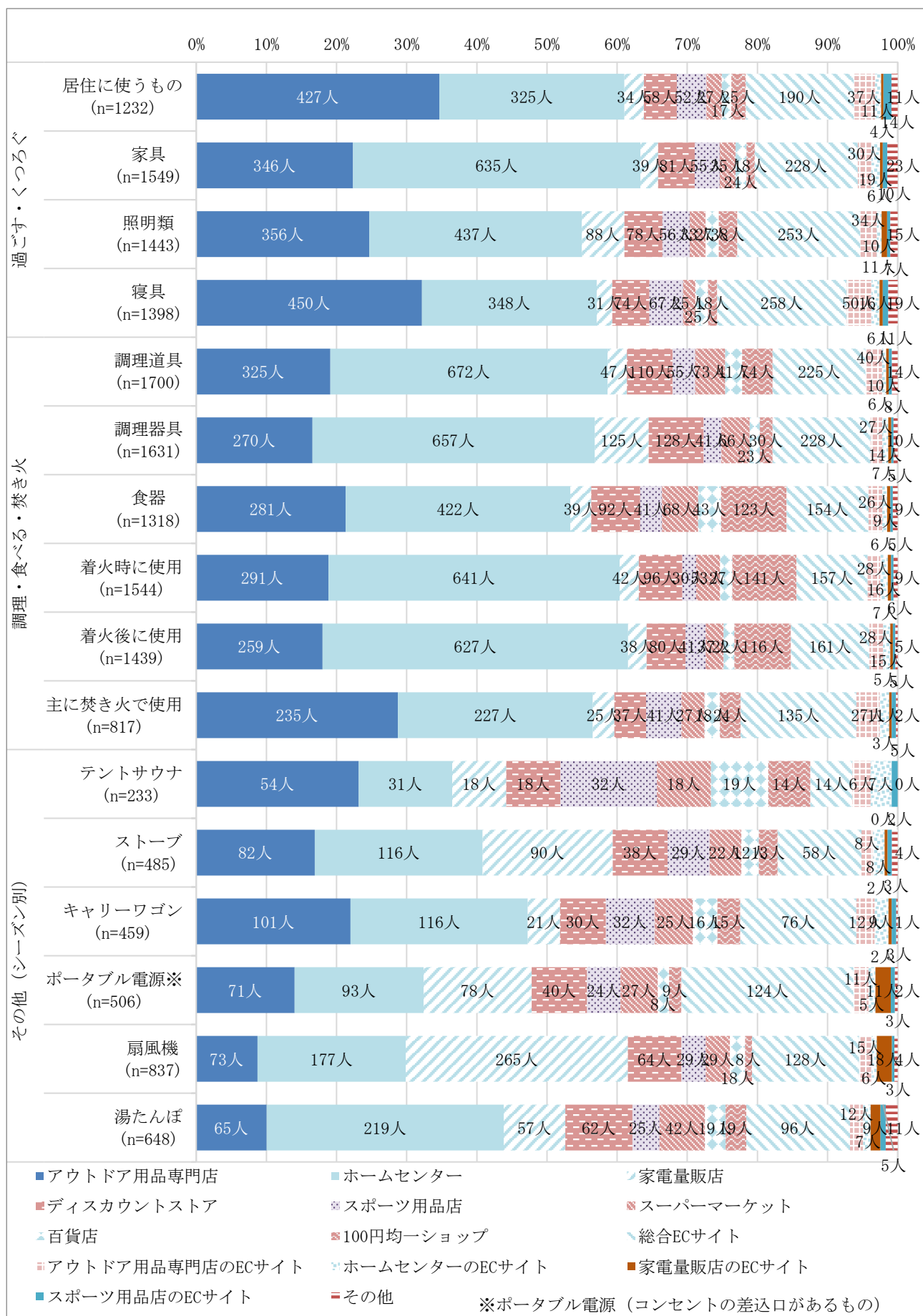


図 7_2_2.所有している製品の購入先（人）

表 7_2_3.所有している製品の購入先（人）

	アウトドア用品専門店	ホームセンター	家電量販店	ディスカウントストア	スポーツ用品店	スーパーマーケット	百貨店	100円均一ショップ	総合ECサイト（	アウトドア用品専門店のECサイト	ホームセンターのECサイト	家電量販店のECサイト	スポーツ用品店のECサイト	その他（具体的に）
居住に使うもの (n=1232)	427	325	34	58	52	27	17	25	190	37	11	4	14	11
家具 (n=1549)	346	635	39	81	55	35	24	18	228	30	19	6	10	23
照明類 (n=1443)	356	437	88	78	56	33	27	38	253	34	10	11	7	15
寝具 (n=1398)	450	348	31	74	67	25	25	18	258	50	16	6	11	19
調理道具 (n=1700)	325	672	47	110	55	73	41	74	225	40	10	6	8	14
調理器具 (n=1631)	270	657	125	128	41	66	23	30	228	27	14	7	5	10
食器 (n=1318)	281	422	39	92	41	68	43	123	154	26	9	6	5	9
着火時に使用 (n=1544)	291	641	42	96	30	53	27	141	157	28	16	7	6	9
着火後に使用 (n=1439)	259	627	38	80	41	37	22	116	161	28	15	5	5	5
主に焚き火で使用 (n=817)	235	227	25	37	41	27	18	24	135	27	11	3	5	2
テントサウナ (n=233)	54	31	18	18	32	18	19	14	14	6	7	0	2	0
ストーブ (n=485)	82	116	90	38	29	22	12	13	58	8	8	2	3	4
キャリーワゴン (n=459)	101	116	21	30	32	25	16	15	76	12	9	2	3	1
ポータブル電源 (n=506)	71	93	78	40	24	27	8	9	124	11	5	11	3	2
扇風機 (n=837)	73	177	265	64	29	29	18	8	128	15	6	18	3	4
湯たんぽ (n=648)	65	219	57	62	25	42	19	19	96	12	7	9	5	11

※ポータブル電源（コンセントの差込口があるもの）

(4) 所有している製品の取扱説明書

7(2)において製品を所有している方に、「所有している製品の主な取扱説明書の確認の有無」について聞いた結果をまとめた。いずれの製品も、確認した(『全て確認した』『一部確認した』の計)割合が7割以上となっている。その中で、「ポータブル電源」については『全て確認した』が51.4%と最も高くなっている。

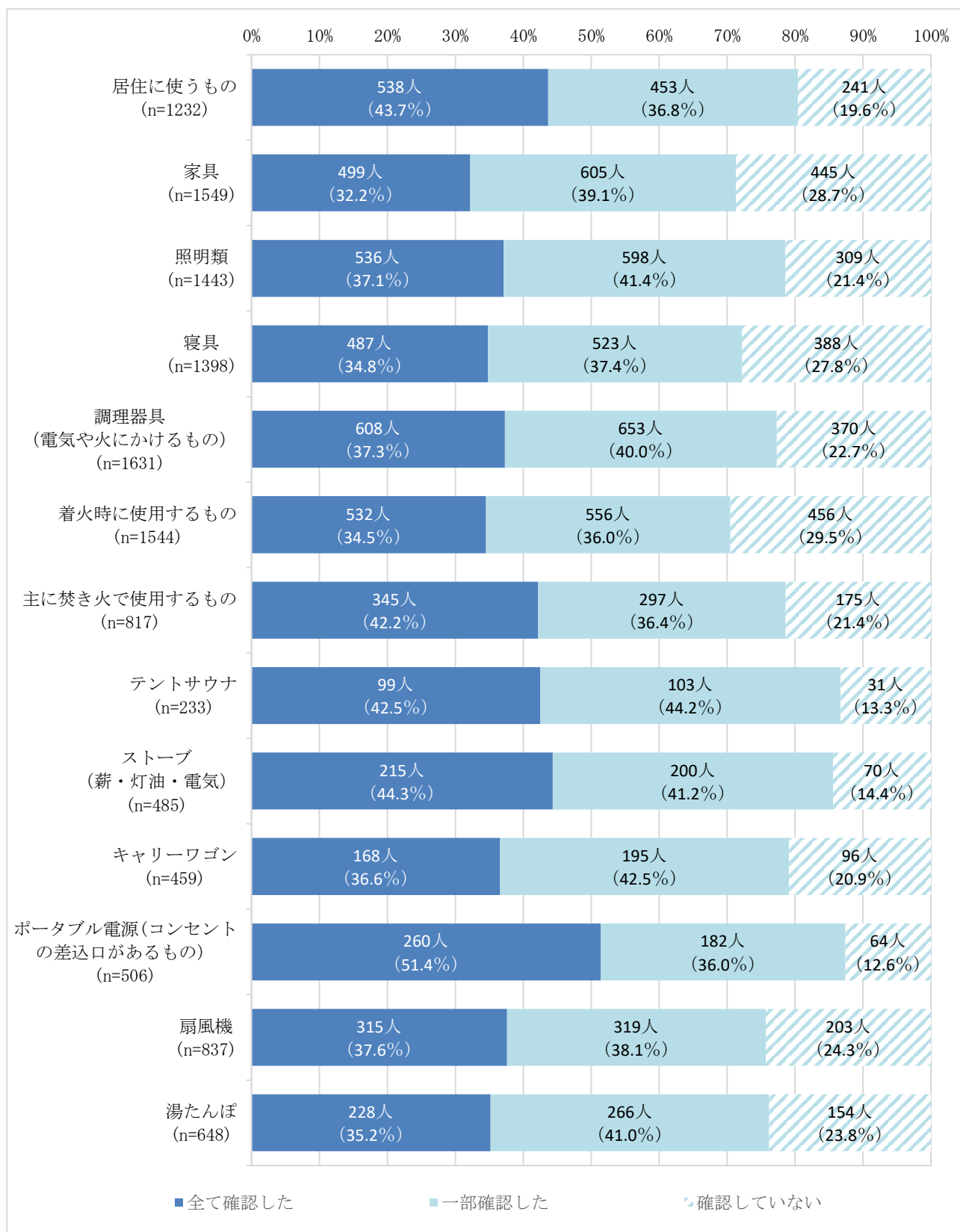


図 7_3.所有している製品の取扱説明書 (確認の有無)

(5) 取扱説明書を確認しない理由（複数回答）

(4) 所有している製品の取扱説明書の設問で、いずれかの製品の取扱説明書を「確認していない」と回答をした 978 人の理由についてまとめた。

「取扱説明書がなくても簡単に使えると思ったから」(63.7%) の割合が最も高く、次いで「過去に似た製品を使った経験があるから」(29.4%)、「確認するのが面倒だったから」(22.6%)、「必要になった時に確認すれば良いから」(22.3%) と続く。

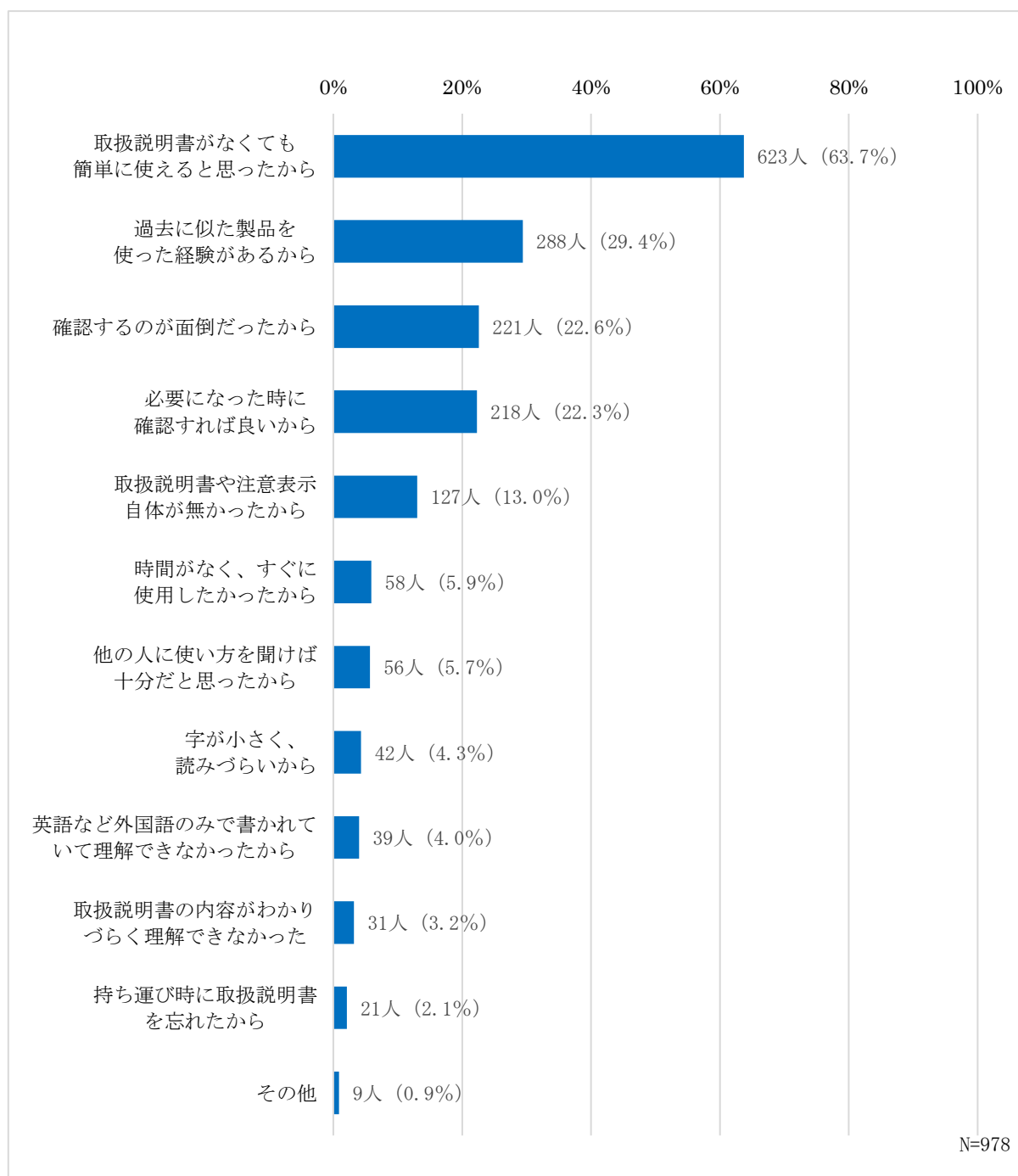


図 7_4.取扱説明書を確認しない理由（複数回答）

8. キャンプやバーベキューをする時、けがや事故を防ぐために工夫していること

キャンプやバーベキューをする時、けがや事故を防ぐために工夫していることについて、自由記述（特になしと回答した 1,309 人を除く 1,691 人）を元に分類を行った。自由記述のため、複数の工夫を記載してある場合、それぞれの内容に分類を行っている。分類は大分類と小分類の 2 区分としている。

けがや事故を防ぐために工夫していることについて、大分類では「行動」に基づくものが 35.7% で最も高く、「気持ち」に基づくものが 8.4% で続いている。

「行動」で特に多かったのは「気を付ける（特に火）」で、全体で 11.8% が言及していた。具体的には、「火おこしをしたときに、近くに燃えやすいものを置かないように気を付ける」や、「一度家で使ってみる」「万が一の消火用の水や消火剤は必ず用意する」といったコメントが見られた。（図 8_2、表 8_2_1）

「気持ち」が伴うものとしては「慌てない・焦らない・落ち着く」「無理をしない」といった内容が多く見られた。具体的には、「一度に複数のことをしないよう、せわしくないような段取りをとる」「体調不良時や悪天候時には無理をせずに中止する」といったコメントが多い。（図 8_2、表 8_2_2）

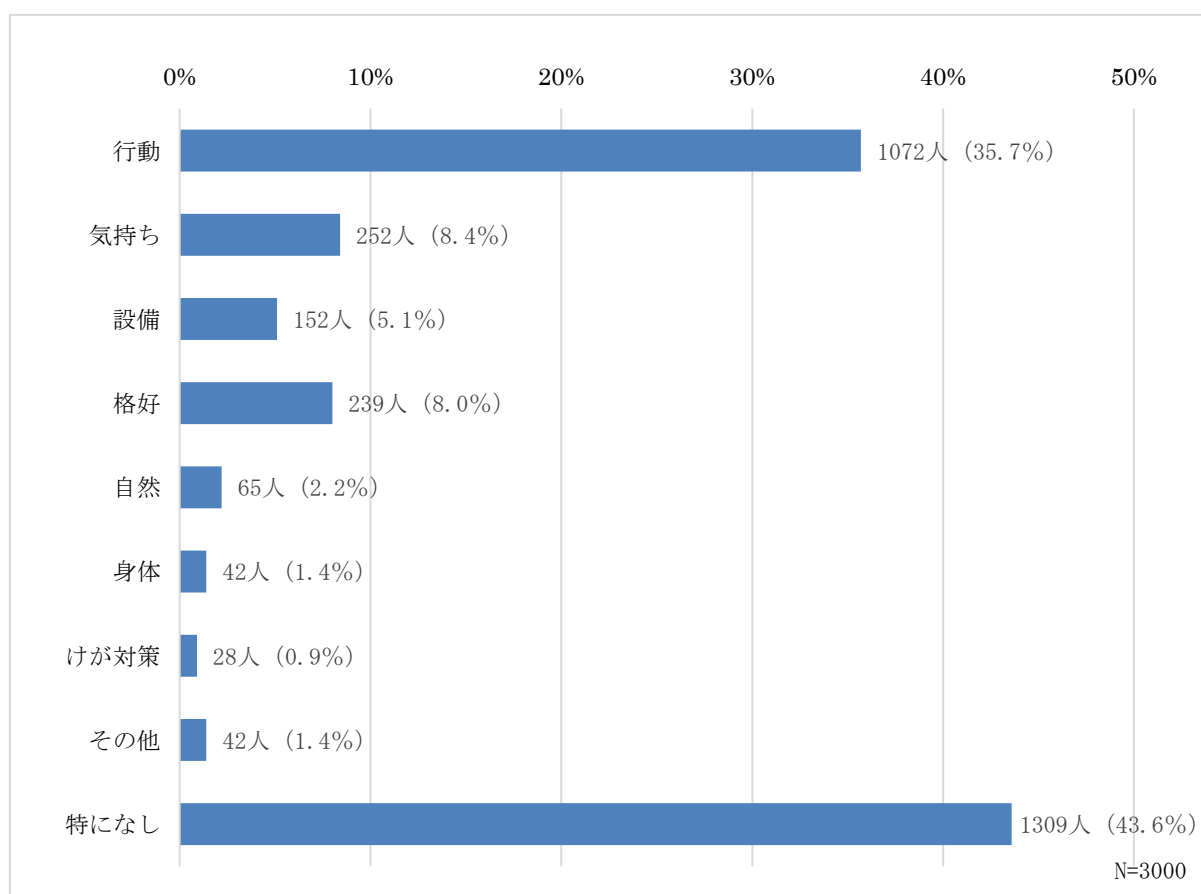


図 8_1.けがや事故を防ぐために工夫していること（大分類）

※1 名が複数の分類に該当する記述をしていた場合、該当する分類をそれぞれ 1 カウントずつプラスしている。

※大分類での件数と小分類の合計数は一致しないため、累計の件数も併記している。

※「その他」は、少数の回答や、分類できない内容の回答が含まれる。

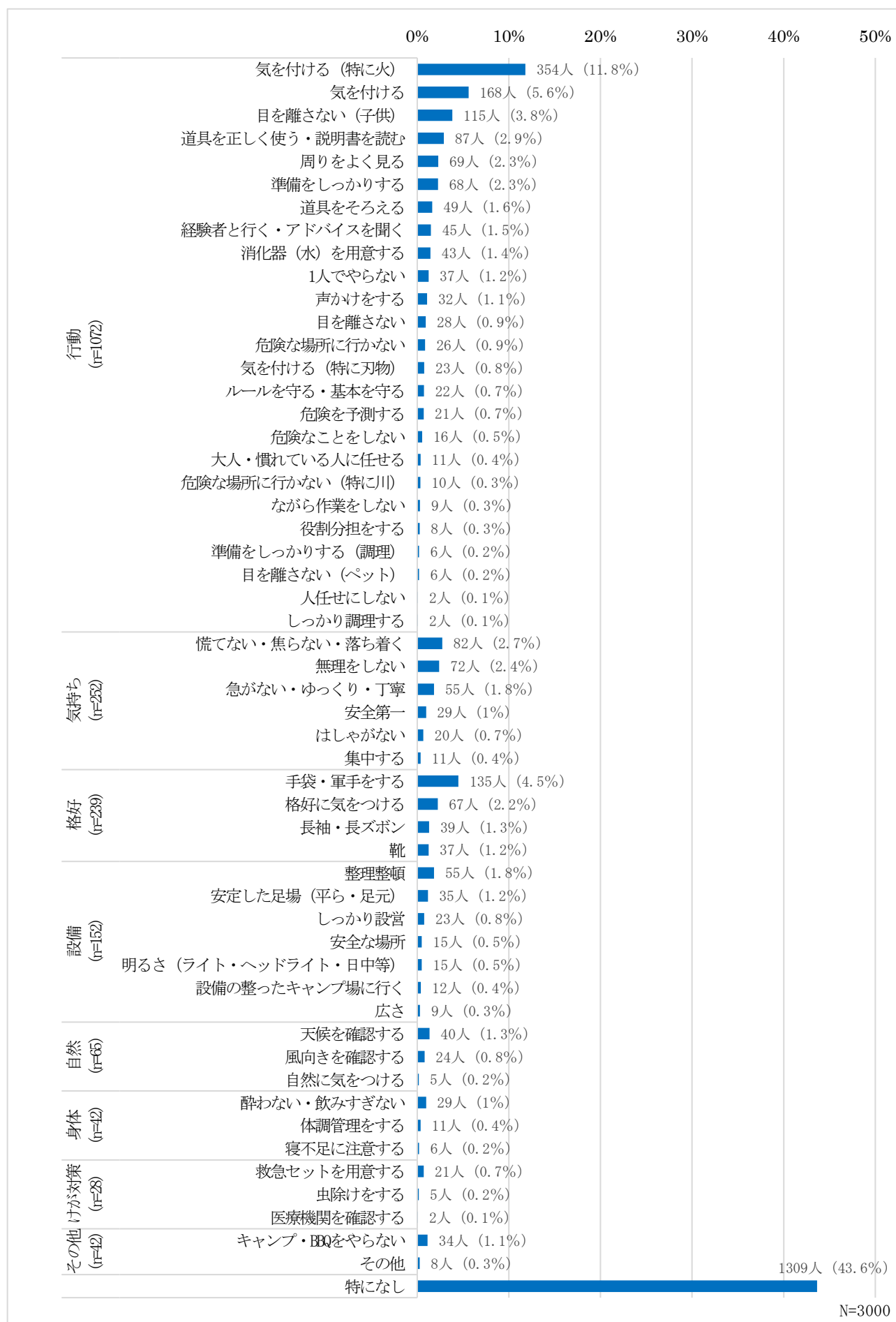


図 8_2.けがや事故を防ぐために工夫していること (小分類)

表 8_1_1.けがや事故を防ぐために工夫していること（件数）

大分類	小分類	件数	小分類 累計
行動 N=1072	気を付ける（特に火）	354	1257
	気を付ける	168	
	目を離さない（子供）	115	
	道具を正しく使う・説明書を読む	87	
	周りをよく見る	69	
	準備をしっかりする	68	
	道具をそろえる	49	
	経験者で行く・アドバイスを聞く	45	
	消化器（水）を用意する	43	
	1人でやらない	37	
	声かけをする	32	
	目を離さない	28	
	危険な場所に行かない	26	
	気を付ける（特に刃物）	23	
	ルールを守る・基本を守る	22	
	危険を予測する	21	
	危険なことをしない	16	
	大人・慣れている人に任せる	11	
	危険な場所に行かない（特に川）	10	
	ながら作業をしない	9	
	役割分担をする	8	
	準備をしっかりする（調理）	6	
	目を離さない（ペット）	6	
	人任せにしない	2	
	しっかり調理する	2	

表 8_1_2.けがや事故を防ぐために工夫していること（件数）

大分類	小分類	件数	小分類 累計
気持ち N=252	慌てない・焦らない・落ち着く	82	269
	無理をしない	72	
	急がない・ゆっくり・丁寧	55	
	安全第一	29	
	はしゃがない	20	
	集中する	11	
格好 N=239	手袋・軍手をする	135	278
	格好に気をつける	67	
	長袖・長ズボン	39	
	靴	37	
設備 N=152	整理整頓	55	164
	安定した足場（平ら・足元）	35	
	しっかり設営	23	
	安全な場所	15	
	明るさ（ライト・ヘッドライト・日中等）	15	
	設備の整ったキャンプ場に行く	12	
	広さ	9	
自然 N=65	天候を確認する	40	69
	風向きを確認する	24	
	自然に気をつける	5	
身体 N=42	酔わない・飲みすぎない	29	46
	体調管理をする	11	
	寝不足に注意する	6	
けが対策 N=28	救急セットを用意する	21	28
	虫除けをする	5	
	医療機関を確認する	2	
その他 N=42	キャンプ・BBQ をやらない	34	42
	その他	8	
特になし		1309	1309

表 8_2_1.けがや事故を防ぐために工夫していること（詳細事例、抜粋）

大分類	小分類	件数	自由回答から抜粋
行動	気を付ける (特に火)	354 件	火おこしをしたときに、近くに燃えやすいものを置かないように気を付ける。 引火しやすいものに引火し、自分の衣服等に火が付いたら、大やけどのおそれがある。とにかく「火の元」に気を付ける
			まずは火元の確認、場所の安全性、など、しっかりと周囲の危険から距離をおけているかどうかを確認する。
			耐火マットを引いてバーベキューや焚き火をする。ガスボンベの取り扱いには気を付ける。
			事前のセッティングが重要。特に、料理する際の火の起こし方から、最後の火消しまでの事前準備は絶対。且つ、小さい子供がいる際は、子供の監視役を必ず、人数に合わせて、大人の人数も決めて、徹底すること。
			一度家で使ってみる。 万が一の消火用の水や消火剤は必ず用意する。
	目を離さない (子供)	115 件	危ない事はしない。子供には火など近くにはいかせない。割れものをあまり使わない。
			子供の怪我の方が予想されるため、親がきちんと事前に危険性について伝えるだけでなく、注意深く見守る
			子供が参加するバーベキューなどは刃物がある場合は、子供の手が届かない場所や専用ケースにしまう
			大人が全員テントの組み立てやバーベキューの用意をして子供をほったらかしにするのではなく、子供の面倒をみる（一緒に遊ぶ）大人を数名残しておく。
	道具を正しく使う・説明書を読む	87 件	キャンプやバーベキューをする前に必ず取説や注意書きを口頭で読んでから始めることにしています。
			説明書を読む時は使い方でなく気を付けることについても目を通して、実際に使用している人の口コミもチェックする。
			良く説明書を読み購入したお店の店員さんに使用方法を教えてもらう。
	準備をしっかりする	68 件	保管しているものについては、きちんと使えるかどうか、事前に確認する
			行く前にその地での実際のクチコミをよく確認してアクシデントに対する準備をしておく。
			適切な格好をし、必要な動画は揃えて行く。また、あらかじめ知識を蓄えておくのも必要だと考える。
	1人でやらない	37 件	刃物や火を使う危険物は複数名で使用するか、管理することと消火可能な準備をする。単独行動は絶対にさせない・しない
			一緒にいる人と絶えずコミュニケーションをとること。1人で行動をなるべくしないこと。
	危険な場所に行かない	26 件	なるべく危険な場所には近寄らない（特に火を使用しているところや災害の恐れがある場所など）
			あまりいろんなところを触らず危険なところへは侵入しない。川のそばではやらない。

表 8_2_2.けがや事故を防ぐために工夫していること（詳細事例、抜粋）

大分類	小分類	件数	自由回答から抜粋
気持ち	慌てない・焦らない・落ち着く	82 件	とにかくあわてないこと、それにつきる。だめそうなら潔くあきらめる。
			一度に複数のことをしないよう、せわしくないような段取りをとる。食事量も多くするなどの慌てる要素を排除する
			多少は時間がかかっても落ち着いて行動すること。
			慌てないことが一番ですね。特に直火を使うことが多いので、ゆっくり余裕を持って行うことが怪我事故防止にツナがると思います。
	無理をしない	72 件	わからないことを無理に自分でやろうとせず、他の人に尋ねるなどして進めること。周りの状況をよく確認してから動くこと
			疲れている中の無理な作業や、グッズの用途外の使い方など、無理をしない
			体調不良時や悪天候時には無理をせずに 中止するなど。
	はしゃがない	20 件	どうしてもテンションが上がってしまうので、なるべく落ち着いて行動しようと心掛けています。
			過去の経験を生かして、とにかくあまり騒ぎすぎないで冷静に行動することが大事な事と思っております。
設備	整理整頓	55 件	子供にとって注意が必要なものや危険なものは不用意にいろんなところに置かない。事前準備をおこたらない。
			危険性のある物は出来るだけ整理して、それぞれを区分、整理しておく事。
			こまめに整理整頓をして、調理スペースやグリルまわりに余計なものを置かないようにする
			落下や転倒、躓きをふせぐために余計なものを持たないようにすること。
	安定した足場（平ら・足元）	35 件	なるべく平らな所でテントを張り、しっかり固定するようにしている。また木の近くにはテントは張らないようにしている。
			テントや、バーベキューグリルを設置する時に、倒れないように平らで安定の良い場所に設置する。
			最初にキャンプやバーベキューを行う場所を確保する際に、地面がゴツゴツしていてつまずきそうなところは避ける。なるべく平らな場所を確保して、大きな石があったら脇へよけておく。バーベキューコンロは平らなところに置く。
	明るさ（ライト・ヘッドライト・日中等）	15 件	照明を複数併用し、テントまわりを明るくすること
			ペグに綺麗な色のリボンをつける、つまづき防止 夜間移動時に使用するヘッドライトは必須
	設備の整ったキャンプ場に行く	12 件	基本的にはテントが設置をしてくれるところを選ぶようにしている
			きちんと整備されているキャンプ場を利用する

表 8_2_3.けがや事故を防ぐために工夫していること（詳細事例、抜粋）

大分類	小分類	件数	自由回答から抜粋
格好	手袋・軍手を する	135 件	なるべく熱いものは何かを巻いて触るようにしている
			細かい作業でも軍手を着用することで、不意に怪我をしてしまうことを予防している。
			ゆとりのある場所の確保。 手袋等の防災用品の使用
			テントの設営やバーベキューをする時は、手袋をするようにしている。
	格好に気をつ ける	67 件	衣類など耐火性のものを着る。
			TP0 にあった服装（動きやすい服や靴、汚れても気にならない服）
			火が、燃え移らないように、裾のヒラヒラとか、手首のフリフリとかは避ける。
	長袖・長ズボン	39 件	なるべく長袖の服を着たり、サングラスや帽子で肌の露出を少なくしている
			暑い季節でも、火を使う時は必ず長袖長ズボンの服装を心がけています。また、火が飛んできた時に火傷を防ぐためにも、綿の素材の服を使用するようにし、化学繊維などの服はできるだけ避けるようにしています。
自然	靴	37 件	衣服と靴を山に登れるような動きやすいものを履く。
			サンダルではなくはきなれたスニーカーを着用する
	天候を確認する	40 件	事前に天気予報を確認し、強風が予想されるときにはテント、タープを張る時にガイロープ、ペグを普段よりしっかり固定する。また、突然の天候変化に対応するため、ガイロープ、ペグは付属品だけではなく余分に用意しておく。
			風のある日の火の扱いには注意している。そういう日は出来るだけ火を使わないようにしている。
	風向きを確認する	24 件	風がある時には焚火台に火の粉防止用の網を取り付ける。
			張り綱やペグには必ず転倒防止、ヘッドライトや焚き火の風向きなど考えてやる
身体	自然に気をつ ける	5 件	常に自然というのに警戒する、人は自然には敵わないという価値観をもつ
	体調管理をする	11 件	体調を万全にし、危ないことはしない。
			水分補給
	寝不足に注意する	6 件	前日の睡眠はしっかりとって体調を万全にしておく
			寝不足のときは調理をしないことです
けが対策	救急セットを用 意する	21 件	救急箱と水の入ったバケツ、簡易消火器を用意する。
			万が一に備えて応急処置キットを持参し、けがをした場合の対処法を考えておきます。
その他	医療機関を確認する	2 件	避難経路や電波や医療機関が近くにあるところを選ぶこと
			使用中は人の出入りを注意する
その他	その他	8 件	換気をしっかりする

Ⅲ まとめ

今回の調査対象である、キャンプやバーベキューなどで使用する製品は、日常生活でも使えるものが多く含まれていますが、キャンプやバーベキュー用に改良・工夫された製品も数多く存在し、実際のキャンプやバーベキューで初めて使用することもあります。これらの製品は、様々な場所や施設、自然環境での使用が想定されます。そうした中で、今回の調査において、様々な場面で使用する製品によるけがやヒヤリ・ハット経験が寄せられました。

○【過ごす・くつろぐ】場面（けが及びヒヤリ・ハット経験 301 人）

テントや椅子、テーブルなどの設営・片づけ中による指の挟みこみ、不安定な地面や傾斜のある場所での使用による転倒、ハンモック使用中にバランスを崩しての転落・骨折など

○【調理・食べる】場面（けが及びヒヤリ・ハット経験 442 人）

「ナイフ・包丁」による、食材の下ごしらえなどの準備中、着火の時や火力調整中、バーベキューグリルや消火後の炭に触れてのやけど

○【焚き火】場面（けが及びヒヤリ・ハット経験 262 人）

着火の際に使用する「着火剤」が原因のやけど、「薪」を扱う際のけが、自然現象「風」の変化による、火の粉の飛び散りによる着衣着火

○【その他（シーズン別）】場面（けが及びヒヤリ・ハット経験 197 人）

テントサウナ設営中、ストーブ使用中のやけど、河原・河川敷での水遊び中の滑りによるけがなど

こうした事例は、事前の準備や手順の確認などを行い、作業を慎重に行うことでけがの予防ができます。以下の注意事項、施設などの利用基準や本調査において「けがや事故を防ぐために工夫している事例」などを確認し、安全で安心なキャンプやバーベキューとなるようにしましょう。

●場所の選定

平坦で安定した場所を選びましょう。テント等を安定して設置でき、椅子やベンチを使用中の転落予防につながります。また、バーベキューグリルや焚き火台の倒れによるやけどを防ぐこともできます。

●普段使用しない製品

取扱説明書をよく確認し、設置方法や収納方法を把握するとともに、使用上の注意を守りましょう。特にハンモックは、乗り降りを慎重に行うようにし転落に気をつけましょう。

●軍手・手袋の着用

テントなどの設営時には軍手など、調理や焚き火の際には耐火手袋を着用しましょう。

●火気使用時の注意

火気を使用する際は、周囲に燃えやすいものを置かず、風が強い日は火の使用を避けるか、風よけを設置して火の粉が飛び散らないようにしましょう。その際、服装にも気をつけ、燃えにくい素材の服を選びましょう。また、「着火剤」の取り扱いには十分気をつけましょう。

着火後は、常に火のそばにいて火が大きくなりすぎないように調整をし、周囲に人が近づかないように注意しましょう。

●消火の準備

消火用の水などを近くに用意しておき、万が一の際にすぐに対応できるようにしましょう。また、火を使い終わったら、完全に消火し、炭や薪が完全に冷めるまで放置しないようにしましょう。（その場から離れた後に、他の方がやけどなどのけがをすることを防ぎましょう。）

●子供の見守り

作業中でも、常に一人は子供の見守りを担当するなど、子供から目を離さないようにしましょう。

●遊び

河原・河川敷での水遊びは、安全な場所を選び、水辺で遊ぶ際には足元に気をつけ、適切なライフジャケットの着用を心がけましょう。

IV. アンケート調査内容

あなたご自身に関するアンケート

注意事項

回答中にブラウザの「戻る」を使用しないでください。
回答は、各ページ60分以内に送信をしてください。
JavaScriptおよびCookieを有効にしてください。

推奨ブラウザ

【Windows】
Chrome 最新版
Firefox 最新版
Microsoft Edge 最新版
【MacOS】
Chrome 最新版
Firefox 最新版
Safari 最新版
【Android】
標準ブラウザ（Chrome） 最新版
【iOS】
標準ブラウザ（Safari） 最新版
Chrome 最新版

次へ

--- <改ページ> -----

[必須]

SQ1. あなたがお住まいの都道府県をお知らせください。（ひとつだけ）

選択して下さい ▼

--- <改ページ> -----

[必須]

SQ2. あなたの性別をお知らせください。（ひとつだけ）

- ☐ 1. 男性
- ☐ 2. 女性
- ☐ 3. 回答したくない

【必須】

SQ3. あなたの年齢をお知らせください。

歳

-----<改ページ>-----

【終了（END3）】

SQ3で『1.』に〔19〕以下 数値を入力した

または

SQ1で『1.北海道』～『10.群馬県』、『15.新潟県』～『47.沖縄県』 いずれかを選択した

または

SQ2で『3.回答したくない』 いずれかを選択した方のみ

-----<改ページ>-----

【必須】

SQ4. 以下のそれぞれの項目の中で、過去に経験があるものをお答えください。（それぞれひとつずつ）

複数回経験があるものは、最近のことについてお答えください。

		半年以 内	1年以 内	2年以 内	3年以 内	4年以 内	5年以 内	6年以 内	6年以 上前	やったこ とはない
1. キャンプ ※デイキャンプ、オートキャンプ、グランピング含む	→	●	●	●	●	●	●	●	●	●
2. バーベキュー	→	●	●	●	●	●	●	●	●	●
3. 釣り	→	●	●	●	●	●	●	●	●	●
4. ハイキング・登山	→	●	●	●	●	●	●	●	●	●
5. 沢登り	→	●	●	●	●	●	●	●	●	●
6. マウンテンバイク・サイクリング	→	●	●	●	●	●	●	●	●	●
7. ウィンタースポーツ 例：スキー、スノーボードなど	→	●	●	●	●	●	●	●	●	●
8. 海のアクティビティ 例：サーフィン、シュノーケリングなど	→	●	●	●	●	●	●	●	●	●
9. 川・湖のアクティビティ 例：カヌー・カヤック、SUPなど	→	●	●	●	●	●	●	●	●	●

-----<改ページ>-----

【回答者条件】

SQ4で『1.キャンプ※デイキャンプ、オートキャンプ、グランピング含む』で『1.半年以内』～『8.6年以上前』 いずれかを選択した

または

SQ4で『2.バーベキュー』で『1.半年以内』～『8.6年以上前』 いずれかを選択した方のみ

【必須】

SQ5. キャンプ・バーベキューをしたことがある方へお伺いします。

キャンプ・バーベキューをしたことがあるロケーションについて、あてはまるものをお知らせください。（いくつでも）

■ 1. キャンプ場（テント泊）

☐ 2. キャンプ場（コテージ、ロッジ、バンガローなど）
☐ 3. グランピング施設
☐ 4. 河原・河川敷
☐ 5. 山
☐ 6. 公園
☐ 7. 自宅、友人や親せき宅の居室・庭・ベランダ
☐ 8. わからない・覚えていない

----- <改ページ> -----

【回答者条件】 SQ5で『1.キャンプ場（テント泊）』～『7.自宅、友人や親せき宅の居室・庭・ベランダ』いずれかを選択した方のみ

【必須】

SQ6. キャンプ・バーベキューをしたことがある方へお伺いします。

キャンプ・バーベキューをしたことがある方との関係性について、あてはまるものをお知らせください。（それぞれいくつでも）

		ひとり	家族	友人・知人	部活動・サークル活動	その他	覚えていない
1. キャンプ場（テント泊）	→	☐	☐	☐	☐	☐	☐
2. キャンプ場（コテージ、ロッジ、バンガローなど）	→	☐	☐	☐	☐	☐	☐
3. グランピング施設	→	☐	☐	☐	☐	☐	☐
4. 河原・河川敷	→	☐	☐	☐	☐	☐	☐
5. 山	→	☐	☐	☐	☐	☐	☐
6. 公園	→	☐	☐	☐	☐	☐	☐
7. 自宅、友人や親せき宅の居室・庭・ベランダ	→	☐	☐	☐	☐	☐	☐

----- <改ページ> -----

【回答者条件】 SQ4で『1.キャンプ※デイキャンプ、オートキャンプ、グランピング含む』で『1.半年以内』～『8.6年以上前』いずれかを選択したまたは SQ4で『2.バーベキュー』で『1.半年以内』～『8.6年以上前』いずれかを選択した方のみ
--

【必須】

SQ7. キャンプ・バーベキューをしたことがある方へお伺いします。

キャンプ・バーベキューをした際に、使ったことがある製品やしたことのある遊びについてお知らせください。（いくつでも）

※あなたご自身が使用したことがある道具をお知らせください。

※所有の有無は問いません。

【過ごす・くつろぐ】

- 1. テント
- 2. グラウンドシート
- 3. タープ
- 4. ベグ・ベグハンマー
- 5. テーブル
- 6. 椅子、ベンチ
- 7. ランタンなどの照明
(ヘッドライト・電球・ろうそくなど)
- 8. ランタンスタンド
- 9. 寝袋
- 10. コット
- 11. エアベッド
- 12. マット
- 13. ビロー
- 14. ハンモック
- 15. その他

【調理・食べる】

- 16. ナイフ・包丁
- 17. 調理道具 (おたま、菜箸など)
- 18. クッカー・鍋
- 19. 食事用の食器・カトラリー
- 20. 薪、炭、着火剤
(調理での使用)
- 21. ライター、ガストーチ、点火棒 (調理での使用)
- 22. 火バサミ・トング
(調理での使用)
- 23. 耐火グローブ・軍手 (調理での使用)
- 24. カセットコンロ
- 25. バーベキューグリル
- 26. ホットプレート
- 27. クーラーボックス
- 28. ウォータージャグ
- 29. その他

【焚き火】

- 30. 焚き火台
- 31. 焚き火シート
- 32. 薪、炭、着火剤
(焚き火での使用)
- 33. 薪スタンド
- 34. ライター、ガストーチ、点火棒 (焚き火での使用)
- 35. 火バサミ・トング
(焚き火での使用)
- 36. 耐火グローブ・軍手 (焚き火での使用)
- 37. 斧、鉋 (なた)
- 38. ウィンドスクリーン
(風除け)
- 39. その他

【その他 (シーズン別)】

- 40. テントサウナ
- 41. ストープ (薪・灯油・電気)
- 42. キャリーワゴン
- 43. ポータブル電源
(コンセントの差込口があるもの)
- 44. 扇風機
- 45. 湯たんぽ
- 46. 釣り道具
- 47. 花火
- 48. 河原での水遊び
- 49. 使ったことがある道具はない

-----<改ページ>-----

アウトドア用品に関するアンケート

注意事項

回答中にブラウザの「戻る」を使用しないでください。
回答は、各ページ60分以内に送信してください。
JavaScriptおよびCookieを有効にしてください。

推奨ブラウザ

【Windows】
Chrome 最新版
Firefox 最新版
Microsoft Edge 最新版
【MacOS】
Chrome 最新版
Firefox 最新版
Safari 最新版
【Android】
標準ブラウザ（Chrome） 最新版
【iOS】
標準ブラウザ（Safari） 最新版
Chrome 最新版

次へ

----- <改ページ> -----

本アンケートは、事前アンケートで、「過去5年以内にキャンプ・バーベキューをしたことがある」と回答された方へ伺っております。

[必須]

Q1 あなた、または同伴者がキャンプ・バーベキューをした際に、けがをしたり、けがをしそうになった（ヒヤリ・ハット）経験はありますか。

以下の中からあてはまるものをお選びください。（それぞれひとつずつ）

けが、ヒヤリ・ハットの例：転ぶ、ぶつかる、滑ちる、切る・刺さる、挟む・挟まれる、やけど、溺れる、物がのどに詰まる、中毒症状 など

※ 飲酒に起因するものは除いてお考え下さい。

※ ご自身の経験だけでなく、一緒に行った人の経験も含めてお考え下さい。

経験はない
けがをしそうになった（ヒヤリ・ハット）経験がある
けがをした経験がある

キャンプ場 （テント泊）	→	☐	☐	☐	☐
キャンプ場 （コテージ、ロッジ、バンガローなど）	→	☐	☐	☐	☐
グランピング施設	→	☐	☐	☐	☐
河原・河川敷	→	☐	☐	☐	☐
山	→	☐	☐	☐	☐
公園	→	☐	☐	☐	☐
自宅、友人や親せき宅の庭先 ・庭・ベランダ	→	☐	☐	☐	☐

-----<改ページ>-----

【回答者条件】

HQ_Q1C1で1.「けが経験あり（Q1s1-7=1）」キャンプ場（テント泊）』～7.「けが経験あり（Q1s1-7=1）」自宅、友人や親せき宅の居室・庭・ベランダ』いずれかを選択した方のみ

【ゆめ】

Q2「けがをした経験がある」と回答した方にお伺いします。

どういった場面で使用する製品でけがをされましたか。以下よりあてはまる場面をお選びください。（それぞれひとつずつ）

※複数回経験がある場合は、特に印象に残っていることについてお選びください。



※その他（シーズン別）とは、
テントサウナ・ストーブ・
キャリーワゴン・ポータブル
電源・扇風機・湯たんぽ・釣
り道具・花火・河原での水遊
びです。

※上記画像をクリックすることで大きな画像でご確認いただけます。

	寝る・くつろぐ	調理・食べる	焚き火	その他（シーズン別）
キャンプ場（テント泊）	→	☐	☐	☐
キャンプ場（コテージ、ロッジ、バンガローなど）	→	☐	☐	☐
グランピング施設	→	☐	☐	☐
河原・河川敷	→	☐	☐	☐
山	→	☐	☐	☐
公園	→	☐	☐	☐
自宅、友人や親せき宅の居室・庭・ベランダ	→	☐	☐	☐

-----<改ページ>-----

【回答者条件】

HQ_Q1C2で1.「ヒヤリ・ハット経験あり（Q1s1-7=2）」キャンプ場（テント泊）』～7.「ヒヤリ・ハット経験あり（Q1s1-7=2）」自宅の居室・庭・ベランダ』いずれかを選択した方のみ

【ゆめ】

Q3「けがをしようになった（ヒヤリ・ハット）経験があると回答した方にお伺いします。

どういった場面で使用する製品でけがをしようになりましたか。以下よりあてはまる場面をお選びください。（それぞれひとつずつ）

※複数回経験がある場合は、特に印象に残っていることについてお選びください。



※その他（シーズン別）とは、
テントサウナ・ストーブ・
キャリーワゴン・ポータブル
電源・扇風機・湯たんぽ・釣
り道具・花火・河原での水遊
びです。

※上記画像をクリックすることで大きな画像でご確認いただけます。

	過ごす・くつろぐ	調理・食べる	焚き火	その他（シーズン別）
キャンプ場（テント泊）	→	●	●	●
キャンプ場（コテージ、ロッジ、バンガローなど）	→	●	●	●
グランピング施設	→	●	●	●
河原・河川敷	→	●	●	●
山	→	●	●	●
公園	→	●	●	●
自宅、友人や親せき宅の庭・庭・ベランダ	→	●	●	●

<改ページ>

【回答者条件】

HQ_Q1C1で「1. [けが経験あり（Q1s1-7=1）] キャンプ場（テント泊）」～「7. [けが経験あり（Q1s1-7=1）] 自宅、友人や親せき宅の庭・庭・ベランダ」いずれかを選択した

または

HQ_Q1C2で「1. [ヒヤリ・ハット経験あり（Q1s1-7=2）] キャンプ場（テント泊）」～「7. [ヒヤリ・ハット経験あり（Q1s1-7=2）] 自宅の庭・庭・ベランダ」いずれかを選択した方のみ

次の設問からは、あなたがけが、ヒヤリ・ハットの経験があったことについて具体的に伺います。
以下のあなたが選んだ場面について、思い出しながらお答えください。

あなたはまたは他の人がけがをした場面：【回答：ANS_N1_1】

あなたはまたは他の人がけがをしそうになった場面：【回答：ANS_N1_2】

<改ページ>

【回答者条件】

HQ_Q251で「1. [過ごす・くつろぐ「けがをした」] キャンプ場（テント泊）」～「7. [過ごす・くつろぐ「けがをした」] 自宅の庭・庭・ベランダ」いずれかを選択した

または

HQ_Q351で「1. [過ごす・くつろぐで「けがをしそうになった」] キャンプ場（テント泊）」～「7. [過ごす・くつろぐで「けがをしそうになった」] 自宅の庭・庭・ベランダ」いずれかを選択した方のみ

Q4 過ごす・くつろぐ場面で「けがをした、しそうになった」経験についてお聞きします。
その時の経験の詳細を、記入例を参考に教えて下さい。
複数の場所で経験がある場合、最も危害の程度が大きい事例についてお答えください。

【例】

Q4_1 誰がけがをした、しそうになりましたか。（ひとだけ） また、その方のおおよその年齢をお知らせください。

● 自分		歳
● 家族（大人）		歳

● 家族（こども）		歳
● 友人・知人（大人）		歳
● 友人・知人のこども		歳
● 部活・サークル仲間		歳
● その他		歳

【例】

Q4.2 けがの程度として、最もあてはまるものをお知らせください。（ひとつだけ）

● けがをして医療機関に入院した
● けがをして医療機関を受診した
● けがをしたが医療機関は受診しなかった

【例】

Q4.3 何の製品が原因でけがをした、しそうになりましたか。最もあてはまるものをお知らせください。（ひとつだけ）

● デント
● グラウンドシート
● タープ
● ベグ・ベグハンマー
● テーブル
● 椅子、ベンチ
● ランタンなどの照明（ヘッドライト・電球・ろうそくなど）
● ランタンスタンド
● 寝袋
● コット
● エアベッド
● マット
● ビロー
● ハンモック
● その他

【例】

Q4.4 どんな時にけがをした（しそうになりましたか）。以下の中から最もあてはまるものを選びください。（ひとつだけ）

● 設置・組立時にけがをした
● 設置・組立時にけがをしそうになった
● 使用中にけがをした
● 使用中にけがをしそうになった
● 撤収・分解時にけがをした
● 撤収・分解時にけがをしそうになった
● 遊んでいる時にけがをした
● 遊んでいる時にけがをしそうになった

● その他

【例題】

Q4_5 けが、けがをしそうになった時の原因として、どういったことが考えられますか。最もあてはまるものをお選びください。（2つだけ）

- 製品の不良によるもの（製造不良・部品欠損・強度不足など）
- 段差や障害物などによるもの
- 自分の心理的原因によるもの（焦っている・夢中になっている・寝不足・疲れなどによる不注意）
- 自分の行動原因によるもの（誤った使用・扱いが不慣れである・周りをよく見ていないなどの不注意）
- 他人の心理的原因によるもの（焦っている・夢中になっている・寝不足・疲れなどによる不注意）
- 他人の行動原因によるもの（誤った使用・扱いが不慣れである・周りをよく見ていないなどの不注意）
- 悪天候である、天気が急変したなど天候によるもの
- その他

----- <改ページ> -----

【回答者条件】

HQ_Q251で「1. [過ごす・つらく「けがをした」] キャンプ場（テント泊）」～「7. [過ごす・つらく「けがをした」] 自宅の飯室・庭・ベランダ」いずれかを選択した
または

HQ_Q351で「1. [過ごす・つらく「けがをしそうになった」] キャンプ場（テント泊）」～「7. [過ごす・つらく「けがをしそうになった」] 自宅の飯室・庭・ベランダ」いずれかを選択した方のみ

前のページで、あなたは以下のように回答されました。

【回答：ANS_Q4_6】

【例題】

Q4_6 上記の場面並びに以下の記入例を参考に、当時の様子をなるべく具体的に記入してください。

前のページでご回答いただいた内容の、けがをした・しそうになった状況について、記入例を参考に（以下の①②③の内容を含めて）できるだけ具体的に記入ください。

①誰が何をしている時

②どういった状況でけがをしたか・しそうになったか

③どうなったか・けがやヒヤリ・ハットの内容詳細

※記入例が見づらい場合は、恐れ入りますが拡大してご覧ください。

※画像はクリックすることで大きな画像でご確認いただけます。

事例の詳細

【記入例1】



①誰が何をしている時

②どういった状況でけがをしたか・しそうになったか

夕方、息子がテントサイトの近くで遊んでいるとき、ランタンスタンドに足を引っかけた。ランタンスタンドも倒れてしまい、フックの部分が壊れてしまった。夢中で走り回っていたので、周りが良く見えていなかったと思う。

息子は、足に軽い擦り傷で済んだので、病院には行かなかった（息子は、足を切ってしまう、近くの救急病院に行き針縫ってもらった。）。 ③どうなったか・けがやヒヤリ・ハットの内容詳細

【記入例2】

①誰が何をしている時

②どういった状況でけがをしたか・しそうになったか

朝、自分がバーベキューでタープの設置をする時、

仮で打っていたベグをしっかりと刺さないままポールを立ち上げたため、その勢いでベグが振れてしまった。

振れたベグはそのまま飛んでいき、危うく他の人にぶつかりそうになった。ベグの刺さりが目だったこと、刺す向きが良くなかったことが考えられる。 ③どうなったか・けがやヒヤリ・ハットの内容詳細

※最低30文字以上は記入してください。

----- <改ページ> -----

【回答前条件】
HQ_Q252で「1.【調理・食べるで「けがをした」】キャンプ場（テント泊）』～「7.【調理・食べるで「けがをした」】自宅の居室・廊・ベランダ」いずれかを選択した
または
HQ_Q352で「1.【調理・食べるで「けがをしそうになった」】キャンプ場（テント泊）』～「7.【調理・食べるで「けがをしそうになった」】自宅の居室・廊・ベランダ」いずれかを選択した方のみ

Q5 調理・食べる場面 で「けがをした、しそうになった」経験についてお聞きます。
その時の経験の詳細を、記入例を参考に教えてください。
複数の場所や経験がある場合、最も被害の程度が大きい事例についてお答えください。

【例】

Q5_1 誰がけがをした、しそうになりましたか。（ひとつだけ） また、その方のおおよその年齢をお知らせください。

- ☐ 自分 歳
- ☐ 家族（大人） 歳
- ☐ 家族（子ども） 歳
- ☐ 友人・知人（大人） 歳
- ☐ 友人・知人の子ども 歳
- ☐ 部活・サークル仲間 歳
- ☐ その他 歳

【例】

Q5_2 けがの程度として、最もあてはまるものをお知らせください。（ひとつだけ）

- ☐ けがをして医療機関に入院した
- ☐ けがをして医療機関を受診した
- ☐ けがをしたが医療機関は受診しなかった

【例】

Q5_3 何の製品が原因でけがをした、しそうになりましたか。最もあてはまるものをお知らせください。（ひとつだけ）

- ☐ ナイフ・包丁
- ☐ 調理道具（おたま、菜箸など）
- ☐ クッカー・鍋
- ☐ 食事用の食器・カトラリー
- ☐ 薪、炭、着火剤（調理での使用）
- ☐ ライター、ガストーチ、点火棒（調理での使用）
- ☐ 火バサミ・トング（調理での使用）
- ☐ 耐火グローブ・軍手（調理での使用）
- ☐ カセットコンロ
- ☐ バーベキューグリル
- ☐ ホットプレート
- ☐ クーラーボックス
- ☐ ウォータージャグ
- ☐ その他

【例】

Q5_4 どんな時にけがをした（しそうになりましたか）。以下の中から最もあてはまるものを選びください。（ひとつだけ）

- ☐ 設置・組立時にけがをした

☐	設置・組立時にけがをしそうになった
☐	着火・炭の添ぎ足しの作業中にけがややけどをした
☐	着火・炭の添ぎ足しの作業中にけがややけどをしそうになった
☐	食材の下準備・調理中にけがややけどをした
☐	食材の下準備・調理中にけがややけどをしそうになった
☐	食事中にけがややけどをした
☐	食事中にけがややけどをしそうになった
☐	片付け中にけがをした
☐	片付け中にけがをしそうになった
☐	退んでいる時にけがをした
☐	退んでいる時にけがをしそうになった
☐	その他

【ゆめ】
Q5_5 けが、けがをしそうになった時の原因として、どういったことが考えられますか。最もあてはまるものをお選びください。（ひとつだけ）

☐	製品の不良によるもの（製造不良・部品欠損・強度不足など）
☐	段差や障害物などによるもの
☐	自分の心理的原因によるもの（焦っている・夢中になっている・寝不足・疲れなどによる不注意）
☐	自分の行動原因によるもの（誤った使用・扱いが不慣れである・周りをよく見ていないなどの不注意）
☐	他の人の心理的原因によるもの（焦っている・夢中になっている・寝不足・疲れなどによる不注意）
☐	他の人の行動原因によるもの（誤った使用・扱いが不慣れである・周りをよく見ていないなどの不注意）
☐	悪天候である、天気が急変したなど天候によるもの
☐	その他

-----<改ページ>-----

【回答者条件】 HQ_Q252で「1.【調理・食べるで「けがをした」】キャンプ場（テント泊）」～「7.【調理・食べるで「けがをした」】自宅の個室・庭・ベランダ」いずれかを選択した または HQ_Q352で「1.【調理・食べるで「けがをしそうになった」】キャンプ場（テント泊）」～「7.【調理・食べるで「けがをしそうになった」】自宅の個室・庭・ベランダ」いずれかを選択した方のみ

前のページで、あなたは以下のように回答されました。

【回答：ANS_Q5_6】

【ゆめ】
Q5_6 上記の場面並びに以下の記入例を参考に、当時の様子をなるべく具体的に記入してください。
前のページでご回答いただいた内容の、けがをした・しそうになった状況について、記入例を参考に（以下の①②③の内容を含めて）できるだけ具体的に記入してください。
①誰が何をしている時
②どういった状況でけがをしたか・しそうになったか
③どうなったか・けがやヒヤリ・ハットの内容詳細

※記入例が見つからない場合は、恐れ入りますが拡大してご覧ください。
※画像はクリックすることで大きな画像でご確認いただけます。



事例の詳細 【記入例1】

①誰が何をしている時
学生時代の友人らとバーベキューに行った際、炭になかなか火が点かず、③どうなったか・けがやヒヤリ・ハットの内容詳細
持参していた着火剤を大量に入れたところ一気に燃え上がり、近くにいた友人の髪の毛の一部が燃えた。
②どういった状況でけがをしたか・しそうなったか
髪の毛だけだったが、衣服に燃え移っていたら大惨事になっていたかもしれない。

【記入例2】

①誰が何をしている時
飯盒でご飯を炊き、完成後に食事をするテーブルに運ぼうとした。②どういった状況でけがをしたか・しそうなったか
空腹で早く食べたいがために慌てており、うっかり裏手で持てしまいやけどをした。
③どうなったか・けがやヒヤリ・ハットの内容詳細
ちょっと赤くなった程度で済んだが、熱いものを持つときは軍手や耐火グローブが必須だと思った。

※最低30文字以上は記入してください。

<改ページ>

【回答者条件】
HQ_Q253で「1.【焚き火で「けがをした」】キャンプ場（テント泊）」～「7.【焚き火で「けがをした」】自宅の薪窯・竈・ペランダ」いずれかを選択した
または
HQ_Q353で「1.【焚き火で「けがをしそうなった」】キャンプ場（テント泊）」～「7.【焚き火で「けがをしそうなった」】自宅の薪窯・竈・ペランダ」いずれかを選択した方のみ

Q6 焚き火の場面 で「けがをした、しそうなった」経験についてお聞きします。
その時の経験の詳細を、記入例を参考に教えてください。
複数の場所で経験がある場合、最も危険の程度が大きい事例についてお答えください。

【必須】

Q6_1 誰がけがをした、しそうなりましたか。（ひとつだけ） また、その方のおおよその年齢をお知らせください。

● 自分 歳

● 家族（大人） 歳

● 家族（子ども） 歳

● 友人・知人（大人） 歳

● 友人・知人の子ども 歳

● 部活・サークル仲間 歳

● その他 歳

【必須】

Q6_2 けがの程度として、最もあてはまるものをお知らせください。（ひとつだけ）

● けがをして医療機関に入院した

● けがをして医療機関を受診した

● けがをしたが医療機関は受診しなかった

【必須】

Q6_3 何の製品が原因でけがをした、しそうなりましたか。最もあてはまるものをお知らせください。（ひとつだけ）

☐	焚き火台
☐	焚き火シート
☐	薪、炭、着火剤（焚き火での使用）
☐	薪スタンド
☐	ライター、ガストーチ、点火棒（焚き火での使用）
☐	火バサミ・トング（焚き火での使用）
☐	耐火グローブ・軍手（焚き火での使用）
☐	斧、鉋（なた）
☐	ウインドスクリーン（風除け）
☐	その他

【必須】

Q6_4 どんな時にけがをした（しそうなりましたか）。以下の中から最もあてはまるものを選びください。（ひとつだけ）

☐	設置・組立時にけがをした
☐	設置・組立時にけがをしそうになった
☐	使用中にけがをした
☐	使用中にけがをしそうになった
☐	撤収・分解時にけがをした
☐	撤収・分解時にけがをしそうになった
☐	遊んでいる時にけがをした
☐	遊んでいる時にけがをしそうになった
☐	その他

【必須】

Q6_5 けが、けがをしそうになった時の原因として、どういったことが考えられますか。最もあてはまるものを選びください。（ひとつだけ）

☐	製品の不良によるもの（製造不良・部品欠損・強度不足など）
☐	段差や障害物などによるもの
☐	自分の心理的原因によるもの（焦っている・夢中になっている・寝不足・疲れなどによる不注意）
☐	自分の行動原因によるもの（誤った使用・扱いが不慣れである・周りをよく見ていないなどの不注意）
☐	他の人の心理的原因によるもの（焦っている・夢中になっている・寝不足・疲れなどによる不注意）
☐	他の人の行動原因によるもの（誤った使用・扱いが不慣れである・周りをよく見ていないなどの不注意）
☐	悪天候である、天気が急変したなど天候によるもの
☐	その他

----- <改ページ> -----

【回答者条件】

HQ_Q253で「1.【焚き火で「けがをした」】キャンプ場（テント泊）」～「7.【焚き火で「けがをした」】自宅の囲炉裏・竈・ペランダ」いずれかを選択した
または

HQ_Q353で「1.【焚き火で「けがをしそうになった」】キャンプ場（テント泊）」～「7.【焚き火で「けがをしそうになった」】自宅の囲炉裏・竈・ペランダ」いずれかを選択した方のみ

前のページで、あなたは以下のように回答されました。

【回答：ANS_Q6_6】

【必須】

Q6_6 上記の場面並びに以下の記入例を参考に、当時の様子をなるべく具体的に記入してください。

前のページでご回答いただいた内容の、けがをした・しそうな状況について、記入例を参考に（以下の①②③の内容を含めて）できるだけ具体的に記入ください。

①誰が何をしている時

②どういった状況でけがをしたか・しそうなったか

③どうなったか・けがやヒヤリ・ハットの内容詳細

※記入例が見つからない場合は、恐れ入りますが拡大してください。

※画像はクリックすることで大きな画像でご確認いただけます。

事例の詳細

【記入例1】



①誰が何をしている時

焚き火で火を起こし終えた後、燃えている薪を火ばさみで動かした。

②どういった状況でけがをしたか・しそうなったか

その火ばさみを本来ひっかけておく場所ではなく地面に置いたまま目を離していたところ、娘が右手で火ばさみの先端を握ってやけどをした。

右手の平に何か所も水ぶくれができていたため、冷やしつつ、病院に向かった。

③どうなったか・けがやヒヤリ・ハットの内容詳細

【記入例2】

①誰が何をしている時

②どういった状況でけがをしたか・しそうなったか

キャンプ場で購入した薪の束を持った際、はさくれが指に刺さった。

③どうなったか・けがやヒヤリ・ハットの内容詳細

思ったよりも深く刺さってしまい、ピンセットで抜いた後消毒をし、絆創膏を貼った。

持ち運ぶ際は、軍手があった方が良いと思い、このけが以降はそうしている。

※最低30文字以上は記入してください。

-----<改ページ>-----

【回答者条件】

HQ_Q254で「1.【その他（シーズン別）で「けがをした」】キャンプ場（テント泊）」～「7.【その他（シーズン別）で「けがをした」】自宅の個室・倉・ベランダ」いずれかを選択した

または

HQ_Q354で「1.【その他（シーズン別）で「けがをしそうなった」】キャンプ場（テント泊）」～「7.【その他（シーズン別）で「けがをしそうなった」】自宅の個室・倉・ベランダ」いずれかを選択した方のみ

Q7 その他（シーズン別）で「けがをした、しそうなった」経験についてお聞かせします。

その時の経験の詳細を、記入例を参考に教えてください。

複数の場所で経験がある場合、最も被害の程度が大きい事例についてお答えください。

【必須】

Q7_1 誰がけがをした、しそうなりましたか。（ひとつだけ） また、その方のおおよその年齢をお知らせください。

● 自分		歳
● 家族（大人）		歳
● 家族（子ども）		歳
● 友人・知人（大人）		歳
● 友人・知人の子ども		歳
● 部活・サークル仲間		歳
● その他		歳

【必須】

Q7_2 けがの程度として、最もあてはまるものをお知らせください。（ひとつだけ）

- ☐ けがをして医療機関に入院した
- ☐ けがをして医療機関を受診した
- ☐ けがをしたが医療機関は受診しなかった

【ゆめ】

Q7_3 何の製品が原因でけがをした、しそうになりましたか。最もあてはまるものをお知らせください。（ひとつだけ）

- ☐ テント・サウナ
- ☐ ストーブ（薪・灯油・電気）
- ☐ キャリーワゴン
- ☐ ポータブル電源（コンセントの差込口があるもの）
- ☐ 扇風機
- ☐ 湯たんぽ
- ☐ 釣り道具
- ☐ 花火
- ☐ 河原での水遊び
- ☐ その他

【ゆめ】

Q7_4 どんな時にけがをした（しそうになりましたか）。以下の中から最もあてはまるものをお選びください。（ひとつだけ）

- ☐ 設置・組立時にけがをした
- ☐ 設置・組立時にけがしそうになった
- ☐ 使用中にけがをした
- ☐ 使用中にけがしそうになった
- ☐ 撤収・分解時にけがをした
- ☐ 撤収・分解時にけがしそうになった
- ☐ 遊んでいる時にけがをした
- ☐ 遊んでいる時にけがしそうになった
- ☐ その他

【ゆめ】

Q7_5 けが、けがしそうになった時の原因として、どういったことが考えられますか。最もあてはまるものをお選びください。（ひとつだけ）

- ☐ 製品の不良によるもの（製造不良・部品欠損・強度不足など）
- ☐ 段差や障害物などによるもの
- ☐ 自分の心理的原因によるもの（焦っている・夢中になっている・寝不足・疲れなどによる不注意）
- ☐ 自分の行動原因によるもの（誤った使用・扱いが不慣れである・周りをよく見ていないなどの不注意）
- ☐ 他の人の心理的原因によるもの（焦っている・夢中になっている・寝不足・疲れなどによる不注意）
- ☐ 他の人の行動原因によるもの（誤った使用・扱いが不慣れである・周りをよく見ていないなどの不注意）
- ☐ 悪天候である、天気が急変したなど天候によるもの
- ☐ その他

----- <改ページ> -----

【回答者条件】

HQ_Q254で「1.【その他（シーズン別）で「けがをした」】キャンペーン（テント泊）1～7.【その他（シーズン別）で「けがをした」】自宅の個室・車・ベランダ」いずれかを選んだ

または
HQ_Q354で「1.その他（シーズン別）で「けがをしそうになった」キャンプ場（デント泊）」～「7.その他（シーズン別）で「けがをしそうになった」自宅の薪室・薪・ペランダ」いずれかを選択した方のみ

前のページで、あなたは以下のように回答されました。

【回答：ANS_Q7_6】

【ゆめ】

Q7_6 上記の場面並びに以下の記入例を参考に、当時の様子をなるべく具体的に記入してください。

前のページでご回答いただいた内容の、けがをした・しそうな状況について、記入例を参考に（以下の①②③の内容を含めて）できるだけ具体的に記入ください。

①誰が何をしている時

②どういった状況でけがをしたか・しそうなったか

③どうなったか・けがやヒヤリ・ハットの内容詳細

※記入例が見つからない場合は、恐れ入りますが拡大してください。

※画像はクリックすることで大きな画像でご確認いただけます。

事例の詳細

【記入例1】



①誰が何をしている時

②どういった状況でけがをしたか・しそうなったか

冬のキャンプでテント内にて、石油ストーブを使用していた。燃料がもう少しで無くなると思い、点けたまま就寝した。

数時間後、吐きそうになり目が覚めた。友人も具合が悪そうであった。

一酸化炭素中毒を疑い、急いで換気したが、まだ具合が悪いため救急車を呼び、友人と共に搬送された。

以来、換気を徹底するようにしている。

③どうなったか・けがやヒヤリ・ハットの内容詳細

【記入例2】

①誰が何をしている時

②どういった状況でけがをしたか・しそうなったか

撤収作業をしている時に、ポータブル電源を車に載せようとした瞬間にグキッと来た。

痺れは湿布を貼って安静にした。小型だったので、これくらいなら余裕で持ち上げられると油断をした。

③どうなったか・けがやヒヤリ・ハットの内容詳細

※最低30文字以上は記入してください。

-----<改ページ>-----

【ゆめ】

Q8 キャンプに使用する製品でけがをしたり、しそうな時、そのことについてどこかに連絡や相談をしましたか。

あてはまるものを全てお選びください。（それぞれいくつでも）

製品を購入した店舗	メーカー	医療機関	消費生活センター、国や自治体などの行政機関	警察	消防	その他（具体的に）	特に相談や連絡はしなかった
-----------	------	------	-----------------------	----	----	-----------	---------------

過ごす・くつう

（原因となった製品：【回答：Q4_3】）

調理・食べる

（原因となった製品：【回答：Q5_3】）

焚き火

（原因となった製品：【回答：Q6_3】）

		は持っていきかない としても所有									
エアベッド	→	●	●	●	●		●				
マット	→	●	●	●	●		●				
ビロー	→	●	●	●	●		●				
ハンモック	→	●	●	●	●		●				
その他 	→	●	●	●	●		●				

キャンピング用・防災用どちらの用途としても所有

キャンピング用として所有
防災用として所有（キャンピングには持っていきかない）

その他の用途で所有

所有していない

-----<改ページ>-----

【めい】
Q10 キャンプ・バーベキュー用製品で、所有しているものをお知らせください。（それぞれひとつずつ）
 （防災用としての所有も含みます。ただし、日常生活のみで使用している製品は除いて回答してください。）

		キャンピング用・防災用どちらの用途としても所有					キャンピング用として所有 防災用として所有（キャンピングには持っていきかない）					その他の用途で所有					所有していない				
【調理・食べる・焚き火】	ナイフ・包丁	→	●	●	●	●		●													
	調理道具（おたま、箸箸など）	→	●	●	●	●		●													
	クッカー・鍋	→	●	●	●	●		●													
	食事用の食器・カトラリー	→	●	●	●	●		●													
	薪、炭、着火剤	→	●	●	●	●		●													

キャンピング用・防

キャンピング用として
防災用として

キャンピング用とし

その他の用途で

所有していない

所有していない	その他の用途で所有	キャンプ用として所有 防災用として所有 （キャンプには持っていない）	キャンプ用・防災用どちらの用途としても所有

-----<改ページ>-----

【必須】

Q11 キャンプ・バーベキュー用製品で、所有しているものを教えてください。（それぞれひとつずつ）
（防災用としての所有も含みます。ただし、日常生活のみで使用している製品は除いて回答してください。）

	所有していない	その他の用途で所有	キャンプ用として所有 防災用として所有 （キャンプには持っていない）	キャンプ用・防災用どちらの用途としても所有
【その他（シーズン物など）】	テント・サウナ	→ ● ● ● ● ●		●
	ストーブ（薪・灯油・電気）	→ ● ● ● ● ●		●
	キャリーワゴン	→ ● ● ● ● ●		●
	ポータブル電源500KVA未満 （コンセントの差込口があるもの）	→ ● ● ● ● ●		●
	ポータブル電源500KVA以上 （コンセントの差込口があるもの）	→ ● ● ● ● ●		●
	扇風機	→ ● ● ● ● ●		●
	湯たんぽ	→ ● ● ● ● ●		●

-----<改ページ>-----

【必須】

Q12 所有している製品の主な購入先について、以下よりあてはまるものをお選びください。（それぞれひとつずつ）

アウトドア用品専門店	ホームセンター	家電量販店	デパート・デパートストア	スポーツ用品店	スーパーマーケット	百貨店	100円均一ショップ	その他（具体的に）
								スポーツ用品店のECサイト
								家電量販店のECサイト
								ホームセンターのECサイト
								アウトドア用品専門店のECサイト
								総合ECサイト（Amazon）

他（具体的に）
ー用品店のECサイト
量販店のECサイト
ームセンターのECサイト
トドア用品専門店のECサイト
ECサイト（Amazon、楽天市場など）
0円均一ショップ
店
ーバーマーケット
ー用品店
スカウントストア
量販店
ームセンター
トドア用品専門店

-----<改ページ>-----

【め例】
Q13 所有している製品の主な取扱説明書は確認しましたか。以下よりあてはまるものを全てお選びください。（それぞれひとつずつ）

			全て確認した	一部確認した	確認していない
過ごす・つくる	居住に使うもの 例：【回答：ANS_Q12_1】	→	●	●	●
	家具 例：【回答：ANS_Q12_2】	→	●	●	●
	照明類 例：【回答：ANS_Q12_3】	→	●	●	●
	寝具 例：【回答：ANS_Q12_4】	→	●	●	●
調理・食べる・焚き火	調理器具（電気や火にかけるもの） 例：【回答：ANS_Q12_6】	→	●	●	●
	着火時に使用するもの 例：【回答：ANS_Q12_8】	→	●	●	●
	主に焚き火で使用するもの 例：【回答：ANS_Q12_10】	→	●	●	●
その他（シーズン別）	テント・サウナ	→	●	●	●
	ストーブ（薪・灯油・電気）	→	●	●	●
	キャリー・ワゴン	→	●	●	●
	ポータブル電源 （コンセントの差込口があるもの）	→	●	●	●
	扇風機	→	●	●	●
	湯たんぽ	→	●	●	●

-----<改ページ>-----

【回答者条件】
HQ_Q13で「確認していない」「居住に使うもの」～「13.【確認していない】湯たんぽ」 いずれかを選択した方のみ

【め例】
Q14 前問で「確認していない」を選択した方にお伺いします。
取扱説明書を確認していない理由について、あてはまるものをすべてお答えください。（いくつでも）

☐	取扱説明書や注意表示自体が無かったから
☐	取扱説明書がなくても簡単に使えると思ったから
☐	過去に似た製品を使った経験があるから
☐	確認するのが面倒だったから
☐	英語など外国語のみで書かれていて理解できなかったから
☐	取扱説明書の内容がわかりづらく理解できなかった

☐	持ち運び時に取扱説明書を忘れたから
☐	他の人に使い方を聞けば十分だと思ったから
☐	時間がなく、すぐに使用したかったから
☐	必要になった時に確認すれば良いから
☐	字が小さく、読みづらいから
☐	その他

-----<改ページ>-----

[必須]

Q15 あなたがキャンプやバーベキューをする時、けがや事故を防ぐために工夫していることがあればお答えください。

-----<改ページ>-----